

# 総合分析実験センター 自己点検評価報告書

平成23年度

## 平成23年度総合分析実験センター自己点検評価報告書

### 1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設で、本庄地区と鍋島地区それぞれに「生物資源開発部門」、「機器分析部門」、「放射性同位元素利用部門」および「環境安全部門」の4部門を設置している。

生物資源開発部門は、遺伝子組換え実験と動物実験に関する教育、研究、講習、教育訓練および安全管理を担当する。機器分析部門は、大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練を担当する。放射性同位元素利用部門は、放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理を担当する。環境安全部門は、環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備および環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れおよび相談窓口、環境問題についての教育および情報提供、および学内環境安全業務の一部を担当する。これらの4部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援する。

総合分析実験センターに関する本学の中期計画として、次の3項目が定められている。

- ① 総合分析実験センターを基盤として、実験機器類の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備する。
- ② 総合分析実験センターを研究支援組織の中核として整備し、研究室、研究機器等の共同利用を進める。
- ③ 学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図る。

### 2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成14年4月1日に、従来の「機器分析センター」と「放射性同位元素実験室」を「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、それに新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成15年10月1日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI実験施設をさらに加え、生命科学領域の教育研究支援体制を充実させ、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の3部門からなる全学的な研究教育支援施設として新たな「総合分析実験センター」に生まれ変わった。さらに、平成18年度に「環境安全部門」を新設し、これらの4部門が連携して、学内の理工、農、医、文化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、平成23年度はセンター長(併任)、副センター長(併任)、准教授4名、助教2名、教務員2名(うち1名は12月より産・育休)、技術専門職員5名、非常勤職員7名(うち1名は教務員の産・育休の代替として雇用)、研究支援推進員1名から構成されている。

平成23年度の動物実験施設(鍋島)、RI実験施設(本庄及び鍋島)の各施設利用者は延人数14,415名であり、センターに設置している設備・機器利用回数は、延36,495回であった。また、センターを利用して得られた業績は、著書42件、原著論文268件、総説、解説、資料、知的財産など97件、学会発表、招待講演など637件で、センターが貢献した外部資金獲得は、延89件で総額213,555,000円である(6. センター利用実績参照)。このうち、センター専任の教職員が直接関わったものは、著書0件、原著論文5件、総説、解説、資料、知的財産など1件、学会発表、招待講演など20件で、センターが貢献した外部資金獲得は9件で総額7,740,000円である(6. センター教職員による業績参照)。今年度の施設・機器の利用、業績、外部資金などは過去2年間に比べ大きく増加しており、センターによる支援が学内の研究活動に大きく寄与していることを表している。また、これらの研究業績の多くに学生(博士・修士課程、および学部学生)が関与していることから、センターの支援業務は本学の研究教育に大きく貢献していることが分かる(6. センター利用実績参照)。

### 3. 領域別の自己点検評価

#### (1) 教育支援の領域

## ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備するため、以下の事項を中心に取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 教員、学生等が利用した機器とそれによって得られた研究成果および機器を利用することを前提として得た外部資金に関する情報収集を毎年度行なうこととし、その調査対象とする機器、調査方法、データ整理について、報告書の内容や研究成果の情報収集の方法の改善を図っている。
- 2) センター両地区の共同利用可能機器についての情報を発信するホームページを構築し、共同利用機器の予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認をオンラインでできる体制を整えている。また、機器分析部門鍋島地区においては利用者メーリングリストを構築し、共同利用機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を整えている。
- 3) 学外研究機関に所属する教職員等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成 19 年度より本庄地区において「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)を開始した。また、平成 22 年度からは鍋島地区の機器分析ならびに放射性同位元素利用両部門においても「受託試験」(<http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)を開始した。今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく予定である。
- 4) 現在運用している機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器数の増加を図るため、共同利用可能機器の調査依頼を全学に対して行い、共同利用可能機器の増加に努めるとともに、老朽化等により利用できなくなった機器については整理を行っている。平成 23 年度末現在の共同利用可能機器は全 281 台であり、そのうち本庄地区に 52 台、鍋島地区に 229 台が設置されている(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。

(今年度取り組んだ事項)

- 5) 平成 22 年度自己点検評価報告書の外部評価委員の提案を基に、継続して取り組んでいる事項と今年度取り組んだ事項をわかりやすく記載するとともに、センターを利用して得た研究業績を本学のデータベースから収集することとした。

## イ センターが行う教育に関する事項(使用法、安全、規則等に関する教育)

総合分析実験センターが関わる施設・機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、教職員や学生及び関係者に対して必要な教育活動を行い、またその教育訓練体制の整備・改善を図るため、以下の事項に取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 放射線同位元素の取扱に必要な放射線業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区でそれぞれ行っているが、新規および更新の講習に関して、どちらでも受講できるようにしており、本年度は希望者 1 名がこの制度を利用した。
- 2) 放射線業務従事者登録の便宜を図るため、本庄地区では、新規教育訓練については関係学部の卒業研究開始時期等を考慮した年 2 回(6 月と 12 月)の定期的な訓練以外に、5 名以上の希望者がいる場合には随時教育訓練を開催していることとしている。更新教育訓練に関しては、12 月から 3 月にかけて複数回開催し、更新希望者全員の便宜を図っている。鍋島地区では 4、5、6 月にそれぞれ新規および更新教育訓練を行うことに加え、要請に応じて随時、教育訓練を実施している。
- 3) 動物実験に関する教育訓練を学内の「動物実験委員会」と連携し、年 2 回、本庄地区と鍋島地区で実施している。また、動物実験の実験計画書の作成法の相談、指導、事前審査、受付を行っている。
- 4) 本庄地区および鍋島地区における遺伝子組換え実験に関する教育訓練を主導している。平成 21 年度からは新たに、英語による教育訓練も開始している。また、遺伝子組換え実験申請書の提出前の内容確認を行い、申請者への便宜を図っている。
- 5) そのほか、総合分析実験センターが直接・間接に関与して行われる教育訓練の際、アンケート調査を随時行い、利用者のニーズの把握に努めている。
- 6) 機器分析部門鍋島地区では、適宜、利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握すると

ともに円滑な共同利用環境の醸成を図っている。

- 7) 環境安全部門を統括する本庄・鍋島地区機器分析部門の両専任教員は全学環境安全管理室会議メンバーとして、薬品管理システムの運営に参画している。また、本庄地区教員は、本庄地区環境安全衛生委員会メンバーとして安全巡視や簡易作業環境測定業務の実施に貢献するとともに、理工学部循環物質化学科安全衛生委員会メンバーとして同学科の安全衛生管理に貢献している。鍋島地区教員はエコアクション 21 連絡会議メンバーとして学内 EMS 環境改善に貢献している。
- 8) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものについては随時更新を行なっている。

(本年度事項)

- 9) 動物実験に関する教育訓練について、定期に実施される教育訓練とは別に、利用者の希望に応じて教育訓練を計 13 回実施し、利用者の便宜を図るとともに、動物実験計画書の事前審査を、78 件実施した。
- 10) 本庄地区において、平成 23 年 6 月に臨時の新規 RI 教育訓練を行った。
- 11) 機器分析部門鍋島地区での利用者ミーティングを平成 24 年 2 月 21 日と 3 月 26 日の 2 回開催した。

#### ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員および技術職員は、各部門利用者に対する教育訓練などの研究教育支援だけでなく、教養教育運営機構及び関連学部にも協力し、平成 23 年度には以下のような主題科目や学部の講義・実習を担当することで、学生の教育にあたっている。

(今年度取り組んだ事項)

- 1) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が、主題科目「生活の化学」「身近な環境一知ろう・見よう・考えよう一(分担)」「身近な環境一調べよう・深めよう・伝えよう一(分担)」「教員のための環境教育(分担)」「やさしい実験化学 I(分担)」、理工学部「分離化学」「大学入門科目(分担)」「理工学基礎科学(現代化学)(分担)」「機能物質化学実験 I(分担)」および大学院工学系研究科博士前期課程「物質環境化学特論」「融合循環物質化学特論」「基礎反応化学特論(分担)」「循環物質化学セミナー(分担)」「循環物質化学特別演習(分担)」「基礎反応特論(分担)」を担当した。このうち「大学入門科目」、「機能物質化学実験Ⅳ」は技術職員と連携して担当した。
- 2) 生物資源開発部門本庄地区専任教員 1 名が、主題科目「生命と物質(ゲノムから生命を知る)」、農学部「分子細胞生物学」「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」、大学院農学研究科「分子細胞生物学特論」「細胞情報学特論」「先端分析科学特論 II(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」および大学院連合農学研究科「先端応用生命科学特別講義」「先端応用生命科学特論」を担当した。
- 3) 放射性同位元素利用部門本庄地区専任教員 1 名が、農学部「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」、大学院農学研究科「微生物酵素学特論」「極限環境微生物学特論」「先端分析科学特論 II(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」を担当した。
- 4) 機器分析部門鍋島地区では専任教員 1 名が、主題科目「環境科学」、大学院医学研究科修士課程「生体傷害分析法」「実験検査・機器特論(分担)」、大学院医学研究科博士課程「機器分析法」「アイソトープ分析法(分担)」を担当するとともに、教職員 2 名と連携して医学部「基礎生命科学実習(分担)」を担当した。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では専任教員 2 名が、主題科目「実験動物学」、医学部「基礎生命科学実習(分担)」、大学院医学研究科修士課程「実験動物学特論」、大学院医学研究科博士課程「動物実験法」を担当した。
- 6) 機器分析部門鍋島地区では、全学部学生を対象とした学内公開実習を企画し、走査型電子顕微鏡、DNA シークエンサー、MALDI-TOF/TOF-MS を使った分析法の実習を行った。本企画は、理事裁量経費の援助により行われた。

## (2) 研究支援の領域

### ア 学術・研究活動に関する事項

センターおよびセンターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、学内外との共同研

究の推進、学外研究プロジェクトへの参画、シンポジウム等の開催を中心に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テーマの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子改変ウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発・維持されている遺伝子改変ウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進している。
- 2) 機器分析部門鍋島地区では、教員 1 名が放射線医学総合研究所(平成 20 年度～)、ならびに京都大学原子炉実験所(平成 21 年度～)で共同利用研究員として活動し、放射線がん治療の基礎研究をテーマに共同研究を行っている。
- 3) 生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミド DNA の分与を行っている。
- 4) センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている。
- 5) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が財団法人電力中央研究所との共同研究「地下水および表層水に存在する有機物の採取法検討と特性評価」の研究を行うとともに、佐賀県玄海水産振興センターが行っている「藻場再生プロジェクト」に関して「海水中における鉄イオン濃度分析」を担当している。

(今年度取り組んだ事項)

- 6) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持している遺伝子組換えウサギを国内の3機関に合計 37 匹分与した。
- 7) 生物資源開発部門本庄地区で開発したプラスミドを海外の研究者に分与した(2 件)。
- 8) 総合分析実験センターセミナーとして、外部講師を招き 5 回のセミナーを開催した。

#### イ 研究支援環境に関する事項

本学全体およびセンターにおける研究環境の改善、また、大学間の連携を高めて情報共有や機器の相互利用を推進し、これを通じて本学における研究環境をよりよい物にするために、次のことに取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 3. (1)ア-4)に示すように、共同利用可能機器に関する調査結果に基づいて、共同利用可能機器の増加を図っている。また、機器の運用状況がインターネットを通じて確認できるようにするなど、ホームページの改善も図っている。
- 2) 低利用頻度機器、および譲渡希望機器の収納スペースを整備し(リサイクルファシリティ)、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始している。また、HP やメールを利用してリサイクルファシリティの周知を図り、年度末などに向けてファシリティの活用を案内している。運用開始から平成 24 年 3 月 31 日までに 35 物品の譲渡を完了している(うち平成 23 年度の実績は、2 物品)。
- 3) 大学連携研究設備ネットワークに 3 台の機器を登録しネットワーク利用機器の充実を図っている。また、ネットワークを利用した共同研究を通じて、共同利用機器の利用活性化に協力している。
- 4) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を図っている。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育器材の充実に向けて可能な限り対応している。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では、新たな研究支援業務の開発を目指して、利用者とともに「マウス胚の凍結保存」法について検討を行っているほか、動物実験における学内研究者の技術向上を目的に、動物実験技術講習会(マウス精子凍結保存法について)を開催し、技術指導を行っている。
- 6) 学外研究機関等による総合分析実験センター利用のために、本庄・鍋島両地区機器分析部門において「受託試験」を行なっている。(http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/  
http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html)。
- 7) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に発信している。
- 8) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信している。
- 9) 国立大学法人生命科学研究所機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力した。

- 10) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動や「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
- 11) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等に協力した。
- 12) 平成 21 年度から研究支援推進員1名を継続して採用している。また、学内措置により、機器分析部門本庄地区において博士研究員各 1 名を採用している。

(本年度事項)

- 13) 総合分析実験センターQ&A を数年ぶりに改訂し、センターユーザーだけでなく学内に広くセンター業務を周知するとともに、教職員ならびに学生に対する研究情報支援を行った。本 Q&A については、今後毎年改訂を行い、アップデートな情報提供を行なっていく予定である。
- 14) 機器分析部門鍋島地区では、前項9)に関して、第 29 回国立大学法人生命科学研究機器協議会を、平成 23 年 11 月 11 日に本学鍋島キャンパスにて開催した。
- 15) 環境安全部門鍋島地区では、前項2)に関連して、鍋島地区ユーザーの利便性を高めるため、平成 23 年度より鍋島地区リサイクルファシリティの運用を開始した。平成 23 年度の譲渡実績は 13 物品であった。

#### ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、ア、イに示す研究支援活動と並行して、センターの教職員がそれぞれテーマをもって専門分野における研究を行っている。各教職員が、日々、個々の専門分野で高いレベルの研究に携わることにより、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手でき、それがセンターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進への貢献につながっている。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門本庄地区では、新しい遺伝子組換え技術の開発、タンパク質に結合する低分子リガンドの探索、カンキツのオミックスをテーマに研究を行っている。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1)ヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と医学研究への応用、2)ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる。
- 3) 機器分析部門本庄地区では、自然界の土壌や水中に存在する腐植物質の構造特性、機能特性に関する研究を地球科学分野、原子力開発分野、農業分野等の研究者と共同して行っている。
- 4) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子によるDNA傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授 1 名、教務員 2 名が協力して研究を行っている。また同准教授 1 名は、放射線医学総合研究所ならびに京都大学原子炉実験所の共同研究員として、放射線がん治療に関する基礎研究をテーマに共同研究を行っている。
- 5) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、極限環境微生物の生産する酵素の機能および構造に関する研究を行っている。
- 6) 各部門に配置されている技術系職員(含教務員)の研究への参画を促進した。

平成 23 年度の研究成果は、原著論文 5 件、総説、解説、資料、知的財産など 1 件、学会発表、招待講演など 20 件で、センターが貢献した外部資金獲得は 9 件で総額 7,740,000 円である。研究成果の詳細は 6. に記す。

### (3) 国際交流・社会貢献の領域

#### ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) センター教員が担当する講義「身近な環境—調べよう・深めよう・伝えよう—」の一環として、学内にビオトープ(ホテル池)を整備運営し、ホテルの放流、鑑賞会等のイベントを行った。またそのイベント内で、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グル

ープによる紙芝居を通じた地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。学生運営スタッフを指導しながら年2回(春と秋)の大学構内および近隣を流れるクリークの河川清掃を近隣自治会と協力して実施、運営しており毎回60~100名程度の参加者とともに社会貢献へ貢献している。

- 2) 本庄地区環境安全部門専任職員は学内を流れる河川清掃を近隣自治会(佐賀大学前自治会)とともに、年2回企画実施している。
- 3) 学生活動「チャリさがさいせい(チャリさ)」の顧問として、学内、および周辺アパートの放置自転車の回収・修理・販売・譲渡を行い、学内や近隣地域の放置自転車撲滅運動に貢献している。また同グループは地域のイベント「佐賀城下ひな祭り」「さがバルーンフェスタ」「呉服町万博」の期間中に再生自転車をを用いたレンタサイクルを実施し、一般市民に①放置自転車の撲滅、②循環型社会の推進、③自動車を使わない省資源・健康な観光を提案し環境に関する啓蒙活動に貢献している。
- 4) 平成22年度より、本学文化教育学部附属中学校育友会が行なっている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」に協力し、センター教員が講義を行なっている。

(本年度事項)

- 5) センター教員は、他大学・研究教育機関などでの講義・実習も担当している。広島大学大学院理学研究科における講義「遺伝子化学Ⅰ」、福岡歯科大学大学院における講義・実習「実験動物の取扱い」、大川看護福祉専門学校における講義「微生物学」、武雄看護リハビリテーション学校における講義「解剖生理学」を担当した。
- 6) 「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」では、「放射線と生命」、「遺伝子組み換えについて知ろう」を開講した。
- 7) 大学周辺自治会(東城内自治会)内のピオトープの整備・運営を支援した。

#### イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るために、以下のことに取り組んだ。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 平成19年度から「受託試験」を開始している(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/> および <http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホームページからの情報発信に協力している。

また、以下のことに取り組むことにより、学外の研究者との連携を深めるとともに、地域社会の研究推進や学会活動に貢献した。

- 3) 佐賀県農業研究試験研究センターと農学部、理工学部、およびNPO団体との協働により、農林水産省助成事業“新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業”にて、「クリーク底泥の安全性、および有効性の保証データの作成」研究を行っている。
- 4) 佐賀県バイオマスエネルギー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
- 5) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックスクール調査を行っている。

(本年度事項)

- 6) 学生グループ「自転車佐賀再生(チャリさがさいせい(通称チャリさ))」の顧問として、活動をサポートし、地域の資源循環に貢献している。平成23年12月に東京で行われた全国学生環境活動コンテスト(ecocon2011)で、昨年度の準グランプリを上回るグランプリを獲得した。

#### ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) ホームページを通じて、開発したベクターDNAを国内外に分与する活動を行っている

(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。

- 2) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持を行っている遺伝子組換えウサギを国内外に分与する活動を行っている
- 3) 民間企業と提携し、中国、太湖の浄化計画に協力している。
- 4) 日本腐植物質学会監査として、学会の運営に貢献している。
- 5) 環境関連の二つの NPO の理事および副理事長として活動に協力している。
- 6) 毎年開催される韓国・大邱大学校とのジョイントセミナーに協力している。
- 7) 海外の研究機関(ハンガリー国立農業バイオテクノロジー研究所、中国西安交通大学)と共同研究を実施している。

(本年度事項)

- 8) センター教員 2 名が The79th European atherosclerosis society congrss(開催地:スウェーデン)及び The 4<sup>th</sup> international meeting on rabbit biotechnology(開催地:ハンガリー)に出席し、研究発表を行うとともに同学会に参加した研究者と意見交換を行った。
- 9) 共同研究打合せのため、センター教員 2 名がハンガリー国立農業バイオテクノロジー研究所(ハンガリー)ならびに中国西安交通大学(中国)を訪問し、交流を深めた。
- 10) 機器分析部門鍋島地区教員が佐賀市の委託を受け、佐賀市役所の環境監査を行った。
- 11) 協定校である韓国・大邱大学校の主催で開催された The 6th Daegu University and Saga University Joint Seminars にセンター教員 1 名が発表するとともに、センターで研究を行っている学部生 2 名がポスター発表し、交流を深めた。

#### (4)組織運営の領域

##### ア 教育研究組織の編成・管理運営に関する事項

- 1) 本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行っている。
- 2) 年間数回のスタッフ会議を開催し、研究支援、財務、組織運営などに関する方針や問題について討論している。

##### イ 財務に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、「受託試験」を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/> および <http://www.kiki.med.saga-u.ac.jp/jutaku/index-j.html>)。
- 2) 動物実験施設の空調設備の運転状況の見直し、光熱水費の削減を図っている。
- 3) 業務委託費の節約を図るため、平成 19 年度から行っている本庄地区 RI 実験施設の作業環境測定を自ら行っている。

(本年度事項)

- 4) 環境安全部門本庄地区は業務委託費の節約を図るため作業環境測定(有機溶媒)を自ら行うことを検討しており、一部建物での検知管による作業環境測定を実施した。今後も実施個所の増加を図っていく予定である。

##### ウ その他組織運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) エコアクション 21 の認証取得を目指した取り組みに参画している。詳細は、3. (1)ーイー7)、3. (2)ーイー2)を参照。
- 2) 「佐賀大学版環境教育」の実行委員として活動している。
- 3) 環境安全管理に関して、機器分析部門鍋島地区准教授 1 名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を担当している。また、衛生工学衛生管理者の有資格者であることから、選任者のうち 1 名は衛生工学衛生管理者有資格者である必要が

ある附属病院衛生管理者として活動している(平成 20 年度～)。

- 4) 化学物質管理システム(CRIS)の全学運用に関して、両地区機器分析部門准教授 2 名が管理主担当となり、それぞれ本庄地区および鍋島地区の同運用について環境安全衛生管理室と協力している。
- 5) センター教員 2 名が作業環境測定士(放射線)の資格を取得し、本庄地区 RI 施設の作業環境測定を行っている。また鍋島地区においても教務員 1 名が同資格(有機溶媒)を取得し、作業環境測定に協力している。
- 6) 機器分析部門鍋島地区准教授 1 名は、医学部付属先端医学研究推進支援センター支援部門長を兼任し、医学部の研究推進に協力している。
- 7) その他、大学運営に関わる事項として、センター各教員が、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、放射性同位元素等安全管理委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション 21 全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。また、医学部総合問題部会に参画し、入学試験の作成・採点等にも貢献した。

(本年度事項)

- 8) 前項イ-3)に関連して、鍋島地区 RI 実験施設の作業環境測定を自ら行うため、同施設放射線取扱主任者である機器分析部門鍋島地区教員が資格取得のための講習会を受講した。
- 9) 前項3)に関連して、鍋島地区教務員 1 名が衛生工学衛生管理者を取得し、同資格が要求される附属病院衛生管理者を複数名確保することに協力した(平成 24 年度より同衛生管理者指名予定)。

## (5) 施設の領域

### ア 施設、設備等に関する事項

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、ホームページ上で公開している(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/saigai.pdf>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規程に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても動物実験における「緊急時対応手引き」を作成し、ホームページ上で公開している。
- 2) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形態も以前とは大きく変わってきており、施設・設備の陳腐化や老朽化のため、現状では利用者からのニーズに対応できていない部分が多数見受けられるようになってきている。そこで、先端的研究を効率よく推進していくため、施設の全面改修、設備更新の必要性について関連部署、担当者等に説明し、協力して予算措置の要求を行うとともに、施設のための施設整備概算要求を提案している。

(本年度事項)

- 3) 平成 24 年度概算要求施設整備事業に動物実験施設の改修を申請した。
- 4) 平成 24 年度概算要求設備整備事業に動物実験施設における飼育機器・設備の更新を申請した。
- 5) 平成 24 年度鍋島地区放射性同位元素利用部門改修のための学内予算措置を申請している。

## 4. 外部評価

本報告書の評価を、運営委員会で承認された学外の委員に依頼した。委嘱した委員を以下に示す(順不同、敬称略)。

- 1) 西本 潤 准教授 県立広島大学生命環境学部環境科学科
- 2) 守口和基 講師 広島大学大学院理学研究科生物科学専攻植物生物学講座
- 3) 森本正敏 教授 熊本保健科学大学リハビリテーション学科

各委員からは、評価手法、評価基準、評価の妥当性についておおむね高い評価を頂いた。特にリサイクルファシリティーに積極的に取り組んでいることについて高い評価を得た。しかし、評価手法において、各機器の利用

状況など、詳細な動向があってもよいのではないかという改善点についても指摘をいただいた。

これらの指摘や助言に関して、センター教職員間で継続的に検討を重ね、次年度以降のセンターの運営及びその結果としての自己点検評価書に反映させるべく努力するものとした。なお、各委員からのご意見を本報告書の末尾に添付した。各評価委員の方々には、本報告書及びセンター運営などに関して、様々な視点からの検討を加えていただいたことに対して、この場を借りて深謝の意を表する。

## 5. 総括

本センターの主たる業務は、本学における教育・研究の支援であり、「6. センター利用実績」に示すように、教職員および学生の利用者数、あるいはセンターの利用により得られた研究業績や外部資金獲得は前年度に比べて大きく増加しており、本センターが有効に活用されていることが分かる。また、本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、「6. センター利用実績」に示されるように、各教員がそれぞれ研究成果を挙げているとともに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に結びついている。また、センターの教員は、その専門的知識・技能・資格あるいは保有設備などを活かして講義や実習を担当することにより、教育に直接関わるほか、委員会活動などを通じて本学の運営にも貢献している。さらに、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などにも参加・協力しており、こうした活動は、地域あるいは国内外における本学に対する評価を高めているものと考えられる。

しかしながら、センターの保有機器、あるいは施設そのものの老朽化が目立ってきており、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題である。この問題は、平成20年度～平成22年度の概算要求による大型機器更新によっていくらか改善されたが、まだ充分とは言えない。従って、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行っているが、それに加えて、現有の機器の保守、現有の施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。さらに、機器の保守管理に必要な技術職員の数が大幅に不足している。佐賀大学における教育・研究支援組織の中核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、本学全体の理解と協力をお願いしたい。

## 6. センター利用実績

### (1) 利用実績の動向

|      |             | H21 年度  | H22 年度  | H23 年度  | 備考   |
|------|-------------|---------|---------|---------|------|
| 施設利用 | 動物実験施設      | 10,559  | 11,491  | 12,862  | のべ人数 |
|      | RI 実験施設(鍋島) | 1,064   | 1,407   | 1,066   | のべ人数 |
|      | RI 実験施設(本庄) | 800     | 750     | 487     | のべ人数 |
| 機器利用 | 鍋島          | 24,289  | 13,261  | 14,759  | のべ回数 |
|      | 本庄          | 11,418  | 18,597  | 21,736  | のべ回数 |
| 業績   | 著書          | 7       | 19      | 42      | のべ件数 |
|      | 学術論文        | 119     | 161     | 268     | のべ件数 |
|      | 総説・解説・その他   | 25      | 45      | 97      | のべ件数 |
|      | 学会発表など      | 452     | 462     | 637     | のべ件数 |
| 外部資金 | 件数          | 88      | 67      | 89      | のべ件数 |
|      | 総額          | 179,250 | 140,780 | 213,555 | 千円   |

### (2) 平成23年度総合分析実験センター施設、設備・機器利用者数

| 施設利用実績                 |        |                     |
|------------------------|--------|---------------------|
| 施設                     | のべ利用者数 | 備考                  |
| 動物実験施設                 | 12,862 | 登録者数 教職員 346、学生 176 |
| 鍋島地区 RI 実験施設           | 1,066  | 登録者数 教職員 17、学生 8    |
| 本庄地区 RI 実験室            | 487    | 登録者数 教職員 11、学生 28   |
|                        |        |                     |
| 機器利用者数                 |        |                     |
| 機器                     | のべ利用者数 | 備考                  |
| (鍋島地区機器分析部門)           |        |                     |
| 2147 室 エレクトロマシショップ     | 157    | 入室回数                |
| 2148 室 低温貯蔵室           | 1090   | 入室回数                |
| 2148 室 培養室             | 560    | 入室回数                |
| 紫外可視分光解析システム①DU-650    | 0      | 利用回数                |
| 恒温振盪器 G-25             | 12     | 利用回数                |
| 高速冷却遠心機 RX-200         | 5      | 利用回数                |
| オートクレーブ①②③ FSX-500     | 246    | 利用回数(3台合計)          |
| 乾熱滅菌機①② SG-62          | 73     | 利用回数(2台合計)          |
| 蒸留水製造装置 GlassStill8    | 370    | 利用回数(容量 6737 リットル)  |
| 純水製造装置 PCS             | 22     | 利用回数(容量 387 リットル)   |
| 超純水製造装置 Milli-Q SP     | 293    | 利用回数(容量 1810 リットル)  |
| 全自動アミノ酸分析システム Pico-Tag | 4      | 利用回数(サンプル数 35)      |
| pH メーター F-55S          | 19     | 利用回数                |
| 電子天秤 JP-300WP          | —      | 使用記録をとっていない         |
| 電子天秤 TXB6201L          | —      | 使用記録をとっていない         |
| 自記分光光度計 UV-2100PC      | 36     | 利用回数                |
| 電子顕微鏡 JEM-1400(100CX)  | 47     | 利用回数                |
| 電子顕微鏡 JEM-1220         | 168    | 利用回数                |
| 質量分析 TOF/TOF           | 82     | 利用回数                |

|                                 |      |                              |
|---------------------------------|------|------------------------------|
| 電子顕微鏡 JSM-5200LV                | 55   | 入室回数                         |
| 2229 室 光学顕微鏡室                   | 1513 | 入室回数                         |
| BIAcore 1000                    | 0    | 利用回数                         |
| 2255 室 薄切室                      | 787  | 入室回数                         |
| 電子顕微鏡 JSM-6510                  | 5    | 利用回数                         |
| 電子顕微鏡 JEM-2000FX                | 0    | 利用回数                         |
| 2260 室 セミナー室                    | 426  | 入室回数                         |
| 分離用超遠心機 Optima L-70             | 13   | 利用回数                         |
| 卓上型分離用超遠心機 Optima-TLX           | 47   | 利用回数                         |
| 高速冷却遠心機 Beckman HP-25           | 28   | 利用回数                         |
| コンセントレーター VC-360                | 0    | 利用回数                         |
| 遠心式濃縮機 VC-36R                   | 46   | 利用回数                         |
| 凍結乾燥機 FDU-2100                  | 20   | 利用回数                         |
| 微量高速遠心機 MCX-150                 | 1    | 利用回数                         |
| 微量高速遠心機 MRX-150                 | 30   | 利用回数                         |
| 紫外可視分光解析システム②DU-650             | 10   | 利用回数                         |
| 電子天秤 R200D                      | 6    | 利用回数                         |
| 超音波洗浄機                          | —    | 使用記録をとっていない                  |
| ゲル撮影装置 ImageMasterVDS           | —    | 利用回数は H24 廃棄のため不明(フィルム枚数 86) |
| 蛍光分光光度計 RF-5000                 | 0    | 利用回数                         |
| デンシトメーター CS-9300PC              | 0    | 利用回数                         |
| ガスクロマトグラフ GC-2014AF             | 9    | 利用回数                         |
| ガスマス 島津 QP2010                  | 29   | 利用回数                         |
| LC-MS 質量分析装置 島津 LCMS-8030       | 2    | 利用回数                         |
| 島津原子吸光分光光度計 AA-7000             | 0    | 利用回数                         |
| DNA シーケンサ 310 with Win(キャピラリー型) | 4    | 利用回数(サンプル数 25)               |
| 自動ハルスフィールド電気泳動                  | 0    | 利用回数                         |
| 二次元電気泳動装置 プロテイン II スラブセル        | 0    | 利用回数                         |
| 二次元電気泳動装置 Multiphor II          | 0    | 利用回数                         |
| PCR GeneAmp2400                 | 9    | 利用回数                         |
| PCR LightCycler                 | 8    | 利用回数                         |
| ゲル乾燥処理装置 AE-3750                | 13   | 利用回数                         |
| 紫外線架橋機 ストラータリンカー                | 29   | 利用回数                         |
| 2F 製氷機                          | 1974 | 入室回数                         |
| 3F 製氷機                          | 4093 | 入室回数                         |
| 4F 製氷機                          | 2242 | 入室回数                         |
| トランスイルミネーター                     | 0    | 利用回数                         |
| (鍋島地区 RI 部門)                    |      |                              |
| 液体シンチレーションカウンタ                  | 9    |                              |
| ガンマセル 40                        | 143  |                              |
| ペータプレート                         | 20   |                              |
| オートガンマカウンタ                      | 2    |                              |
| BAS2000                         | 2    |                              |
| (本庄地区 RI 部門)                    |      |                              |
| 液体シンチレーションカウンタ                  | 36   | 72 h                         |

|                                 |       |        |
|---------------------------------|-------|--------|
| バイオイメージングアナライザ                  | 2     | 5 h    |
| 焼却炉                             | 0     |        |
| 分光光度計                           | 232   | 708h   |
| ガンマカウンタ                         | 0     |        |
| 空気捕集装置                          | 36    |        |
| H/C サンプラー                       | 36    |        |
| 高温振とう器                          | 15    | 102 h  |
| イオン交換水製造機                       | 52    |        |
| (本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門)           |       |        |
| 紫外可視近赤外分光光度計                    | 308   | 399h   |
| 電子スピン共鳴装置                       | 66    | 77h    |
| 顕微付フーリエ変換赤外分光光度計                | 155   | 167h   |
| 粉末 X 線回折装置                      | 216   | 238h   |
| ガスクロマトグラフ質量分析計                  | 835   |        |
| 超伝導高分解能フーリエ変換核磁気共鳴装置            | 8,730 | 2,694h |
| 円偏光二色性分散計                       | 118   | 223h   |
| 蛍光光度計                           | 19    | 26h    |
| エネルギー分散型蛍光X線分析装置                | 66    | 136h   |
| ゼータ電位・粒径測定システム                  | 348   | 616h   |
| フーリエ変換核磁気共鳴装置 (Agilent NMR 400) | 445   | 520h   |
| CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置             | 36    |        |
| 水平型 X 線構造解析装置                   | 602   | 1,075h |
| 透過電子顕微鏡                         | 88    | 225h   |
| パッチクランプイオンチャンネル計                | 26    | 103h   |
| ガスクロマトグラフ質量分析計 (mate II)        | 30    | 89h    |
| 蛍光寿命測定装置                        | 20    | 59h    |
| 発光量子収率測定装置                      | 30    | 68h    |
| キャピラリー電気泳動装置                    | 15    | 58h    |
| DSC 熱量計                         | 6     | 18h    |
| 振動式デジタル密度音速計                    | 32    | 174h   |
| 原子間力顕微鏡                         | 46    | 307h   |
| DNAシーケンサー (Type3130)            | 9,090 | サンプル   |

(3) 平成23年度に総合分析実験センターを利用して得られた業績及び外部資金(リスト中の業績には複数の部門にまたがる業績があるため、重複業績は削除して掲載した)

| 著書   |  |   |
|--|--|---|
| 著者名  | 書名   | 担当題目  |
| Arima K, Liu Y-J   | Thymic stromal lymphopoietin   | Inflammation and Allergy Drug Design  |
| Arima K. and Liu Y.-J.   | In: Inflammation and Allergy Drug Design. Wiley-Blackwell, London, UK.   | Thymic stromal lymphopoietin  |
| H.Sadamatsu, H.Kawakita, K.Ohto  | Seminar on Globalization Program of Graduate School of Science and Engineering (GSSE), Saga University, - Invitation Program for Foreign Excellent Researchers - | Extraction behavior of alkali metal ions with calix[4]arene acetic acid - propyl derivative             |
| Izuhara K, Ohta S, Shiraishi H, Suzuki S   | Interleukin 4, interleukin 13, and interleukin 9.  | Inflammation and Allergy Drug Design.   |
| Kenji Izuhara, Shoichiro Ohta, Hiroshi Shiraishi, and Shoichi Suzuki   | Inflammation and Allergy Drug Design, Blackwell Publishing, Chichester, UK   | Interleukin 4, interleukin 13, and interleukin 9  |
| Kumamoto E, Mizuta K, Fujita T, Kosugi T, Katsuki R  | Neurotransmitter receptor agonists having the inhibitory actions of nerve conduction - structure-function relationship.  | Pandalai SG: Recent Research Developments in Pharmacology.  |
| Kumamoto E, Mizuta K, Tomohiro D, Fujita T   | Conduction block by neurotransmitter receptor and TRP channel agonists in the sciatic nerve.   | Fonseca DJ and Martins JL: The Sciatic Nerve: Blocks, Injuries and Regeneration.                        |
| Mitsunori Yada, Yuko Inoue   | Nanoparticles / Book 1   | Synthesis of titanate and titanium dioxide nanotube thin films and their applications to biomaterials   |
| Shirouchi B., K. Nagao, T. Yanagita  | Omega-3 Oils: Applications in Functional Foods, ed. by EM. Hernandez, M. Hosokawa, AOCs press, USA   | Docosahexaenoic acid containing phosphatidylcholine alleviates obesity-related disorders in obese rats. |
| Shuji Toda, Shigehisa Aoki, Kazuyoshi Uchihashi, Aki Matsunobu, Mai Yakushiji, Akifumi Ootani, Eisuke Koike and Nobuhisa Yonemitsu | The Influence of the Skin Microenvironment<br>Air-Liquid Interface on Melanoma   | Breakthroughs in Melanoma Research.   |
| Takagi, Y., Anai, T., Nakagawa, H.   |  | Development of novel fatty acid composition in soybean oil through induced mutation                     |
| Yasushi Kubota and Shinya Kimura   | Advances in Hematopoietic Stem Cell Research   | Regulation of hematopoietic stem cell fate: self-renewal, quiescence and survival                       |
| Yue H-Y, Fujita T, Piao L-H, Jiang C-Y, Inoue M, Mizuta K, Yasaka T, Yang L, Kawasaki H, Kumamoto E                                | Inhibition by galanin of monosynaptic primary-afferent A $\delta$ -fiber and C-fiber excitatory transmission in adult rat spinal dorsal horn neurons.            | Fujii N and Kiso Y: Peptide Science 2010.   |

|  |   |  |
|--|---|--|
| 木村晋也   | 第5章 1) ABL チロシンキナーゼ阻害薬による治療の現状と今後の展望. 秒進分歩する癌研究の最前線 | 実験医学増刊   |
| 木村晋也   | CML 治療の現状.  | 白血病治療におけるダサチニブ(スプリセル)のすべて                      |
| 吉田裕樹   | モデル動物利用マニュアル 疾患モデルの作成と利用                            | 第3章第2節第15項 IL-27/WSX-1                         |
| 吉田裕樹, 原博満  | ファインケミカルシリーズ<br>アジュバント開発研究の新展開                      | 第二章 1 アジュバントのシグナル伝達研究の新機軸                      |
| 吉田裕樹, 原博満  | アジュバントのシグナル伝達研究の新機軸                                 | アジュバント開発研究の新展開                                 |
| 宮本比呂志  | 産業安全保健ハンドブック 5章5節 (財)労働科学研究所 神奈川 (印刷中)2012年3月発行予定   | レジオネラ  |
| 琴岡憲彦, 野出孝一   | 拡張不全の治療はどのようにしたらよいでしょうか?                            | かかりつけ医・非専門医の心不全日常診療 Q&A. 野出孝一/主編集              |
| 琴岡憲彦, 野出孝一   | 心不全患者の在宅医療にはどのようなことが求められますか?                        | かかりつけ医・非専門医の心不全日常診療 Q & A                      |
| 戸田修二, 青木茂久, 内橋和芳, 松延亜紀, 大谷顕史, 小池英介, 船津丸貞幸, 米満伸久, 杉原甫 | 病理と臨床   | メタボリック症候群における脂肪組織の病理形態と病態解析培養モデル               |
| 出原賢治, 有馬和彦, 鈴木章一, 白石裕士, 太田昭一郎                        | In: 疾患モデルの作製と利用—免疫疾患, 株式会社エル・アイ・シー, 東京, 2011.       | IL-13  |
| 出原賢治, 有馬和彦, 鈴木章一, 白石裕士, 太田昭一郎                        | In: 疾患モデルの作製と利用—免疫疾患, 株式会社エル・アイ・シー, 東京, 2011.       | IL-4   |
| 出原賢治, 有馬和彦, 鈴木章一, 白石裕士, 太田昭一郎.                       | IL-4.   | 疾患モデルの作製と利用-免疫疾患                               |
| 出原賢治, 有馬和彦, 鈴木章一, 白石裕士, 太田昭一郎.                       | IL-13.  | 疾患モデルの作製と利用-免疫疾患                               |
| 上野大介   | 環境毒性学, 久野勝治・渡邊泉編, 朝倉書店, 東京, pp                      | 環境動態・水界・POPs, 農薬など有機化合物                        |
| 星野友紀, 穴井豊昭   | 「最新 植物生理化学」長谷川宏司・広瀬克利 編. 大学教育出版                     | 植物生理化学研究と遺伝子解析法                                |
| 川喜田英孝  | レアメタル・貴金属リサイクル技術の最先端、5章                             | バイオマス廃棄物ポリフェノールによる貴金属回収                        |
| 村島 敬昌、大渡啓介   | 第48回化学関連支部合同大会                                      | リン酸型ホウキ分子を用いた希土類金属の抽出・分離                       |
| 大渡啓介   | レアメタル・希少金属リサイクル技術の最先端                               | 第1章 溶液化学 環状化合物によるレアメタル分離                       |
| 北垣浩志   | ポスト3. 11 変わる学問 気鋭大学人からの警鐘、朝日新聞出版(2012)              | 学問の新しい地平を拓く若手研究者たち                             |
| 北垣浩志   | CMC 出版、発酵・醸造食品の最新技術と機能性 II                          | ミトコンドリア輸送をターゲットとした低ピルビン酸清酒酵母の育種とその実用化<br>北垣浩志* |
| 鈴木章弘, 廣田敦子, 林誠                                       | 「植物の生長調節」特集: 根粒菌および菌根菌共生—最近の分子遺伝学の進歩(印刷中)           | 感染・根粒形成と植物ホルモン                                 |

| 原著論文   |                                   |  |     |   |        |
|--|-----------------------------------|--|-----|---|--------|
| 著者名  | 雑誌名                               | 題目   | 巻   | 号 | 頁      |
| Yu Yang, Soichiro Omi <sup>M</sup> , Ryo Goto <sup>M</sup> , Masayuki Yahiro, Masanao Era, Hirofumi Watanabe, and Yuji Oki |                                   | Wavelength sensitive photodiodes in the visible based on J-aggregated films” Opt. Electronics  | 12  |   | 405-10 |
| Tsugio Kitamura, Satoshi Kuriki, Mohammad Hasan Morshed, Yuji Hori   |                                   | A Practical and Convenient Fluorination of 1,3-Dicarbonyl Compounds Using Aqueous HF in the Presence of Iodosylbenzene   | 13  |   | 2392-4 |
| Masayuki Koikawa, Takashi Toyofuku, Masahiro Muto, Yasunori Yamada, and Tadashi Tokii                                      |                                   | Synthesis and Crystal Structure of Bis{2-[(2-Hydroxymethylphenyl)iminomethyl] phenolato}chromium(III) nitrate monohydrate  |     |   |        |
| Tomoki Hoshino, Nobuhisa Kawashita, Yutaka Takagi, Toyoaki Anai  |                                   | Molecular characterization and marker development of mid-oleic acid mutant M23 for development of high-oleic cultivars of soybean  | 130 |   | 544-50 |
| Desi Suci Handayani, Jumina, Dwi Siswanta, Mustofa, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita                                    | Indo. J. Chem                     | Adsorption of Pb(II), Cd(II), and Cr(III) from aqueous solution by poly allyl-calix[4]arene tetra carboxylic acid  | 11  |   | 191-5  |
| Triana Kusumaningsih, Jumina, Dwi Siswanta, Mustofa, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita                                   | Indo. J. Chem                     | Synthesis, characterization and adsorption test of poly-tetra-p-propenyltetrahydroxycalix[4]arene for cadmium ion  | 11  |   | 186-90 |
| Teramachi J, Kukita A, Li YJ, Ushijima Y, Ohkuma H, Wada N, Watanabe T, Nakamura S, Kukita T.                              | Lab Invest                        | Adenosine abolishes MTX-induced suppression of osteoclastogenesis and inflammatory bone destruction in adjuvant-induced arthritis.   | 9   | 5 | 719-21 |
| Satomura T, Hiraki A, Kawai T, Kawakami R, Ohshima T Sakuraba H  | Acta Crystallographica Section F  | Expression, purification, crystallization and preliminary X-ray diffraction analysis of a galactose 1-phosphate uridylyltransferase from the hyperthermophilic archaeon Pyrobaculum aerophilum | F68 |   | 330-2  |
| Shibahara T, Satomura T, Kawakami R, Ohshima T, Sakuraba H   | Acta Crystallographica Section F  | Crystallization and preliminary X-ray analysis of a dye-linked D-lactate dehydrogenase from an aerobic hyperthermophilic archaeon, Aeropyrum pernix  | F67 |   | 1425-7 |
| Maeda T, Oyama J, Sasaki M, Nishiyama Y, Kudo Y, Yamori T, Nakazono T, Arima T, Makino N.                                  | Aging Clin Exp Res                | The physical ability of elderly female Japanese patients with cerebrovascular disease correlates with telomere length in their peripheral blood leukocytes.                                    | 23  | 1 | 22-28  |
| Maeda T, Oyama JI, Higuchi Y, Koyanagi M, Sasaki M, Arima T, Mimori K, Makino N.   | Aging Male.                       | The correlation between clinical laboratory data and telomeric status of male patients with metabolic disorders and no clinical history of vascular events.                                    | 14  | 1 | 21-26  |
| Ito T, Liu Y-J, Arima K  | Allergol Int. Epub ahead of print | Cellular and molecular mechanisms of TSLP function in human allergic disorders -- TSLP programs the “Th2 code” in dendritic cells --   |     |   |        |

|   |  |   |     |   |          |
|---|--|---|-----|---|----------|
| Tomiyama H, Higashi Y, Takase B, Node K, Sata M, Inoue T, Ishibashi Y, Ueda S, Shimada K, Yamashina A.  | Am J Hypertens                           | Relationships among hyperuricemia, metabolic syndrome, and endothelial function.  | 24  | 7 | 770-4    |
| Fujimoto H, Hirase T, Miyazaki Y, Hara H, Ide-Iwata N, Nishimoto-Hazuku A, Saris CJ, Yoshida H, Node K.   | Am J Pathol.                             | IL-27 inhibits hyperglycemia and pancreatic islet inflammation induced by streptozotocin in mice.   | 179 | 5 | 2327-36  |
| Asaka M, Hirase T, Hashimoto-Komatsu A, Node K.   | Am J Physiol Cell Physiol.               | Rab5a-mediated localization of claudin-1 is regulated by proteasomes in endothelial cells.  | 300 | 1 | 87-96    |
| Uchida, M. Shiraishi, H. Ohta, S. Arima, K. Taniguchi, K. Suzuki, S. Okamoto, M. Ahlfeld, S. K. Ohshima, K. Kato, S. Toda, S. Sagara, H. Aizawa, H. Hoshino, T. Conway, S. J. Hayashi, S. Izuhara, K.                           | Am J Respir Cell Mol Biol                | Periostin, a matricellular protein, plays a role in the induction of chemokines in pulmonary fibrosis   | 46  | 5 | 677-86   |
| Hidenori Sumiyoshi, Akio Mantani, Satoshi Nishiyama, Soh Fujiwaki, Shoichiro Ohta, Yoshikazu Masuda, Youhei Tomita, Naofumi Tarumoto, and Shigeto Yamawaki  | American Journal of Geriatric Psychiatry | Yokukansan Treatment in Chronic Renal Failure Patients with Dementia Receiving Hemodialysis: An Open Label Study  | 19  |   | 906-7    |
| C.Yamamoto, H.Seto, K.Ohto, H.Kawakita, H.Harada  | Anal.Sci.                                | Effect of $\pi$ electrons on the detection of silver ions by ion-selective electrodes containing tripodal broom molecules as an ionophore   | 27  |   | 389-93   |
| B.B.Adhikari, M.Gurung, H.Kawakita, K.Ohto  | Analyst                                  | Multiple proton ionizable calixarene derivatives with different ring sizes and complexation ability as efficient ionophores for complexation and solvent extraction of trivalent indium | 136 |   | 4570-9   |
| B.B.Adhikari, M.Gurung, H.Kawakita, K.Ohto  | Analyst                                  | Cation Complexation with p-tert-butylcalix[5]arene Pentacarboxylic Acid Derivative: An Allosteric Regulation of The First Metal Ion For Stepwise Extraction of The Second Ion           | 136 |   | 3758-69  |
| Chihyo Yamamoto, Hirokazu Seto, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Hiroyuki Harada  | Analytical Sciences                      | Effect of p electrons on the detection of silver ions by ion-selective electrodes containing tripodal broom molecules as an ionophore   | 27  |   | 389-93   |
| Uechi, N., Yukawa, J., Tokuda, M., Ganaha-Kikumura, T., Taniguchi, M.   | Appl. Entomol. Zool.                     | New information on host plants and distribution ranges of an invasive gall midge, Contarinia maculipennis, and its congeners (Diptera: Cecidomyiidae) in Japan                          | 46  | 3 | 383-9    |
| Lahiru N. Jayakody <sup>D</sup> , Kenta Horie <sup>M</sup> , Nobuyuki Hayashi, and Hiroshi Kitagaki   | Applied Microbiology and Biotechnology   | Improvement of tolerance of Saccharomyces cerevisiae to hot-compressed water-treated cellulose by expression of ADH1  | 94  | 1 | 273-83   |
| Yoichi Ishiwata, Tatsuya Shiraishi, Naoki Ito, Satoshi Suehiro, Tetsuya Kida, Hirofumi Ishii, Yasuhisa Tezuka, Yuji Inagaki, Tatsuya Kawae, Hirotaka Oosato, Eiichiro Watanabe, Daiju Tsuya, Masashi Nantoh, and Koji Ishibashi | Applied Physics Letters                  | Metal-insulator transition sustained by Cr-doping in V2O3 nanocrystals  | 100 | 4 | 043103-1 |

|   |   |   |     |     |           |
|---|---|---|-----|-----|-----------|
| Kukita A, Kukita T, Nagata K, Teramachi J, Li YJ, Yoshida H, Miyamoto H, Gay S, Pessler F and Shobuike T.                               | Arthritis & Rheumatism                        | The Transcription Factor FBI-1/OCZF/LRF is Expressed in Osteoclasts and Regulates RANKL-induced Osteoclast Formation In vitro and In vivo.  | 63  | 9   | 2744-2754 |
| Kukita, A. Kukita, T. Nagata, K. Teramachi, J. Li, Y. J. Yoshida, H. Miyamoto, H. Gay, S. Pessler, F. Shobuike, T.                      | Arthritis Rheum                               | The transcription factor FBI-1/OCZF/LRF is expressed in osteoclasts and regulates RANKL-induced osteoclast formation in vitro and in vivo   | 63  | 9   | 2744-54   |
| Tada Y, Kondo S, Aoki S, Koarada S, Inoue H, Suematsu R, Ohta A, Mak TW, Nagasawa K   | Arthritis Rheum.                              | Interferon regulatory factor 5 is critical for the development of lupus in MRL/lpr mice.  | 63  |     | 738-48    |
| Trapp S, Hisadome K   | Autonomic Neuroscience                        | Glucagon-like peptide 1 and the brain: Central actions-central sources?   | 161 | 1-2 | 14-19     |
| Aoki S, Ikeda S, Takezawa T, Kishi T, Makino J, Uchihashi K, Matsunobu A, Noguchi M, Sugihara H, Toda S.                                | Biochem Biophys. Res Commun.                  | Prolonged effect of fluid flow stress on the proliferative activity of mesothelial cells after abrupt discontinuation of fluid streaming.   | 416 | ##  | 391-6     |
| Yang L, Fujita T, Jiang C-Y, Piao L-H, Yue H-Y, Mizuta K, Kumamoto E  | Biochem. Biophys. Res. Commun.                | TRPV1 agonist piperine but not olvanil enhances glutamatergic spontaneous excitatory transmission in rat spinal substantia gelatinosa neurons.  | 410 | 4   | 841-5     |
| Furuhata K., Edagawa A., Miyamoto H., Goto K., Yoshida S., Fukuyama M.  | Biocontrol. Sci.                              | The first case of Legionella nagasakiensis isolation from hot spring water  | 16  | 4   | 171-176   |
| T. Suga, S. Osada, H. Kodama  | Bioorg. Med. Chem.                            | Formation of ion-selective channel using cyclic tetrapeptides   | 20  | 1   | 42-46     |
| Oba T, Suenaga H, Nakayama S, Mitsuiki S, Kitagaki H, Tashiro K, Kuhara S.  | Biosci Biotechnol Biochem. 2011;75(10):2025-9 | Properties of a high malic acid-producing strains of Saccharomyces cerevisiae isolated from sake mash.  |     |     |           |
| Oba T, Suenaga H, Nakayama S, Mitsuiki S, Kitagaki H, Tashiro K, Kuhara S.  | Biosci Biotechnol Biochem. 2011;75(10):2025-9 | Properties of a high malic acid-producing strains of Saccharomyces cerevisiae isolated from sake mash.  | 75  | 10  | 2025-9    |
| Y. Tsuruta, K. Nagao, B. Shirouchi, S. Nomura, K. Tsuge, K. Koganemaru, T. Yanagita   | Biosci. Biotechnol. Biochem.                  | Effects of lotus root (edible rhizome of Nelumbo nucifera) on the development of nonalcoholic fatty liver disease in obese diabetic db/db mice.   | 76  | 3   | 462-6     |
| T. Hamada, M. Kudo, M. Sato, N. Inoue, K. Nagao, K. Imaizumi, I. Ikeda  | Biosci. Biotechnol. Biochem.                  | Effect of liver X receptor agonist on deposition and lymphatic absorption of plant sterols in stroke-prone spontaneously hypertensive rats that have a mutation in ATP-binding cassette transporter g5. | 75  | 12  | 2359-63   |
| N. Inoue, K. Nagao, S. Nomura, B. Shirouchi, M. Inafuku, H. hirabaru, N. Nakahara, S. Nishizono, T. Tanaka, T. Yanagita                 | Biosci. Biotechnol. Biochem.                  | Effect of Vaccinium ashei reade leaf extracts on lipid metabolism in obese OLETF rats.  | 75  | 12  | 2304-8    |
| Shibata K, Yamada H, Sato T, Dejima T, Nakamura M, Ikawa T, Hara H, amasaki S, Kageyama R, Iwakura Y, Kawamoto H, Toh H, and Yoshikai Y | Blood   | Notch-Hes1 pathway is required for the development of IL-17-producing T cells   | 118 |     | 586-93    |

|  |  |  |     |    |         |
|--|--|--|-----|----|---------|
| Hisatomi T, Sueoka-Aragane N, Sato A, Tomimasu R, Ide M, Kunimasa A, Okamoto K, Kimura S, Sueoka E                       | Blood                                    | NK314 potentiates anti-tumor activity with adult T-cell leukemia-lymphoma cells by inhibition of dual targets on topoisomerase IIa and DNA-dependent protein kinase. | 117 | 13 | 3575-84 |
| Kido, Makiko Takeuchi, Satoshi Sugiyama, Naonobu Esaki, Hitokazu Nakashima, Hitoshi Yoshida, Hiroki Furue, Masutaka      | Br J Dermatol                            | T cell-specific overexpression of interleukin-27 receptor alpha-subunit (WSX-1) prevents spontaneous skin inflammation in MRL/lpr mice                               |     |    |         |
| Masatsugu Hashiguchi, Jun Abe, Toshio Aoki, Toyoaki Anai, Akihiro Suzuki, Ryo Akashi                                     | Breeding Science                         | The National BioResource Project (NBRP) Lotus and Glycine in Japan   | 61  | 1  | 453-61  |
| Toyoaki Anai   | Breeding Science                         | Potential of a mutant-based reverse genetic approach for functional genomics and molecular breeding in soybean   | 61  | 1  | 462-7   |
| Toyoaki Anai, Tomoki Hoshino, Naoko Imai and Yutaka Takagi   | Breeding Science                         | Molecular characterization of two high-palmitic-acid mutant loci induced by X-ray irradiation in soybean   | 61  | 1  | 631-8   |
| M. Hashiguchi, J. Abe, T. Aoki, T. Anai, A. Suzuki and R. Akashi   | Breeding Science, 2011 (in press)        | The National BioResource Project (NBRP) Lotus and Glycine in Japan.  |     |    |         |
| Jin L, Tabe Y, Kimura S, Zhou Y, Kuroda J, Asou H, Inaba T, Konopleva M, Andreeff M, Miida T.                            | Brit J Cancer                            | Antiproliferative and proapoptotic activity of GUT-70 mediated through potent inhibition of Hsp90 in mantle cell lymphoma  | 104 | 1  | 91-100  |
| M. Inafuku, K. Nagao, S. Nomura, B. Shirouchi, N. Inoue, N. Nagamori, H. Nakayama, T. Toda, T. Yanagita                  | British Journal of Nutrition             | Protective effects of fractional extracts from <i>Panellus serotinus</i> on nonalcoholic fatty liver disease in obese, diabetic db/db mice                           | 107 | 5  | 639-46  |
| Nagao R, Ashihara E, Kimura S, Strovel JW, Yao H, Takeuchi M, Tanaka R, Hayashi Y, Hirai H, Padia J, Strand K, Maekawa T | Cancer Lett                              | Growth inhibition of imatinib-resistant CML cells with the T315I mutation and hypoxia adaptation by AV65, a novel Wnt/ $\beta$ -catenin signaling inhibitor          | 312 | 1  | 91-100  |
| Charity Nofziger, Silvia Dossena, Shoichi Suzuki, Kenji Izuhara, and Markus Paulmichl                                    | Cell Physiol Biochem                     | Pendrin function in airway epithelia.  | 28  | 3  | 571-8   |
| Nomoto-Kojima N, Aoki S, Uchihashi K, Matsunobu A, Koike E, Ootani A, Yonemitsu N, Fujimoto K, Toda S                    | Cell Tissue Res                          | Interaction between adipose tissue stromal cells and gastric cancer cells in vitro   | 344 | 2  | 287-98  |
| Nomoto-Kojima N, Aoki S, Uchihashi K, Matsunobu A, Koike E, Ootani A, Yonemitsu N, Fujimoto K, Toda S.                   | Cell Tissue Res. 2011 May;344(2):287-98. | Interaction between adipose tissue stromal cells and gastric cancer cells in vitro.  | 344 | 2  | 287-98  |
| Takeuchi M, Ashihara E, Yamazaki Y, Kimura S, Nakagawa Y, Tanaka R, Yao H, Nagao R, Hayashi Y, Hirai H, Maekawa T        | Cancer Sci                               | Rakicidin A effectively induces apoptosis in hypoxia adapted Bcr-Abl positive leukemic cells   | 102 | 3  | 591-6   |
| Kawatani M, Takayama H, Muroi M, Kimura S, Maekawa T, Osada H. 1   | Chem Biol                                | Identification of a small molecule inhibitor of DNA topoisomerase II by proteomic profiling  | 18  | 6  | 743-5   |
| Manickam Sasidharan, Satoru Fujita, Masataka Ohashi, Yasutomo Goto, Kenichi Nakashima, and Shinji Inagaki                | Chem. Commun.                            | Novel synthesis of bifunctional catalysts with different microenvironments   | 47  |    | 1042-4  |

|   |                                 |   |     |    |           |
|---|---------------------------------|---|-----|----|-----------|
| Manickam Sasidharan, Kenichi Nakashima, Nanda Gunawardhana, Toshiyuki Yokoi, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Masaki Yoshio, and Takashi Tatsumi              | Chem. Commun.                   | Novel titania hollow nanospheres of size $28 \pm 1$ nm using soft-template and their application for lithium-ion rechargeable batteries   | 47  |    | 6921-3    |
| Gurung, M., Adhikari, B.B., Kawakita, H., Ohto, K., Inoue, K., Alam, S  | Chem. Eng. J                    | Recovery of Au(III) by using low cost adsorbent prepared from persimmon tannin extract  | 174 |    | 556-63    |
| Birendra Babu Adhikaria, Masaki Kanemitsu, Hidetaka Kawakita, Juminab, Keisuke Ohto   | Chem. Eng. J.                   | Synthesis and application of a highly efficient polyvinylcalix[4]arene tetraacetic acid resin for adsorptive removal of lead from aqueous solutions   | 172 |    | 341-53    |
| Bishnu Prasad Bastakoti, Sudhina Guragain, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, Kenichi Nakashima  | Colloids Surf. B: Biointerfaces | Incorporation and release behavior of amitriptylene in core-shell-corona type triblock copolymer micelles   | 88  |    | 734-40    |
| Hisadome K, Reimann F, Gribble FM, Trapp S  | Diabetes                        | CCK stimulation of GLP-1 neurons involves alpha1-adrenoceptor-mediated increase in glutamatergic synaptic inputs.   | 60  |    | 2701-9    |
| Akao T, Yashiro I, Hosoyama A, Kitagaki H, et al.,  | DNA Research                    | Whole-Genome Sequencing of Sake Yeast <i>Saccharomyces cerevisiae</i> Kyokai no. 7.   | 00  | 00 |           |
| Anan M, Uchihashi K, Aoki S, Matsunobu A, Ootani A, Node K, Toda S  | Endocrinology                   | A Promising Culture Model for Analyzing the Interaction between Adipose Tissue and Cardiomyocytes   | 152 | 4  | 1599-1605 |
| Yukawa, J., Ikenaga, H., Sato, S., Tokuda, M., Ganaha-Kikumura, T., Uechi, N., Matsuo, K., Mishima, M., Tung, G. S., Paik J.-C., Ren, B.-Q., Dong, X.-Y.      | Entomol. Sci.                   | Description and ecological traits of a new species of <i>Pitydiplosis</i> (Diptera: Cecidomyiidae) that induces leaf galls on <i>Pueraria</i> (Fabaceae) in East Asia, with a possible diversification scenario of intraspecific groups | 15  | 1  | 81-98     |
| Yukawa, J., Sato, S., Xu, H.-I., and Tokuda M.  | Entomol. Sci.                   | Description of a new species of the genus <i>Resseliella</i> (Diptera: Cecidomyiidae), a pollinator of <i>Kadsura longipedunculata</i> (Schisandraceae) in China, with comments on other examples of flower-visiting gall midges        | 14  | 3  | 297-303   |
| Tokuda, M., Matsuo, K., Yukawa, J.  | Esakia                          | Insect galls found on Miyakejima and Hachijojima, the Izu Islands, Tokyo, Japan   |     | 52 | 59-66     |
| Sakai K, Kawata E, Ashihara E, Nakagawa Y, Yamauchi A, Yao H, Nagao R, Tanaka R, Yokota A, Takeuchi M, Hirai H, Kimura S, Hirashima M, Yoshimura N, Maekawa T | Eur J Immunol                   | Galectin-9 ameliorates acute GVH disease through the induction of T-cell apoptosis  | 41  | 1  | 67-75     |
| Okamoto M, Hoshino T, Kitasato Y, Sakazaki Y, Takayama T, Fujimoto K, Ohshima K, Shiraishi H, Uchida M, Ono J, Ohota S, Kato S, Izuhara K, Aizawa H.          | Eur Respir J                    | Periostin, a matrix protein, is a novel biomarker for idiopathic interstitial pneumonias.   | 37  | 5  | 1119-27   |
| Taniguchi K, Yamamoto S, Aoki S, Toda S, Izuhara K, Hamasaki Y.   | Exp Lung Res                    | Epigen is induced during the interleukin-13-stimulated cell proliferation in murine primary airway epithelial cells.  | 37  | 8  | 461-70    |

|   |   |  |     |   |          |
|---|---|--|-----|---|----------|
| S. Watanabe, Z. Xia, R. Hideshima, Y. Tsubokura, S. Sato, N. Yamanaka, R. Takahashi, T. Anai, S. Tabata, K. Kitamura, K. Harada | Genetics                                      | A map-based cloning strategy employing a residual heterozygous line reveals that the GIGANTEA gene is involved in soybean maturity and flowering.  | 188 | 2 | 395-407  |
| W. Zhang, X. Zheng, X. Zeng, L. Mou, T. Yamato  | Guangpuxue Yu Guangpu Fenxi                   | Spectroscopic study on the performance of 1,3-thiacalix[4]rhodamine ethyldiamine amide derivatives to Fe <sup>3+</sup> ion   | 31  | 8 | 2156-60  |
| H. Hiyoshi, J. Do, F. Xing, T. Matsumoto and T. Yamato  | Heterocycles                                  | A FACILE SYNTHESIS OF 2,5-DISUBSTITUTED INDOLE DERIVATIVES AS NEW FLUORESCENT DYES   | 83  |   | 1017-27  |
| Hashimoto-Komatsu A, Hirase T, Asaka M, Node K.   | Hypertens Res.                                | Angiotensin II induces microtubule reorganization mediated by a deacetylase SIRT2 in endothelial cells.  | 34  | 8 | 949-56   |
| Dejima T, Shibata K, Yamada H, Hara H, Iwakura Y, Naito S, Yoshikai Y   | Infect Immun                                  | A protective role of naturally occurring IL-17A-producing $\gamma\delta$ T cells in the lung at the early stage of systemic candidiasis in mice  | 79  |   | 4503-10  |
| Yabu M, Shime H, Hara H, Saito T, Matsumoto M, Seya T, Akazawa T, Inoue N   | Int Immunol                                   | IL-23-dependent and -independent enhancement pathways of IL-17A production by lactic acid  | 23  |   | 29-41    |
| Pan G, Hanaoka T, Yu L, Na J, Yamano Y, Hara K, Ichiba M, Nakadate T, Wang P, Yin H, Zhang S, Feng Y.                           | Int J Andrology                               | Associations between hazard indices of di-n-butylphthalate and di-2-ethylhexylphthalate exposure and serum reproductive hormone levels among occupationally exposed and unexposed Chinese men,                 |     |   | e397-406 |
| Inoue T, Taguchi I, Abe S, Toyoda S, Nakajima K, Sakuma M, Node K.  | Int J Cardiol.                                | Activation of matrix metalloproteinase-9 is associated with mobilization of bone marrow-derived cells after coronary stent implantation.   | 152 | 3 | 332-6    |
| Yamashita Y., Otsuka T., Shigematsu M., Goto M.   | Int J Oral Maxillofac Surg.                   | A long-term comparative study of two rigid internal fixation techniques in terms of masticatory function and neurosensory disturbance after mandibular correction by bilateral sagittal split ramus osteotomy. | 40  |   | 360-5    |
| Fukushima N, Itamura H, Urata C, Tanaka M, Hisatomi T, Kubota Y, Sueoka E, Kimura S.  | International Journal of Clinical Medicine    | Clinical presentation and outcome in patients of over 75 years old with malignant lymphoma—clinical presentation and outcome in elderly lymphoma patients.   | 2   | 3 | 246-53   |
| Kawano H, Nagayoshi Y, Kojima S, Kakihara N, Sakuma S, Uchino M, Komatsu A, Asaka M, Shimomura M, Yamabe H, Ogawa H, Node K     | International Journal of Clinical Medicine    | Clinical Feature of Japanese Patients with Fulminant Myocarditis   |     | 2 | 260-3    |
| Urata C, Yoshimura M, Itamura H, Hisatomi T, Kubota Y, Fukushima N, Sueoka E, Kimura S.   | International Journal of Hematology           | Lenalidomide in combination with dexamethasone induced rhabdomyolysis in a multiple myeloma patient treated with pravastatin.  | 94  | 2 | 216-7    |
| Bo Zhang, Toshifumi Mawatari, Akira Nakajima  | International Tribology Conference, Hiroshima | The Effect of Humidity on Frictional Behavior of Slider Air Bearings in Both Air and Nitrogen Gas  |     |   |          |

|   |                           |  |     |    |           |
|---|---------------------------|--|-----|----|-----------|
| Yoshida S, Ishikawa K, Asato R, Sassa Y, Yoshida A, Yoshikawa H, Narukawa K, Obika S, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Kono T, Ishibashi T:  | Invest Ophthalmol Vis Sci | Increased expression of periostin in vitreous and fibrovascular membranes obtained from patients with proliferative diabetic retinopathy                   | 52  | 8  | 5670-8    |
| ONoguchi R, Nakayama K, Ishihara K, Murata Y, Node K, Morita S  | ISHLT 2011                | Fabrication of tissue engineered pulsatile 3-Dimensional scaffold-free cardiac tissue from embryonic stem cells  |     |    |           |
| Noda H, Iso H, Yamashita S, Ueno H, Yokode M, Yamada N, Ouchi Y; Defining Vascular Disease (DVD) Research Group.  | J Atheroscler Thromb.     | Risk stratification based on metabolic syndrome as well as non- metabolic risk factors in the assessment of carotid atherosclerosis.                       | 18  | 6  | 504-12    |
| Kaminski S, Hermann-Kleiter N, Meisel M, Thuille N, Cronin S, Hara H, Fresser F, Penninger JM, Baier G  | J Autoimmun               | Coronin 1A is an essential regulator of the TGF $\beta$ receptor/SMAD3 signaling pathway in Th17 CD4+ T cells  | 37  |    | 198-208   |
| Yano M, Watanabe K, Yamamoto T, Ikeda K, Senokuchi T, Lu M, Kadomatsu T, Tsukano H, Ikawa M, Okabe M, Yamaoka S, Okazaki T, Umehara H, Gotoh T, Song WJ, Node K, Taguchi R, Yamagata K, Oike Y. | J Biol Chem.              | Mitochondrial dysfunction and increased reactive oxygen species impair insulin secretion in sphingomyelin synthase 1-null mice.                            | 286 | 5  | 3992-4002 |
| Inoue T, Taguchi I, Abe S, Toyoda S, Sakuma M, Node K.  | J Clin Pharm Ther.        | Inhibition of intestinal cholesterol absorption might explain cholesterol-lowering effect of telmisartan.  | 36  | 1  | 103-10    |
| Wang B, Danjo A, Kajiya H, Okabe K, Kido MA.  | J Dent Res                | Oral Epithelial Cells are Activated via TRP Channels.  | 90  | 2  | 163-7     |
| Yang GX, Wu Y, Tsukamoto H, Leung PS, Lian ZX, Rainbow DB, Hunter KM, Morris GA, Lyons PA, Peterson LB, Wicker LS, Gershwin ME, Ridgway WM  | J Immunol                 | CD8 T cells mediate direct biliary ductule damage in nonobese diabetic autoimmune biliary disease  | 186 | 2  | 1259-67   |
| Eiichi Hasegawa, Yuji Oshima, Atsunobu Takeda, Kazuko Saeki, Hiroki Yoshida, Koh-Hei Sonoda, Tatsuro Ishibashi  | J Leukoc Biol             | IL-27 inhibits pathophysiological intraocular neovascularization due to laser burn   |     |    |           |
| Makino N, Maeda T, Oyama JI, Sasaki M, Higuchi Y, Mimori K, Shimizu T.  | J Mol Cell Cardiol.       | Antioxidant therapy attenuates myocardial telomerase activity reduction in superoxide dismutase-deficient mice.  | 50  | 4  | 670-7     |
| Maeda T, Oyama JI, Sasaki M, Arima T, Makino N.   | J Nutr Health Aging.      | The Correlation between the Clinical Laboratory Data and the Telomere Length in Peripheral Blood Leukocytes of Japanese Female Patients with Hypertension. | 15  | 3  | 240-4     |
| Aoki A, Shiozaki A, Sameshima A, Higashimoto K, Soejima H, Saito S.   | J Obstet Gynaecol Res.    | Beckwith-Wiedemann syndrome with placental chorangioma due to H19-differentially methylated region hypermethylation: a case report.                        | 37  | 12 | 1872-6    |
| Nakamura T, Sueoka-Aragane N, Iwanaga K, Sato A, Komiya K, Abe T, Ureshino N, Hayashi S, Hosomi T, Hirai M, Sueoka E, Kimura S  | J Thorac Oncol            | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA   | 6   | 10 | 1639-48   |
| Ikeda Y, Nakano M, Ihara H, Ito R, Taniguchi N, Fujii J   | J. Biochem                | Different consequences of reactions with hydrogen peroxide and t-butyl hydroperoxide in the hyperoxidative inactivation of rat peroxiredoxin-4.            | 149 |    | 443-53    |

|   |  |   |     |   |         |
|---|--|---|-----|---|---------|
| Seiichirou Ohura, Biplob Kumar Biswas, Hiroyuki harada, Mitsunori Kondo, Katsutoshi Inoue, keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita                                  | J. Chem. Eng. Jpn                      | Phosphorus recovery as potassium-magnesium-phosphate from piggery wastewater using Zr(IV)-loaded saponified orange juice residue  | 44  |   | 708-12  |
| Kanjana Khunathai, Miyuki Matsueda, Biplob Kumar Biswas, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Katsutoshi Inoue, Masamitsu Funaoka, Shafiq Alam | J. Chem. Eng. Jpn                      | Adsorption behavior of lignophenol compounds and their dimethylamine derivatives prepared from rice and wheat straws for precious metal ion   | 44  |   | 781-7   |
| K. Fujii, R. Kanzaki, T. Takamuku, Y. Kameda, S. Kohara, M. Kanakubo, M. Shibayama, S. Ishiguro, and Y. Umebayashi  | J. Chem. Phys.                         | Experimental Evidences for Molecular Origin of low-Q peak in Neutron/X-ray Scattering of 1-Alkyl-3-methylimidazolium bis(trifluoromethanesulfonyl)amide Ionic Liquids,                                | 135 |   | 2445-10 |
| B. Sharma, X. Feng, K. Tazoe, S. Miyamoto and T. Yamato   | J. Chem. Research                      | Synthesis and conformational studies of 9-methoxy[3.3]metacyclophanes and 9-methoxy[3]metacyclo[3](2,6)pyridinophane  |     |   | 448-52  |
| Atsunori Nozoe, Minoru Abe, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita   | J. Chem. Technol. Biotechnol           | Germanium recovery using polyphenol microspheres prepared by horseradish peroxidase reaction,   | 86  |   | 1374-87 |
| Dian Liu, Manickam Sasidharan and Kenichi Nakashima   | J. Colloid Interface Sci               | Micelles of poly(styrene-b-2-vinylpyridine-b-ethylene oxide) with blended polystyrene core and their application to the synthesis of hollow silica nanospheres  | 358 |   | 354-9   |
| Hari Paudyal, Bimala Pageni, Katsutoshi Inoue, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Hiroyuki Harada, Shafiq Alam  | J. Hazad. Mater                        | Adsorptive removal of fluoride from aqueous solution using orange waste loaded with multi-valent metal ions   | 192 |   | 676-82  |
| Yang GX, Wu Y, Tsukamoto H, Leung PS, Lian ZX, Rainbow DB, Hunter KM, Morris GA, Lyons PA, Peterson LB, Wicker LS, Gershwin ME, Ridgway WM                  | J. Immunol                             | CD8 T cells mediate direct biliary ductule damage in nonobese diabetic autoimmune biliary disease.  | 186 | 2 | 1259-67 |
| Keisuke Ohto, Takashi Matsufuji, Tomoaki Yoneyama, Masahiro Tanaka, Hidetaka Kawakita, Tatsuya Oshima,  | J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem       | Preorganized, cone-conformational calix[4]arene possessing four propylenephosphonic acids with high extraction ability and separation efficiency for trivalent rare earth elements                    | 71  |   | 489-97  |
| Birendra Babu Adhikari, Manju Gurung, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto   | J. Incl. Phenom. Macrocycl. Chem       | Complexation and extraction behavior of trivalent indium with multiple proton ionizable p-t-butylcalix[5]arene pentacarboxylic acid derivative: a new efficient solvent extraction reagent for indium | 71  |   | 479-87  |
| M. Takimoto, X. Ni, S. Rahman, Z. Xi and T. Yamato  | J. Incl. Phenom. Macrocyclic Chem.     | Heteroditopic receptors tris(2-pyridylamide) derivatives derived from hexahomo-trioxacalix[3]arene triacetic acid   | 70  |   | 69-80   |
| X. Ni, M.i Takimoto, Z. Xi and T. Yamato  | J. Inclusion Phenom. Macrocyclic Chem. | Synthesis, structure and inclusion properties of cone-tris[[(5'-methyl-2,2'-bipyridyl)-5-yl]oxycarbonylmethoxy]hexahomotrioxacalix[3]arene  | 71  |   | 231-7   |

|   |                               |  |     |         |                   |
|---|-------------------------------|--|-----|---------|-------------------|
| Manickam Sasidharan, Dian Liu, Nanda Gunawardhana, Masaki Yoshio, and Kenichi Nakashima   | J. Mater. Chem.               | Synthesis, characterization and application for lithium-ion rechargeable batteries of hollow silica nanospheres  | 21  |         | 1388<br>1-8       |
| Seiichirou Ohura, Hiroyuki Harada, Biplob Kumar Biswas, Mitsunori Kondo, Susumu Ishikawa, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Katsutoshi Inoue | J. Mater. Cycles Waste Manag  | Phosphorus recovery from secondary effluent and side-stream liquid in a sewage treatment plant using zirconium-loaded saponified orange waste  | 13  |         | 293-7             |
| Kai Huang, Katsutoshi Inoue, Hiroyuki Harada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto   | J. Mater. Cycles Waste Manag. | Leaching of heavy metals by citric acid from fly ash generated in municipal waste incineration plants  | 13  |         | 118-25            |
| Hirokazu Seto, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita  | J. Membrane Sci               | Reversible extension and shrinkage of solvent-responsive dextran chains produced by enzymatic reaction   | 370 |         | 76-81             |
| Hara H, Nanri Y, Tabata E, Mitsutake S, Tabira T.   | J. Neuroimmunol               | Identification of astrocyte-derived immune suppressor factor that induces apoptosis of autoreactive T cells.   | 1   | 23<br>3 | 135-46            |
| Liu T, Fujita T, Kumamoto E   | J. Neurophysiol               | Acetylcholine and norepinephrine mediate GABAergic but not glycinergic transmission enhancement by melittin in adult rat substantia gelatinosa neurons.  | 106 | 1       | 233-46            |
| Yue H-Y, Fujita T, Kumamoto E   | J. Neurophysiol               | Biphasic modulation by galanin of excitatory synaptic transmission in substantia gelatinosa neurons of adult rat spinal cord slices.   | 105 | 5       | 2337-49           |
| X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato   | J. Org. Chem.                 | Zn(II) complex based on pyrenyl-linked triazole-modified homooxalix[3]arene: a highly selective fluorescent receptor for dihydrogen phosphate  | 76  |         | 5696-702          |
| Tsugio Kitamura, Mohammad Hasan Morshed, Satoru Tsukada, Yuki Miyazaki, Naomi Iguchi, Daisuke Inoue   | J. Org. Chem.                 | Alkynylation of Benzotriazole with Silylethynyliodonium Triflates. Regioselective Synthesis of 3-Ethynyl-2H-benzotriazole Derivatives  | 76  |         | 8117-20           |
| I. Maeda, Y. Fukumoto, T. Nose, Y. Shimohigashi, T. Nezu, Y. Terada, H. Kodama, K. Kaibara, K. Okamoto                                      | J. Pept. Sci.                 | Structural requirements essential for elastin coacervation: favorable spatial arrangements of valine ridges on the three-dimensional structure of elastin-derived polypeptide (VPGVG) <sub>n</sub> | 17  | 11      | 735-43            |
| T. Shimomura, T. Takamuku, and T. Yamaguchi   | J. Phys. Chem. B              | Clusters of Imidazolium-based Ionic Liquid in Benzene Solutions  | 115 |         | 8518-27           |
| M. Shu-nan and M. Maki  | J. Phys. Soc. Jpn.            | Dielectric anisotropy in the charge-density wave state of K <sub>0.3</sub> MoO <sub>3</sub>  | 80  |         | 0847<br>06<br>1-4 |
| Shin-ichi Yusa, Shigeki Awa, Masanori Ito, Takeshi Kawase, Tadao Takada, Kenichi Nakashima, Dian Liu, Shigeru Yamago, and Yotaro Morishima  | J. Polym. Sci. Part A         | Solubilization of C <sub>60</sub> by Micellization with a Thermoresponsive Block Copolymer in Water: Characterization, Singlet Oxygen Generation, and DNA Photocleavage                            | 49  |         | 2761-70           |
| Jahan Rowshan, Miyuki. Kumagae, Masahide Nishibori, Hiroshi Yasue and Yasuhiko Wada   | J. Poult. Sci.                | Japanese Silkie Fowls are widely distributed in the Phylogenetic Tree derived from Mitochondrial complete D-loop Nucleotide Sequences  | 48  |         | 176-80            |
| N.Gunawardhana, G.-J.Park, A.-K.Tapha, N.Dimov, M.Sasidharan, H.Nakamura, M.Yoshio  | J. Power Sources              | Performance of a graphite(KS-6)/MoO <sub>3</sub> energy storing system   | 203 |         | 257-61            |

|  |   |  |     |     |          |
|--|---|--|-----|-----|----------|
| N.Gunawardhana, G.-J. Park, N. Dimov, A.-K.Thapa, H.Nakamura, H.Wang, T.Ishihara, M.Yoshio   | J. Power Sources                              | Constructing a novel and safer energy storing system using a graphite cathode and a MnO <sub>3</sub> anode   | 196 |     | 7886-90  |
| G.-M.Park, N.Gunawardhana, H.Nakamura, Y.-S. Kee, M.Yoshio   | J. Power Sources,                             | The study of electrochemical properties and lithium deposition of graphite at low temperature  | 199 |     | 293-9    |
| T. Takamuku, M. Tobiishi, and H. Saito   | J. Solution Chem.                             | Solvation Properties of Aliphatic Alcohol-Water and Fluorinated Alcohol-Water Solutions for Amide Molecules Studied by IR and NMR Techniques   | 40  |     | 2046-56  |
| B.B.Adhikari, M.Gurung, H.Kawakita, K.Ohto   | J.Haz.Mat.                                    | Methylene crosslinked calix[6]arene hexacarboxylic acid resin: a highly efficient solid phase extractant for decontamination of lead bearing effluents   | 193 |     | 200-8    |
| B.B.Adhikari, M.Gurung, H.Kawakita, K.Ohto,  | J.Incl.Phenom.Macrocycl.Chem.                 | Complexation and extraction behavior of trivalent indium with multiple proton ionizable p-t-butylcalix[5]arene pentacarboxylic acid derivative: a new efficient solvent extraction reagent for indium, | 71  | 3,4 | 479-87   |
| K.Ohto, T.Matsufuji, T.Yoneyama, M.Tanaka, H.Kawakita, T.Oshima  | J.Incl.Phenom.Macrocycl.Chem.,                | Preorganized, cone-conformational calix[4]arene possessing four propylenephosphonic acids with high extraction ability and separation efficiency for trivalent rare earth elements                     | 71  | 3,4 | 489-97   |
| Md. Ataur Rahman, Tsugio Kitamura  | Jahangirnagar University Journal of Science   | Direct Selective Diiodination of Aromatic Compounds Using Molecular Iodine   | 34  |     | 55-63    |
| Rani Agustina Wulandari, Natsumi Haraguchi, Satomi Nakano, Yoshirou Furukawa, Takashi Tanaka, Isao Kouno, Hiroshi Kitagaki and Kanji Ishimaru. | Japanese Journal of Food Chemistry and Safety | Teadenols biotransformed from tea catechins.   | 18  | 3   |          |
| 永沢善三、中島由佳里、福富由美子、宇木望、草場耕二、南雲文夫、太田昭一郎、末岡榮三朗、宮本比呂志   | JARMAM (臨床微生物迅速診断研究会誌)                        | MIC 測定濃度領域の相違による%T>MIC 達成確率への影響  | 22  | 1-2 | 11-22    |
| T. Makino, M. Kanakubo, T. Umecky, A. Suzuki, T. Nishida, J. Takano  | Journal of Chemical Engineering Data          | Electrical Conductivities, Viscosities, and Densities of N-methoxymethyl- and N-butyl-N-methylpyrrolidinium Ionic Liquids with the bis(fluorosulfonyl)amide anion                                      | 57  | 3   | 751-5    |
| Kensuke Hirotaki, Takeshi Hanamoto   | Journal of Organic Chemistry                  | Mizoroki-Heck Reaction of (1-Fluorovinyl)methyldiphenylsilane with Aryl Iodides  | 76  | 20  | 8564-8   |
| T. Umecky, M. Kanakubo, Y. Ikushima  | Journal of Physical Chemistry B               | Fluorination Effect on Rotational Correlation Times of Tris(b-diketonato)aluminum(III) in CO <sub>2</sub> by <sup>27</sup> Al NMR Relaxation Measurements  | 115 | 36  | 10622-30 |
| Terato, H., Suzuki, K., Nishioka, N., Okamoto, A., Shimazaki-Tokuyama, Y., Inoue, Y. and Saito, T.   | Journal of Radiation Research                 | Characterization and Radio-Resistant Function of Manganese Superoxide Dismutase of Rubrobacter radiotolerans.  | 52  |     | 735-42   |
| Shigemasa Y, Kito Y, Hashitani H, Suzuki H   | Journal of Smooth Muscle Research             | Factors which determine the duration of follower potentials in longitudinal smooth muscle isolated from the guinea-pig stomach antrum.   | 47  | 3-4 | 89-110   |

|   |  |  |     |         |                    |
|---|--|--|-----|---------|--------------------|
| Zenmyo, Kazuko; Kubo, Hidenori; Tokita, Masahiko; Hamasaki, Tatsuichi; Hagihala, Masato; Zheng, Xu-Guang  | Journal of the Physical Society of Japan | Proton NMR Study of Pyrochlore-Like Atacamite $Mn_2Cl(OH)_3$   | 80  | 2       | 0247<br>04-1<br>-2 |
| Teramachi J, Kukita A, Li YJ, Ushijima Y, Ohkuma H, Wada N, Watanabe T, Nakamura S, Kukita T  | Lab Invest.                              | Adenosine abolishes MTX-induced suppression of osteoclastogenesis and inflammatory bone destruction in adjuvant-induced arthritis.                             | 9   | 5       | 719-<br>21         |
| Bishnu Prasad Bastakoti, Sudhina Guragain, Yuuichi Yokoyama, Shin-ichi Yusa, and Kenichi Nakashima  | Langmuir                                 | Synthesis of Hollow $CaCO_3$ Nanospheres Templated by Micelles of Poly(styrene- <i>b</i> -acrylic acid- <i>b</i> -ethylene glycol) in Aqueous Solutions        | 27  |         | 379-<br>84         |
| Y. Tsuruta, K. Nagao, S. Kai, T. Yoshimura, K. Tsuge, K. Koganemaru, T. Yanagita  | Lipids Health Dis.                       | Polyphenolic extract of lotus root (edible rhizome of <i>Nelumbo nucifera</i> ) alleviates hepatic steatosis in obese diabetic db/db mice.                     | 10  | 20<br>2 | 1-8                |
| N. Inoue, K. Nagao, K. Sakata, N. Yamano, PER. Gunawardena, SY. Han, T. Matsui, T. Nakamori, H. Furuta, K. Takamatsu, T. Yanagita   | Lipids Health Dis.                       | Screening of soy protein-derived hypotriglyceridemic di-peptides in vitro and in vivo  | 10  | 85      | 1-10               |
| J. Hu and T. Yamato   | MATERIAL, PROCESS AND DEVICES            | Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-based Multiply Conjugated Shaped Light-Emitting Architectures: Toward Efficient Organic-Light-Emitting Diodes |     |         | 21-6<br>0          |
| Zhang Y, Lin X, Koga K, Takahashi K, Linge HM, Mello A, Laragione T, Gulko PS, Miller EJ.   | Mol Med                                  | Strain differences in alveolar neutrophil infiltration and macrophage phenotypes in an acute lung inflammation model.  | 17  |         | 780-<br>9          |
| Manickam Sasidharan, Kenichi Nakashima, Nanda Gunawardhana, Toshiyuki Yokoi, Masanori Ito, Masamichi Inoue, Shin-ichi Yusa, Masaki Yoshio, and Takashi Tatsumi  | Nanoscale                                | Periodic Organosilica Hollow Nanospheres as Anode Materials for Lithium Ion Rechargeable Batteries   | 3   |         | 4768<br>-73        |
| Kumashiro, S., Matsukura, K., Kawaura, K., Matsumura, M., Ogihara, Y., and Tokuda, M.   | Naturwissenschaften                      | Effect of barley chromosome addition on the susceptibility of wheat to feeding by a gall-inducing leafhopper   | 98  | 11      | 983-<br>7          |
| Murata Y, Li M-Z, Masuko S  | Neurosci. Lett                           | Developmental expression of oxytocin receptors in the neonatal medulla oblongata and pons  | 502 |         | 157-<br>61         |
| Fujimoto K, Kawaguchi T, Nakashima O, Ono J, Ohta S, Kawaguchi A, Tonan T, Ohshima K, Yano H, Hayabuchi N, Izuhara K, Sata M.   | Oncol Rep                                | Periostin, a matrix protein, has potential as a novel serodiagnostic marker for cholangiocarcinoma.  | 25  | 5       | 1211<br>-6         |
| Ureshino N, Aragane N, Nakamura T, Ide M, Mochinaga S, Fukushima N, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S.  | Oncol Res                                | A Fully Integrated and Automated Detection System for Single Nucleotide Polymorphisms of UGT1A1 and CYP2C19.   | 19  |         | 111-<br>4          |
| Kiminori Fujimoto, Takumi Kawaguchi, Osamu Nakashima, Junya Ono, Shoichiro Ohta, Atsushi Kawaguchi, Tatsuyuki Tonan, Koichi Ohshima, Hirohisa Yano, Naofumi Hayabuchi, Kenji Izuhara, and Michio Sata | Oncology Reports                         | Periostin, a matrix protein, has potential as a novel serodiagnostic marker for cholangiocarcinoma   | 25  |         | 1211<br>-6         |
| Zhang H, Ozaki I, Hamajima H, Iwane S, Takahashi H, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Yamamoto K, Mizuta T   | Oncology Reports<br>25: 159-166          | Vitamin K2 augments 5-fluorouracil-induced growth inhibition of human hepatocellular carcinoma cells by inhibiting NF- $\kappa$ B activation.                  |     |         |                    |

|  |                                      |   |     |    |         |
|--|--------------------------------------|---|-----|----|---------|
| Kakimoto T, Shiraishi R, Iwakiri R, Fujimoto K, Takahashi H, Hamajima H, Mizuta T, Ideguchi H, Toda S, Kitajima Y, Ozaki I, Matsuhashi S   | Oncology Reports                     | Expression patterns of the tumor suppressor PDCD4 and correlation with $\beta$ -catenin expression in gastric cancers                       | 26  |    | 1385-92 |
| Masaki Nagata, Osamu Ueda, Takeo Shobuike, Tetsuro Muratani, Yosuke Aoki, Hiroshi Miyamoto   | Open Journal of Medical Microbiology | Emergence of optochin resistance among <i>Streptococcus pneumoniae</i> in Japan   | 2   |    | 8-15    |
| X.-L. Ni, X. Zeng, D. L. Hughes, C. Redshaw and T. Yamato  | Org. Biomol. Chem.                   | Novel ion-pair receptors based on hexahomotrioxacalix[3]arene derivatives   | 9   |    | 6525-41 |
| X.-L. Ni, S. Wang, X. Zeng and T. Yamato   | Org. Lett.                           | Pyrene-Linked Triazole-Modified Homooxacalix[3]arene: A Unique C3 Symmetry Ratiometric Fluorescent Chemosensor for Pb <sup>2+</sup>         | 13  |    | 552-5   |
| Tsugio Kitamura  | Org. Synth.                          | Discussion Addendum for: (Phenyl)[2-(trimethylsilyl)phenyl]iodonium Triflate. An Efficient and Mild Benzyne Precursor                       | 89  |    | 98-104  |
| Ryoko Maeda, Rie Ishibashi, Ryo Kamaishi, Kensuke Hirotaki, Hiroshi Furuno, Takeshi Hanamoto   | Organic Letters                      | AgSbF <sub>6</sub> -Promoted Cycloaddition Reaction of 2-Trifluoromethyl-N-tosylaziridine with Aldehydes                                    | 13  | 23 | 6240-3  |
| C. Redshaw, L. Clowes, D. Hughes, M. Elsegood, and T. Yamato   | Organometallics                      | Ethylene Polymerization Catalysis by Vanadium-Based Systems Bearing Sulfur-Bridged Calixarenes  | 30  |    | 5620-4  |
| Wataru Taniguchi, Terumasa Nakatsuka, Nobuyuki Miyazaki, Hiroshi Yamada, Daisuke Takeda, Tsugumi Fujita, Eiichi Kumamoto, Munehito Yoshida | PAIN                                 | In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic antinociceptive actions on substantia gelatinosa neurons in the spinal cord.                   | 152 | 1  | 95-105  |
| 井上 将成、藤田 亜美、朴 蓮花、岳海源、水田 恒太郎、青山 貴博、八坂 敏一、熊本 栄一  | Pain Res                             | ラット脊髄膠様質ニューロンにおける興奮性シナプス伝達のオイゲノールによる促進作用.   | 26  | 3  | 157-68  |
| Möller JC, Cron RQ, Young DW, Girschick HJ, Levy DM, Sherry DD, Kukita A, Saijo K, Pessler F.  | Pediatr Rheumatol Online J.          | Corticosteroid-induced spinal epidural lipomatosis in the pediatric age group: report of a new case and updated analysis of the literature. | 9   | 1  | 5       |
| T. Suga, S. Osada, H. Kodama   | Peptides                             | Formation of ion-selective channel using cyclic tetrapeptides.  | 20  | 1  | 42-6    |
| T. Suga, S. Osada, H. Kodama   | Peptides                             | Significance of Intermolecular Hydrogen-Bonding to Form Ion Channel by the Cyclic Tetrapeptide cyclo(D-Ala-Dap) <sub>2</sub>                |     |    | 191-2   |
| T. Suga, J. Taira, S. Osada, H. Kodama   | Peptides Science 2010                | Contribution of hydrophobic side-chain in cyclic tetrapeptide forming ion channel   |     |    | 130     |
| T. Suga, S. Osada, H. Kodama   | Peptides: Building Bridges           | Significance of Intermolecular Hydrogen-Bonding to Form Ion Channel by the Cyclic Tetrapeptide cyclo(D-Ala-Dap) <sub>2</sub>                |     |    | 156-7   |
| Aoki S, Makino J, Nagashima A, Takezawa T, Nomoto N, Uchihashi K, Matsunobu A, Sanai T, Sugihara H, Toda S.                                | Perit Dial Int                       | Fluid flow stress affects peritoneal cell kinetics: possible pathogenesis of peritoneal fibrosis.   | 31  | 4  | 466-76  |
| T. Takamuku, T. Shimomura, M. Tachikawa, and R. Kanzaki  | Phys. Chem. Chem. Phys.              | N,N-Dimethylformamide-induced Phase Separation of Hexafluoroisopropanol-Water Mixtures  | 13  |    | 1122-32 |

|  |   |  |     |    |                    |
|--|---|--|-----|----|--------------------|
| M. Fujihala, X. G. Zheng*, Y. Oohara, H. Morodomi, T. Kawae, Akira Matsuo, and Koichi Kindo    | Phys. Rev. B  | Short-range correlations and persistent spin fluctuations in the undistorted kagome lattice Ising antiferromagnet<br>Co <sub>3</sub> Mg(OH)6Cl <sub>2</sub>  | 85  |    | 0124<br>02-1<br>-5 |
| Musembi Mutuku and Akihiro Nose  | Physiological and Molecular Plant Pathology   | High activities and mRNA expression of pyrophosphate-fructose-6-phosphate-phosphotransferase and 6-phosphofructokinase are induced as a response to Rhizoctonia solani infection in rice leaf sheath | 77  | 1  | 41-5<br>1          |
| Katano, T., Yoshida, M., Yamaguchi, S., Hamada, T., Yoshino, K., Hayami, Y.                    | Plankton and Benthos Research   | Diel vertical migration and cell division of bloom-forming dinoflagellate Akashiwo sanguinea in the Ariake Sea, Japan  |     |    |                    |
| Mi-ichi F, Makiuchi T, Furukawa A, Sato D, Nozaki T.   | PLoS Negl Trop Dis  | Sulfate activation in mitochondria plays an important role in the proliferation of Entamoeba histolytica.  | 5   | 8  | e126<br>3          |
| Tanaka Y, Hayashi M, Kubota Y, Nagai H, Sheng G, Nishikawa S, Samokhvalov IM.                  | Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America             | Early ontogenic origin of the hematopoietic stem cell lineage.   | 109 | 12 | 4515<br>-20        |
| Bo Zhang, Toshifumi Mawatari, and Akira Nakajima   | Proceedings of the STLE/ASME 2011 International Joint Tribology Conference IJTC2011,        | Slider air bearing design in consideration of the Pumping effect   |     |    |                    |
| M. Kuramori, T. Ishikawa, T. Narita, and Y. Oishi  | Progress in Colloid and Polymer Science   | Phase Separation for Langmuir Monolayer in Binary System Based on a p-A Isotherm Measurement   | 138 |    | 103-<br>7          |
| OSAMI KURODA, HIROSHIGE SETO, TAKAYUKI NARITA, MICHIO YAMANAKA, YUSHI OISHI                    | Progress in Colloid and Polymer Science   | Liposome Deformation by Imbalance of pH and Ionic Strength across the Membrane   | 138 |    | 49-5<br>3          |
| 徳田 誠・湯川淳一  | Pulex   | バリバリノキエダタマバエ(新称)の沖縄県における採集記録   |     | 50 | 572-<br>3          |
| Hidenobu Mizuki, Yudai Ito, Saba Samatya, Hisashi Harada, Hidetaka Kawakita, and Kazuya Uezu   | Solv. Extr. Ion Exch  | Zr(IV)-Immobilized Resin Prepared by Surface Template Polymerization for Fluoride Ion Removal  | 29  |    | 146-<br>56         |
| Kyuya Harada, Satoshi Watanabe, Xia Zhengjun, Yasutaka Tsubokura, Naoki Yamanaka, Toyoaki Anai | Soybean - Genetics and Novel Techniques for Yield Enhancement, Dora Krezhova (Ed.), InTech, | Positional cloning of the responsible genes for maturity loci E1, E2 and E3 in soybean   |     |    |                    |
| T. Wajima, T. Shomizu, T. Yamato and Y. Ikegami  | Sozai Busseigaku Zasshi   | Fundamental study on desalination treatment of anions in seawater with AgNO <sub>3</sub> and Pb(NO <sub>3</sub> ) <sub>2</sub>   | 23  | 2  | 33-3<br>7          |
| W. J. Tao, X. D. Liu, X. G. Zheng, D. D. Meng, Q. X. Guo.                                      | Spectroscopy and Spectral Analysis  | Mid-Infrared and Raman Spectral Properties of Geometrically Frustrated Atacamite.  | 31  | 9  | 2431<br>-6         |

|   |  |  |     |   |         |
|---|--|--|-----|---|---------|
| X. Ni, X. Zeng, D. L. Hughes, C. Redshaw and T. Yamato  | Supramolecular Chemistry                               | Synthesis, crystal structure and complexation behaviour of a thiacalix[4]arene bearing 1,2,3-triazole groups   | 23  |   | 689-95  |
| Md. Shahajahan Kutubi, Takuya Hashimoto, Tsugio Kitamura  | Synthesis  | Improved Synthesis of Coumarins by Iron(III)-catalyzed Cascade Reaction of Propiolic Acids and Phenols   |     |   | 1283-9  |
| K. Tazoe, Y. Uchikawa, X. Feng and T. Yamato  | Synthetic Communications, DOI: 10.1080/00397911.2011   | Synthesis and Structure of 2,3-Bis(5-tert-butyl-2-methoxyphenyl)buta-1,3-diene by Bromine Elimination of (Z)-1,4-Dibromo-2,3-bis(5-tert-butyl-2-methoxyphenyl)-2-butene  |     |   |         |
| T.Yoneyama, H.Sadamatsu, S.Kuwata, H. Kawakita, K. Ohto   | Talanta  | Allosteric coextraction of sodium and metal ions with calix[4]arene derivatives 2: First numerical evaluation for the allosteric effect on alkali metal extraction with crossed carboxylicacidtypecalix[4]arenes | 88  |   | 121-8   |
| X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato   | Tetrahedron  | Synthesis and evaluation of a novel pyrenyl-appended triazole-based thiacalix[4]arene as fluorescent sensor for Ag <sup>+</sup> ion  | 67  |   | 3248-53 |
| Md. Shahajahan Kutubi, Tsugio Kitamura  | Tetrahedron,   | Regioselective synthesis of 3,3-bis(indolyl)propanoic acid derivatives by iron(III)-catalyzed hydroarylation of propynoic acid derivatives with indoles  | 67  |   | 8140-5  |
| Y. Yonekura,H.Miyamoto,Y. Ando,T. Shimazaki, I. Noda, M. Mawatari,T. Hotokebuchi                                  | The Journal of Bone and Joint Surgery, British Volume, | In Vivo Osteoconductivity of Novel Thermal Sprayed Silver-Containing Hydroxyapatite Coating in the Rat Tibia   | 93  | 5 | 644-649 |
| Mannan, Md. Abdul; Baba, Yuji; Kida, Tetsuya; Nagano, Masamitsu; Shimoyama, Iwao; Hirao, Norie; Noguchi, Hideyuki | Thin Solid Films                                       | Orientation of B-C-N hybrid films deposited on Ni (111) and polycrystalline Ti substrates explored by X-ray absorption spectroscopy  | 519 | 6 | 1780-6  |
| Hara H, Mouri A, Yonemitsu Y, Nabeshima T, Inoue M, Tabira T.   | Vaccine  | Mucosal immunotherapy in an Alzheimer mouse model by recombinant Sendai virus vector carrying Abeta1-43/IL-10 cDNA.  | 29  |   | 7474-82 |
| X.D. Liu, M. Hagihala, X. G. Zheng, and Q.X. Guo  | Vibrational Spectroscopy                               | Vibrational spectroscopic properties of botallackite-structure basic copper halides  | 56  | 2 | 177-83  |
| Kai K, Kohya N, Kitahara K, Masuda M, Miyoshi A, Ide T, Tokunaga O, Miyazaki K, Noshiro H.                        | Virchows Arch.   | Tumor budding and dedifferentiation in gallbladder carcinoma: potential for the prognostic factors in T2 lesions.  | 459 |   | 449-56  |
| Kai K, Ide T, Masuda M, Kitahara K, Miyoshi A, Miyazaki K, Noshiro H, Tokunaga O.                                 | Virchows Arch.   | Clinicopathologic features of advanced gallbladder cancer associated with adenomyomatosis.   | 459 |   | 573-80  |
| 原田浩幸・近藤充記・Biplob K. BISWAS・大浦誠一郎・井上勝利・石川 進・川喜田英孝・大渡啓介   | 環境技術   | ミカン搾汁残渣を起源としたリン吸着剤のリン吸着性能評価  | 40  |   | 240-6   |
| 小川みどり、野本摩利、福田和正、宮本比呂志、谷口初美  | 産業医科大学雑誌   | 病院および一般住居の水場環境における非結核性抗酸菌  | 33  | 4 | 319-329 |
| 甲斐敬太、戸田修二、神谷尚彦、佐藤慎太郎、三好篤、北原賢二、久保洋、能城浩和、徳永藏  | 診断病理 2011; 28: 171-177                                 | 肝腫瘍として発見された多形腺腫由来癌の術後肝転移の1例  |     |   |         |
| 佐々木真^M、大場孝宏、末永光、柘植圭介、吉村臣史、小金丸和義、北垣浩志  | 生物工学会誌, in press                                       | 吟醸酵母からのミトコンドリア輸送阻害剤耐性株取得と実製造におけるピルビン酸とαアセト乳酸の低減  | 99  |   |         |

|  |                                |  |    |    |        |
|--|--------------------------------|--|----|----|--------|
| 水田 恒太郎、藤田 亜美、岳 海源、蔣 昌宇、井上 将成、朴 蓮花、楊 柳、上村 聡子、川崎 弘貴、八坂 敏一、熊本 栄一                      | 脊髄機能診断学                        | ラット脊髄後角に入力する一次求心性線維の活動電位に及ぼすオピオイドの作用.                  | 33 | 1  | 54-63  |
| 上村 聡子、藤田 亜美、岳 海源、朴 蓮花、蔣 昌宇、水田 恒太郎、井上 将成、川崎 弘貴、八坂 敏一、楊 柳、熊本 栄一                      | 脊髄機能診断学                        | 成熟ラット脊髄膠様質ニューロンにおける興奮性および抑制性のシナプス伝達に対するJM1232(-)の作用.   | 33 | 1  | 36-43  |
| 岳 海源、藤田 亜美、井上 将成、水田 恒太郎、蔣 昌宇、朴 蓮花、八坂 敏一、上村 聡子、楊 柳、川崎 弘貴、熊本 栄一                      | 脊髄機能診断学                        | ラット脊髄膠様質ニューロンにおける自発性興奮性シナプス伝達のジングロンによるシナプス前性の促進作用.     | 33 | 1  | 44-53  |
| ○田中徹哉・富安弘嗣・吉澤明菜・大和武彦   | 第48回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010年7月7日 | アミドウレア部位を持つチアカリックス[4]アレーン誘導体の合成とアニオン認識                 |    |    |        |
| 江良正直、徳久博昭  | 電気情報通信学会誌                      | オキサジアゾール骨格を有する高移動度n-型有機半導体の分子設計                        |    |    |        |
| 山下佳雄、後藤昌昭  | 頭頸部癌                           | 「下顎骨区域切除後にチタンプレートにて下顎再建した高齢者の術後機能に関する検討」               | 37 |    | 542-7  |
| 檀上敦、山下佳雄、大坪めぐみ、下平大治、森啓輔、後藤昌昭   | 日口診誌                           | 3種の経腸栄養剤を用いた経鼻胃栄養中の消化器系合併症の比較と粘度調整ゲル化剤を用いた半固形化投与法の試み   | 24 | 2  | 170-5  |
| 岳 佳妮、松田 莉朋、ローシャン ジャーハン、下桐 猛、穴井 豊昭、和田 康彦  | 日本家禽学会誌                        | 烏骨鶏と白色レグホーンにおけるプロラクチン遺伝子領域周辺の連鎖不平衡ブロックについて             | 48 | J2 | J63-68 |
| 山下佳雄、森 啓輔、重松正仁、檀上敦、野口信宏、後藤昌昭   | 日本顎顔面インプラント学会誌                 | 「下顎骨再建に用いた移植骨へ埋入したインプラント周囲骨の経時的変化」                     | 10 |    | 63-68  |
| 内田雄基、重松正仁、檀上 敦、野口信宏、山下佳雄、後藤昌昭、倉岡晃夫   | 日本顎顔面インプラント学会誌                 | 「解剖体を用いた上顎骨と上顎洞の解剖学的研究—上顎骨の形態と上顎洞容積の計測—」               | 10 | 4  | 225-30 |
| 内田雄基、重松正仁、檀上 敦、野口信宏、山下佳雄、後藤昌昭  | 日本顎顔面インプラント学会誌                 | 「解剖体を用いた上顎洞形態に関する研究—上顎洞内外側壁のなす角度の計測」                   | 10 |    | 45-51  |
| 檀上 敦、野口信宏、山下佳雄、重松正仁、近藤成智、隅 康二、後藤昌昭   | 日本顎変形症学会誌                      | 「下顎枝矢状分割術における骨の分割と骨片固定に関連して生じた偶発症の検討」                  | 21 | 1  | 10-17  |
| 山下佳雄、黒田好美、後藤昌昭   | 日本口蓋裂学会雑誌                      | 「顎裂骨移植部へのデンタルインプラントの使用」                                | 36 | 1  | 26-32  |
| 山下佳雄、合島怜央奈、檀上 敦、後藤昌昭   | 日本口腔科学会雑誌                      | 「関節突起骨折に対して retromandibular approach を用いた観血的整復固定術の検討」  | 60 | 3  | 226-31 |
| 佐野直人、山下佳雄、秋山兼範、宮本比呂志、後藤昌昭  | 日本口腔科学会雑誌                      | 「16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた菌周病患者の唾液中細菌叢の網羅的検出」          | 60 | 3  | 219-25 |
| 森 啓輔、山下佳雄、檀上 敦、後藤昌昭  | 日本口腔腫瘍学会誌                      | 「舌癌の頸部再発が強く疑われた放線菌感染を伴う類表皮嚢胞の1例」                       | 23 |    | 155-60 |
| 檀上 敦、山下佳雄、大坪めぐみ、下平大治、森 啓輔、後藤昌昭   | 日本口腔診断学会雑誌                     | 「3種の経腸栄養剤を用いた経鼻胃栄養中の消化器系合併症の比較と粘度調整ゲル化剤を用いた半固形化投与法の試み」 | 24 | 2  | 170-5  |
| 平田みよ <sup>B</sup> 、元村沙織 <sup>M</sup> 、堀江健太 <sup>M</sup> 、大場孝宏、柘植圭介、吉村臣史、小金丸和義、北垣浩志 | 日本醸造学会誌、in press               | ミトコンドリア輸送阻害剤耐性酵母の低アルコール清酒実地醸造特性                        | 99 |    |        |
| 平田みよ、浦野義崇、稲葉繁樹、北谷和之、岡崎俊朗、北垣浩志*   | 日本醸造学会誌、in press (2011)        | 焼酎粕に含まれるスフィンゴ脂質の検出・半定量的評価とその由来の解析                      |    |    |        |

|  |                                 |                                     |    |   |          |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|----|---|----------|
| 甲斐敬太, 三好篤, 北原賢二, 神谷尚彦, 徳永藏, 能城浩和                     | 日本臨床外科学会雑誌. 2011;72: 1508-1515. | 非硬変肝に多中心性に発生した NASH 由来肝細胞癌の 2 例     |    |   |          |
| 田淵正延, 甲斐敬太   | 乳癌の臨床. 2011; 26: 377-382        | 乳腺原発扁平上皮癌 6 例の臨床病理学的検討              |    |   |          |
| 大渡啓介   | 分析化学                            | 分離分析試薬としてのカリックスアレーン                 | 61 | 3 | 157-67   |
| 花本猛士   | 有機合成化学協会誌                       | フルオロアセチレンの化学と合成化学的展開                | 69 | 9 | 994-1005 |
| 松延亜紀, 藤本一眞, 戸田修二                                     | 臨床検査                            | 脂肪組織を基盤とした生体恒常性・メタボリックシンドローム病態解析モデル | 55 | 6 | 581-6    |
| 戸田修二, 松延亜紀, 内橋和芳, 山本美保子, 薬師寺舞, 山崎文朗, 小池英介, 青木茂久, 杉原甫 | 臨床検査                            | 脂肪組織と脂肪細胞の基礎形態学                     | 55 | 6 | 533-8    |

| 総説  |  |  |     |   |         |
|---|--|--|-----|---|---------|
| 著者名   | 雑誌名                                    | 題目   | 巻   | 号 | 頁       |
| Arima K. and Liu Y.-J.                              | Inflammation and Regeneration          | Thymic stromal lymphopoietin programs the “allergy code” in dendritic cells  | 32  | 1 | 23-31   |
| Fujita T and Kumamoto E                             | Curr. Top. Pharmacol.                  | Role of proteinase-activated receptors in modulating nociceptive transmission to the spinal dorsal horn from the periphery.          | 15  | 1 | 27-38   |
| Ito, T.<br>Liu, Y.-J.<br>Arima, K.                  | Allergol Int                           | Cellular and molecular mechanisms of TSLP function in human allergic disorders -- TSLP programs the “Th2 code” in dendritic cells -- | 61  | 1 | 35-43   |
| Kawakami R, Satomura T, Sakuraba H, Ohshima T       | Applied Microbiology and Biotechnology | L-Proline dehydrogenases in hyperthermophilic archaea: distribution, function, structure and application                             | 93  |   | 83-93   |
| Kito Y  | Journal of Smooth Muscle Research      | The functional role of intramuscular interstitial cells of Cajal in the stomach.   | 47  | 2 | 47-53   |
| Kumamoto E, Mizuta K, Fujita T                      | Pharmaceuticals                        | Opioid actions in primary-afferent fibers – Involvement in analgesia and anesthesia.   | 4   | 2 | 343-365 |
| KUMAMOTO,E, MIZUTA,K, FUJITA,T, KOSUGI,T, KATSUKI,R | Recent Res. Devel. Pharmacol.          | Neurotransmitter receptor agonists having the inhibitory actions of nerve conduction-structure-function relationship.                | 2   |   | 1-26    |
| 木村晋也  | 日本医師会雑誌                                | BCR-ABL 遺伝子変異と薬剤耐性   | 140 | 7 | 1464    |
| 木村晋也  | 血液内科                                   | イマチニブは止められるのか?   | 63  | 3 | 352-59  |
| 木村晋也  | 細胞                                     | 分子標的薬の基本   | 43  | 4 | 124-6   |
| 木村晋也  | Medical Practice                       | グリベック®は止められるの?   | 28  | 8 | 1476    |
| 木村晋也  | がんと化学療法                                | 慢性骨髄性白血病に対する新規 BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬の開発と今後の展望  | 38  | 5 | 754-8   |
| 木村晋也  | Biotherapy                             | Bafetinib  | 25  | 1 | 589-96  |

|   |                         |  |     |      |         |
|---|-------------------------|--|-----|------|---------|
| 木村晋也  | 血液内科                    | パフェチニブ(INNO-406)の作用機構と臨床応用                         | 62  | 1    | 30-36   |
| 多田芳史  | リウマチ科                   | MRL/lpr マウスにはループス様病変発症には IRF5 が必須である               | 46  |      | 552-7   |
| 増岡美穂、出原賢治                                     | アレルギー、免疫                | アトピー性皮膚炎「アトピー性皮膚炎のモデルマウス」                          | 18  |      | 32-39   |
| 一戸辰夫、木村晋也                                     | 最新医学                    | イマチニブ耐性 BCR-ABL                                    | 66  | 11   | 2587-93 |
| 久保田寧、木村晋也                                     | 最新医学                    | がん幹細胞に対する破骨細胞標的薬剤の役割 -ビスフォスフォネート製剤、RANKL 阻害薬-      | 66  | 3    | 381-6   |
| 熊本 栄一、藤田 亜美                                   | Anesthesia 21 Century   | ベンゾジアゼピン系薬物と GABAA 受容体チャネル                         | 13  | 1-39 | 11-19   |
| 熊本 栄一、藤田 亜美                                   | Pain Res.               | 末梢から脊髄後角へ入力する痛み情報の制御 - シナプス伝達と神経伝導の修飾              | 26  | 4    | 197-214 |
| 戸田修二、松延亜紀、内橋和芳、山本美保子、薬師寺舞、山崎文朗、小池英介、青木茂久、杉原 甫 | 臨床検査                    | 脂肪組織と脂肪細胞の基礎形態学                                    | 55  | 6    | 533-538 |
| 出原賢治、有馬和彦、白石裕士、鈴木章一、太田昭一郎                     | 臨床免疫・アレルギー科             | ペリオスチンによる気管支喘息の病態形成機序                              | 57  | 1    | 104-10  |
| 松延亜紀、藤本一真、戸田修二                                | 臨床検査                    | 脂肪組織を基盤とした生体恒常性・メタボリックシンドローム病態解析モデル                | 55  | 6    | 581-586 |
| 菖蒲池健夫、宮本比呂志                                   | 内分泌・糖尿病・代謝内科            | 糖尿病による細菌感染の特徴                                      | 33  | 1    | 22-27   |
| 菖蒲池健夫、宮本比呂志                                   | 呼吸器内科                   | レジオネラーIV 型分泌機構—急性肺傷害                               | 19  | 1    | 22-29   |
| 尾山純一、工藤義弘、牧野直樹                                | 大分県温泉調査研究会報告            | 慢性心不全患者の血管内皮機能に対する温泉浴の効果について                       | 61  |      | 7-8     |
| 尾山純一、野出孝一                                     | 血圧                      | 睡眠時無呼吸と高血圧   | 18  | 11   | 1102-6  |
| 尾山純一、野出孝一                                     | 月刊糖尿病                   | インクレチン製剤の効果  | 3   | 5    | 89-98   |
| 尾山純一、野出孝一                                     | Cardiovascular Frontier | インクレチンと心血管病  | 2   | 2    | 122-8   |
| 平川奈緒美、上村裕平、笹栗智子、垣内好信                          | ペインクリニック                | 腹腔神経叢ブロック  | 32  | 1    | 59-66   |
| 明石真、野出孝一                                      | Cardiovascular Frontier | 動脈硬化と概日時計  | 2   | 4    | 235-43  |
| 明石真、野出孝一                                      | 医学のあゆみ                  | 生化学・分子生物学 ヒト体内時刻の新測定法                              | 239 | 11   | 1129-30 |
| 明石真、野出孝一                                      | Anti-aging Science      | 日内リズムとアンチエイジング(第1回) 日内リズムと時計遺伝子                    | 3   | 1    | 53-58   |
| 明石真、野出孝一                                      | Diabetes Frontier       | 体内時計と生活習慣病   | 6   | 22   | 597-606 |
| 野出孝一、琴岡憲彦                                     | 大和証券ヘルス財団研究業績集          | 高齢者における心不全在宅医療の推進に関する研究                            | 34  |      | 145-50  |
| 野瀬昭博、下田敏史                                     | 季刊バイオフィリア:速報版           | 塩害を受けた田畑の復興について                                    |     |      | 39-42   |
| 野田岩男、宮本比呂志、馬渡正明                               | バイオマテリアル                | 銀含有アパタイトコーティング                                     | 29  | 4    | 266-270 |
| 有馬和彦  | 臨床免疫・アレルギー科             | 樹状細胞の機能的可塑性  | 57  | 3    | 227-33  |
| 有馬和彦  | 生化学                     | アレルギー発症における thymic stromal lymphopoietin (TSLP)の作用 | 83  | 12   | 1109-13 |

| 資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文   |  |  |     |         |           |
|---|--|--|-----|---------|-----------|
| 著者名   | 雑誌名  | 題目   | 巻   | 号       | 頁から       |
| T. Shimomura and T. Takamuku  | Activity Report on Neutron Scattering Research                                   | Aggregation of Imidazolium-based Ionic Liquid, C12mimNO3, in Water and Benzene                               |     |         | #125<br>3 |
| T. Takamuku, Y. Koda, H. Haramaki, and T. Shimomura                                       | Activity Report on Neutron Scattering Research                                   | Studies on Phase Separation of Water-Miscible Organic Solvents-Water Mixtures by Addition of Several Solutes |     |         | #125<br>2 |
| 北垣浩志  | CMC 出版、発酵・醸造食品の最新技術と機能性 II   | ミトコンドリア輸送をターゲットとした低ピルビン酸清酒酵母の育種とその実用化  |     |         | 000       |
| 伊東陽一郎、久保田寧、板村英和、浦田千紗子、吉村麻里子、久富崇、福島伯泰、一戸辰夫、末岡榮三朗、木村晋也                                      | Dasatinib for CML/Ph+ALL 第73回日本血液学会学術集会  | 髄外腫瘍を形成し急性転化した CML 患者においてダサチニブ治療が奏功した一例  |     |         | 20-2<br>1 |
| D. Kodama, M. Kanakubo, M. Kokubo, S. Hashimoto, T. Makino, T. Umecky, A. Suzuki, M. Kato | Proceedings of 9th International Conference on Separation Science and Technology | Solubility of Carbon Dioxide in Glymes and Glyme-Li Salt Complex Solutions                                   |     |         |           |
| T. Makino, M. Kanakubo, T. Umecky, A. Suzuki  | Proceedings of 9th International Conference on Separation Science and Technology | High Pressure CO2 Absorption Properties of Ammonium Based Ionic Liquids Containing Oxygen Atoms              |     |         |           |
| M. Kanakubo, T. Umecky, T. Makino, A. Suzuki, M. Sakurai                                  | Proceedings of 9th International Conference on Separation Science and Technology | Separation of Extremely Dilute CO2 Using Ionic Liquids   |     |         |           |
| T. Umecky, T. Aida, M. Kanakubo, T. Makino, T. Aizawa, A. Suzuki                          | Proceedings of 9th International Conference on Separation Science and Technology | NMR Study on CO2-Saturated Alcohol Systems   |     |         |           |
| 横尾眞子、久保田寧   | Trends in Hematological Malignancies   | WORLD REPORT 52nd American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition                               | 3   | 1       | 44-4<br>5 |
| 北村整一・高垣欣也・沼野香世子・野瀬昭博  | アレルギーの臨床   | バラフ(アイスプラント: Mesembryanthemum crystallinum) 配合プレローションの保湿作用   | 32  | 42<br>7 | 79-8<br>2 |
| 北村整一・高垣欣也・野瀬昭博  | アレルギーの臨床   | バラフ(アイスプラント: Mesembryanthemum crystallinum) による保湿作用  | 31  | 41<br>7 | 81-8<br>4 |
| 大渡啓介  | ぶんせき   | 佐賀大学大学院工学系研究科分析化学系研究室を訪ねて  | 444 | 12      | 725-<br>7 |
| 川喜田英孝   | 化学工学   | 酵素反応を用いた in vitro での多糖の合成  | 75  |         | 253       |
| 野瀬昭博・下田敏史   | 季刊バイオフィリア (速報版)  | 塩害を受けた田畑の復興について  |     |         | 39-4<br>2 |

|                                 |                                |   |    |      |         |
|---------------------------------|--------------------------------|---|----|------|---------|
| 尾山純一、野出孝一                       | 月刊糖尿病                          | インクレチン製剤の効果   | 3  | 5    | 89-98   |
| 徳田 誠                            | 植物の生長調節                        | 植食性昆虫による植物の生理的改変  | 46 | 2    | 137-41  |
| 永尾晃治                            | 食と健康を支援する                      | 機能性脂質とメタボリックシンドローム  | 2  |      | 179-85  |
| 北垣浩志、古川壮一、井沢真吾                  | 生物工学会誌                         | 微生物の寄生・共生・オルガネラ研究から見える新たな発酵学の地平線  | 89 | 11   | 674-7   |
| 北垣浩志、古川壮一、渡邊泰祐                  | 生物工学会誌                         | 微生物の寄生・共生に着目した新しい物質生産技術の開発に向けて—特集に寄せて—                                      | 89 | 8    | 460     |
| 北垣浩志                            | 生物工学会誌                         | ミトコンドリア輸送に着目したピルビン酸・ $\alpha$ -アセト乳酸低減清酒酵母の育種とその実用化・技術移転                    | 89 | 8    | 461-4   |
| 永尾晃治                            | 生物試料分析                         | メタボリックシンドロームにおける機能性脂質の活用  | 35 | 2    | 113-8   |
| 大渡啓介                            | 日本イオン交換学会誌                     | 九州大学大学院工学研究院応用化学部門分子教室バイオプロセス化学講座(後藤・神谷研究室)を訪ねて                             | 23 | 1    | 2-3     |
| 野瀬昭博・下田敏史                       | 農耕と園藝                          | アイスプラントを作りこなすためのポイント  |    | 1007 | 19-23   |
| 真木 一、西寄照和、小林典男                  | 平成 22 年度 東北大学金属材料研究所研究部共同研究報告書 | 擬一次元 CDW 物質 K0.3MoO3 の低温 STM/STS 観察   |    |      |         |
| 宇木望、永沢善三、草場耕二、福富由美子、末岡榮三朗、宮本比呂志 | 臨床と微生物                         | 質量分析装置 MALDI バイオタイパーを使用した各種 ATCC 菌株による同定精度の評価および血液培養ボトルからの直接迅速同定法の有用性に関する検討 | 39 | 2    | 185-195 |

| 招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む) |  |   |
|-----------------------------|--|---|
| 発表者                         | 会議等名   | 題目  |
| ○Takehiko Yamato            | The Chinese University of Hong Kong, Department of Chemistry, Research Seminar Series(香港)、2012 年 2 日 | Selective Synthesis and Photo Physical Properties of Pyrene Cored New Class of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons |
| ○Takehiko Yamato            | Special Seminar at University of East Anglia (英国)、2011 年 12 月 9 日                                    | Synthesis and characterization of novel ditopic receptors based on Calix[n]arenes                               |
| ○Takehiko Yamato            | 6th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 大邱大学(韓国)2011 年 10 月 31 日-11 月 2 日    | Synthesis and Characterization of Novel Ditopic Receptors Based on Calix[n]arenes                               |
| ○Takehiko Yamato            | Special Seminar at Chinese University of Hong Kong (香港)、2011 年 9 月 9 日                               | Synthesis of Novel Ditopic Receptors Based on Calixarenes   |
| ○Takehiko Yamato            | Special Seminar at Guizhou University (貴陽、中国)、2011 年 7 月 13 日  | Synthesis and Characterization of Novel Ditopic Receptors Based on Calix[n]arenes                               |
| ○Takehiko Yamato            | Special Seminar at Peking University, 北京大学、2011 年 8 月 12 日   | Selective Synthesis and Photo Physical Properties of Pyrene Cored New Class of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons |
| ○Takehiko Yamato            | Special Seminar at University of Southern California (ロサンゼルス、USA)、2011 年 7 月 30 日                    | Selective Synthesis and Photo Physical Properties of Pyrene Cored New Class of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons |

|  |   |  |
|--|---|--|
| ○Takehiko Yamato   | Special Seminar at Daegu University、大邱市(韓国)、2011年3月22日-26日  | Synthesis of Novel Ditopic Receptors based on Calix[n]arenes   |
| ○Takehiko Yamato   | Special Lecture at National Chiao Tung University、新竹、台湾、2011年1月6日   | Synthesis and photophysical properties of pyrene-based light-emitting monomers: highly blue fluorescent multiply-conjugated-shaped architectures |
| ○Takehiko Yamato   | Special Seminar at National University of Singapore, Singapore, 2011年3月11日  | Synthesis and photophysical properties of pyrene-based light-emitting monomers: highly blue fluorescent multiply-conjugated-shaped architectures |
| K.Ohto   | The 6th Daegu University-Saga University Joint Seminars   | Specific metal coextraction with carboxylic acid type of calix[4]arene caused by sodium addition   |
| K.Ohto   | Invited lecture at Institute of Chemical Technology, Prague   | Novel resins containing calix[4]arene tetraacetic acid derivatives for lead(II) removal  |
| Masashi Unno   |   | Exploring the active site structure of photoactive yellow protein by Raman optical activity  |
| Masayuki Koikawa, Masahiro Muto, Kosuke Morinaga, Yasunori Yamada, Tadashi Tokii | Research Center for Coordination Molecule-based Devices<br>'Searching for New Molecular-Magnetic Compounds'<br>2011 Symposium on Coordination Compounds as Molecular Magnetic Materials | Syntheses and Characterization of Trinuclear Macrocyclic Complexes and Self-Assembling of Molecular Capsule                                      |
| T. Takamuku and T. Shimomura   | Globalization Program of Graduate School of Science and Engineering, Saga University  | Cluster Formation of Imidazolium-based Ionic Liquids in Methanol and Benzene Solutions   |
| Takehiko Yamato  | 11 th International Conference on Calixarenes (Calix 11)<br>Institute of Chemical Research of Catalonia, Tarragona (Spain)<br>2011年6月25-30日   | Synthesis and Characterization of Novel Ditopic Receptors Based on Calix[n]arenes  |
| Tokuda, M.   |   | Morphological and physiological manipulation of host plants by gall-inducing insects   |
| Toyoaki Anai   |   | Soybean mutant resource for reverse genetic study.   |
| 永尾晃治   | 佐賀健康科学研究シンポジウム  | 機能性脂質とメタボリックシンドローム   |
| 永尾晃治   | 「徐福フロンティアラボ」ミニシンポジウム in 伊万里   | 機能性食品とメタボリックシンドローム   |
| 永尾晃治   | 第65回日本栄養・食糧学会大会シンポジウム   | 食事脂質による肥満誘発性病態の予防・改善   |
| 穴井豊昭   | 九州大学 有体物管理センターシンポジウム  | NBRP ミヤコグサ・ダイズにおけるダイズリソースの概要について   |
| 穴井豊昭   | 第29回日本植物細胞分子生物学会(福岡)大会・シンポジウム講演要旨集  | TILLING 法に利用できるダイズ突然変異体リソース  |
| 原 英夫、雪竹基弘  | 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)<br>「重症度別治療指針作成に資すHAMの新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発」平成23年度研究発表会   | HAM患者髄液のアストロサイトへの影響; サイトカイン分析  |
| 光富 勝、平野勝紹、関 清彦、上田光宏  | 第25回キチン・キトサンシンポジウム特別セッション(奈良県新公会堂)  | 部分N-アセチルキトオリゴ糖の酵素的調製と応用  |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 甲斐敬太、井手貴雄、徳永藏、三好篤、北原賢二、宮崎耕治、能城浩和        | 第22回日本消化器癌発生学会総会抄録集、Page66                               | 肝胆膵癌手術例における病理と臨床の連携と工夫                                    |
| 高椋利幸                                    | 第3回中性子小角散乱解析法研究会、大阪                                      | SANS法でみる分子性液体中におけるイオン液体の会合体形成                             |
| 高椋利幸                                    | 電気化学会第79回大会、浜松   | イミダゾリウム系イオン液体と分子性液体の混合に関する分子論的研究                          |
| 寺東宏明                                    | 第48回アイソトープ・放射線研究発表会                                      | 重粒子線の生物研究への応用II 重粒子線で生じる遺伝子損傷の正体は？                        |
| 太田昭一郎、東義則、柴田留美子、中尾佳史、小野純也、野口保彦、岩坂剛、出原賢治 | 第51回日本臨床化学会年次学術集会(8/26-28/2011) 臨床化学 40(補冊1): 148 (2011) | アレルギー疾患の新規バイオマーカーとしてのSCCA—アレルギー疾患における個の医療の実現に向けて—(シンポジウム) |
| 中島謙一                                    | 繊維学会西部支部講演会  | 外部刺激による高分子ミセルの可逆的コア-コロナ反転                                 |
| 北垣浩志                                    | 2012 日本農芸化学会シンポジウム 世話人・招待講演 2012.3.25                    | 発酵呼吸転換における酵母ミトコンドリアの新機能                                   |
| 北垣浩志                                    | 佐賀機能性・健康食品等研究シーズ交流会                                      | 焼酎粕からのスフィンゴ脂質の抽出及び発酵による機能性食品の製造について                       |
| 北垣浩志                                    | 2012.2.29 パイオインダストリー協会・発酵と代謝研究会                          | ミトコンドリアをターゲットとした清酒酵母の育種とその実用化                             |
| 北垣浩志                                    | さが機能性・健康食品開発拠点「徐福フロンティアラボ」ミニシンポジウム in 小城 基調講演            | 発酵技術を活用した地域との連携について 2011.9.29                             |
| 北垣浩志                                    | イノベーション・ジャパン 2011(招待講演)2011.9.21-22                      | ミトコンドリア輸送をターゲットとした低ピルビン酸酵母の育種技術                           |
| 北垣浩志                                    | 第15回酸素ダイナミクス研究会(招待講演)2011.9.15                           | 嫌気呼吸・酸素呼吸間の移行にミトコンドリアが果たす役割について                           |
| 北垣浩志                                    | 日本醸友会沖縄県支部講演会(招待講演)2011.6.27                             | 醸造酵母育種の最新潮流   |
| 北垣浩志                                    | 第100回記念 佐賀ふうどフォーラム「東アジアの食と文化」(招待講演)2011.6.6              | 日本国の伝統酒・日本酒の歴史と技術、研究                                      |
| 北垣浩志                                    | SAGAテクノ2011初夏～産学官連携技術交流会～(招待講演)2011.6.6                  | 焼酎粕の機能性   |
| 北垣浩志                                    | 九州地域バイオベンチャーフォーラム(招待講演)                                  | 新たなスパークリング清酒の製造法の開発                                       |
| 北垣浩志                                    |  | ミトコンドリア輸送をターゲットとしたピルビン酸低減酵母育種                             |
| 北村二雄                                    | 第14回ヨウ素学会シンポジウム  | 実用的なヨウ素反応剤・反応の開発を目指して                                     |
| 有馬和彦、出原賢治                               | 第61回日本アレルギー学会秋季学術大会、アレルギー誌                               | 細胞外マトリックスを介したアトピー性皮膚炎の病態形成(シンポジスト)                        |
| 有馬和彦、出原賢治                               | 第61回日本アレルギー学会秋季学術大会                                      | 細胞外マトリックスを介したアトピー性皮膚炎の病態形成(シンポジスト)                        |

| 一般講演                                       |      |   |
|--|------|---|
| 発表者  | 発表学会 | 発表題目  |
| Islam, M.s., Ueno D., Someya T., Inoue K.  |      | Stabilization of heavy metals in soil by newly developed apatite compounds made from oyster shell   |
| Josiah Musembi Mutuku and Akihiro Nose     |      | Changes in the contents of metabolites and enzyme activities in rice plants responding to Rhizoctonia solani (Kuhn) infection: activation of glycolysis and connection to phenylpropanoid pathway |
| Junjiro Sato, Bo Zhang, Toshifumi Mawatari |      | Direct Observation of interface between the flying head and disk  |

|   |  |   |
|---|--|---|
| M. Kanakubo, T. Umecky, T. Makino, A. Suzuki, M. Sakurai  |  | Development of CO2 Removal Technology under Extremely Dilute condition Using Ionic Liquids                  |
| Md. Shahajahan Kutubi, Takuya Hashimoto, and Tsugio Kitamura  |  | Direct Synthesis of Coumarins by Iron(III)-Catalyzed Reaction of Propiolic Acids and Phenols                |
| Md. Shahajahan Kutubi, 北村二雄   |  | 鉄触媒存在下フェノールとプロピオール酸の反応によるクマリンの合成  |
| Takahito SHingae, Kensuke Kuboto, Masato Kumauchi, FUmio Tokunaga, Masashi Unno   |  | Active Site Structures of photoactive yellow protein study by near-infrared Raman Optical Activity          |
| Taniguchi K, Arima K, Masuoka M, Shiraiishi H, Ohta S, Ontsuka K, Suzuki S, Conway SJ, Izuhara K                                      |  | Periostin-IL-6 axis contributes to the keratinocyte proliferation and differentiation in atopic dermatitis. |
| Tsugio Kitamura, Satoshi Kuriki, Mohammad Hasan Morshed, Yuji Hori  |  | Practical Fluorination of 1,3-Dicarbonyl Compounds Using Aqueous HF in the Presence of Iodosylbenzene       |
| Xin-Long Ni, Shi Wang and OTakehiko Yamato  |  | Ratiometric fluorescent receptors based on pyrenyl-linked triazole modified homooxacalix[3]arenes           |
| 沖谷 麻里江, 平 順一, 東元 祐一郎, 長田 聰史, 兒玉 浩明  |  | EcPDF 阻害を目指した N 末端修飾バクテリア由来ペプチド   |
| 関 清彦, 岩崎純也, 田中温子, 上田敏久, 徳安 健, 光富 勝  |  | 大腸菌を用いた抗真菌ペプチド Ac-AMP の菌体外生産  |
| 鬼頭佳彦, 寺本憲功  |  | ラット結腸輪走筋の収縮反応に対する半夏瀉心湯および桂枝加芍薬湯による抑制効果の比較解析   |
| 鬼頭佳彦, 寺本憲功  |  | プリン作動性神経によるウサギ小腸自発活動の制御機構   |
| 宮崎利文, 久木田明子, 高橋一郎, 久木田敏夫  |  | 磁場を用いた骨吸収制御法の開発   |
| 江良正直, 宮田桂輔 <sup>B</sup> , 坂口幸一, 安倍勇輝 <sup>M</sup> , 長井隆浩 <sup>M</sup> , 渡辺梢 <sup>M</sup> , 山ノ井公平 <sup>M</sup> , 有川安信, 猿倉信彦, 中居光男, 疇地宏 |  | フルオレン誘導体の発光特性とシンチレータ材料への応用の可能性  |
| 江良正直, 宮田桂輔, 坂口幸一, 安倍勇輝, 長井隆浩, 渡辺梢, 山ノ井公平, 有川安信, 猿倉信彦, 中居光男, 疇地宏   |  | フルオレン誘導体の発光特性とシンチレータ材料への応用の可能性  |
| 江良正直, 坂口幸一, 安田剛   |  | Regioregular チオフェンオリゴマーを有するポリフルオレン誘導体の分子構造と電界効果移動度  |
| 高橋良, 久木田敏夫, 李銀姫, 鮎川保則, 古谷野潔, 久木田敏夫  |  | 膜ナノチューブによる前破骨細胞融合制御   |
| 高橋良, 久木田敏夫, 李銀姫, 鮎川保則, 古谷野潔, 久木田敏夫  |  | 破骨前駆細胞間の融合に於ける「膜ナノチューブ」の関与と制御: 破骨細胞分化制御の新局面   |
| 高野登志雄, 李銀姫, 久木田明子, 山座孝義, 鮎川保則, 古谷野潔, 久木田敏夫  |  | 間葉系幹細胞による骨破壊制御: アジュバント関節炎ラットを用いた解析  |
| 高野登志雄, 李銀姫, 久木田明子, 山座孝義, 高橋良, 鮎川保則, 古谷野潔, 久木田敏夫   |  | 間葉系間細胞による炎症性骨破壊制御   |
| 市木佑佳, 瀧川一平, 中山浩次, 久木田敏夫, 久木田明子  |  | Porphyromonas gingivalis による破骨細胞分化促進作用  |
| 松原麗, 久木田敏夫, 市木佑佳, 瀧川一平, 屈鵬飛, 野中和則, 久木田明子  |  | TNFα と TGFβ は低濃度の M-CSF の存在下で Kat1+c-fms+, Kat1+CD11b+ の単核破骨細胞前駆細胞を誘導する                                     |
| 村島敬昌, 山隈龍馬, 大渡 啓介, 川喜田英孝  |  | リン酸型ホウキ分子の合成、及び希土類金属の抽出・分離  |
| 大場孝宏, 末永光, 中山俊一, 満生慎二, 北垣浩志   |  | 清酒もろみから分離したリンゴ酸高生産清酒酵母の特性   |
| 大場孝宏, 末永光, 中山俊一, 満生慎二, 北垣浩志   |  | 清酒もろみから分離したリンゴ酸高生産清酒酵母の特性   |

|  |   |   |
|--|---|---|
| 大場孝宏、末永光、中山俊一、満生慎二、北垣浩志  |   | 清酒もろみから分離したリンゴ酸高生産清酒酵母の特性   |
| 渡邊敏之、城戸瑞穂、立花克郎、久木田明子、久木田敏夫   |   | 低出力パルス超音波は破骨細胞系細胞の増殖を促進する   |
| 徳永直也 <sup>M</sup> 、福崎久詩 <sup>B</sup> 、北垣浩志   |   | 焼酎酵母のミトコンドリアの可視化とその醸造過程における形態の解明  |
| 徳永直也 <sup>M</sup> 、福崎久詩 <sup>B</sup> 、北垣浩志   |   | 焼酎酵母のミトコンドリアの可視化とその醸造過程における形態の解明  |
| 徳永直也 <sup>M</sup> 、福崎久詩 <sup>B</sup> 、北垣浩志   |   | 焼酎酵母のミトコンドリアの可視化とその醸造過程における形態の解明  |
| 平田みよ <sup>M</sup> 、浦野義崇 <sup>B</sup> 、北谷和之、岡崎俊朗、オベイド、ハヌン、北垣浩志  |   | 九州の焼酎かすから検出したスフィンゴ脂質の解析   |
| 平田みよ <sup>M</sup> 、浦野義崇 <sup>B</sup> 、北谷和之、岡崎俊朗、オベイド、ハヌン、北垣浩志  |   | 九州の焼酎かすから検出したスフィンゴ脂質の解析   |
| 平田みよ <sup>M</sup> 、浦野義崇 <sup>B</sup> 、北谷和之、岡崎俊朗、オベイド、ハヌン、北垣浩志  |   | 九州の焼酎かすから検出したスフィンゴ脂質の解析   |
| 明石道昭、増田正憲、甲斐敬太、木戸伸一、高瀬ゆかり、徳永藏  |   | 緊急手術を行った血管ペーチェット病による胸部大動脈瘤の1症例  |
| 李銀姫、久木田明子、屈鵬飛、高野登志雄、實松敬介、二宮祐三、久木田敏夫  |   | Nordihydroguaiaretic Acid は破骨細胞分化とラットアジュバント関節炎における骨破壊を抑制する  |
| Yoshida H, Hirase T, Hara H, Miyazaki Y, Ide-Iwata N, Nishimoto-Hazuku A, Fujimoto H, Node K.  | In 9th Joint Meeting of ICS-ISICR   | Interleukin 27 ameliorates atherosclerosis by inhibiting bone marrow-derived macrophage activation in arterial walls in mice.   |
| Yoshida H, Nakaya M, Mi-Ichi F, Iizasa E-I, Hara H   | IUMS 2011 Congress  | Activation of Innate Immunity thorough a New Signaling Pathway and Suppression of Immune Responses via Induction of IL-10 Production during Leishmania major Infection. |
| 豊増一彦、龍田典子、井上興一、上野大介、染谷孝  | 日本土壌肥料学会九州支部会、福岡、4月、2011年。  | 水耕液には原生動物が存在し外来菌を捕食排除する   |
| Hisatomi T, Sueoka-Aragane N, Sato A, Ide M, Okamoto K, Kimura S, Sueoka E   | 10th Japan-Korea Cancer and Aging Research Joint Symposium  | Dual targeting therapy on topoisomerase II $\alpha$ and DNA-dependent protein kinase is a promising strategy for adult T-cell leukemia-lymphoma                         |
| Makoto Hayashi, Akio Mantani, Hidenori Sumiyoshi, Satoshi Nishiyama, Soh Fujiwaki, Shoichiro Ohta, Yoshikazu Masuda, Youhei Tomita, Naofumi Tarumoto, and Shigeto Yamawaki | 11th Annual Meeting of the International College of Geriatric Psychoneuropharmacology (Irvine, 11/2-5/2011) | Yokukansan treatment of chronic renal failure patients receiving hemodialysis, with behavioral and psychological symptoms of dementia: An open-label study              |
| Hara H, Yamasaki M, Osamu T, Yoshida H   | 13th International TNF Conference   | Critical role of CARD9-signaling in experimental inflammatory bowel disease in mice.  |
| Ichigi Y., Takigawa I. Kukita T., Miyamoto H., Kukita A.   | 13th International Union of Microbiological Sciences Congress   | <i>P. gingivalis</i> infection promotes osteoclastogenesis from RANKL-stimulated macrophages  |
| Katagiri N, Shobuie T, Miyamoto H  | 13th International Union of Microbiological Sciences Congress   | Human NAIP restricts <i>Legionella pneumophila</i> replication accompanied by host cell death   |
| Yuka Ichigi, Ipei Takigawa, Toshio Kukita, Hiroshi Miyamoto, Akiko Kukita  | 13th International Union of Microbiological Sciences 2011 Congress  | <i>P. gingivalis</i> infection promotes osteoclastogenesis from RANKL-stimulated macrophages  |
| K.Khunathai, K.Ohto, H.Kawakita, K.Inoue, M.Kurata, K.Atsumi   | 14th Asian Chemical Congress (14ACC)  | Metal Ion Adsorption Behaviors of Carbonized Microalgae Residues Prepared from a Byproduct of Biofuel Extraction Process  |
| ○Takehiko Yamato, Arjun Paudel, and Jian-Yong Hu   | 14th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA 14 University of Oregon (USA) 2011年7月24-27日  | Pyrene-Cored New Double Helicenes: Synthesis, Crystal Structures and Photophysical Properties   |

|  |  |   |
|--|--|---|
| Nakamura T, Sueoka-Aragane N, Iwanaga K, Sato A, Komiya K, Abe T, Ureshino N, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S. | 14th world conference on lung cancer   | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA  |
| T. Takamuku, T. Shimomura, K. Sadakane, S. Inoue, M. Koga, and H. Seto                                       | 1st Asia-Oceania Conference on Neutron Scattering, Tsukuba, Japan  | Aggregation of Imidazolium-based Ionic Liquids in Water, Benzene and its Derivatives  |
| Ozaki N, Suzuki S, Hara H, Yoshida H   | 1st Bio-Rheumatology International Congress Tokyo and 8th GARN Meeting Tokyo   | Syk is involved in pathogenesis of anti-collagen antibody-induced arthritis (CAIA) by activation of macrophages via Fc $\gamma$ receptor. |
| K.Ohto, H.Sadamatsu, S.Kuwata, T.Yoneyama, H.Ishibashi, H.Kawakita   | 1st International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE – THEORY AND PRACTICE 2011 | Specific Metal Extraction with Calix[4]arene Carboxylic Acids Caused by Sodium Addition   |
| K.Ohto, R.Yamaguma, H.Kawakita   | 1st International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE – THEORY AND PRACTICE 2011 | Preparation of tripodal pyridyl compounds for precious metal extraction   |
| Nakamura T, Sueoka-Aragane N, Iwanaga K, Sato A, Komiya K, Abe T, Ureshino N, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S. | 2010 ASCO Annual Meeting   | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA  |
| ○富安 弘嗣、Xin-long Ni、大和 武彦   | 2010 年日本化学会西日本大会<br>熊本大学、2010 年 11 月 6 日-7 日   | ジチエノチオフェンを基体とする新規拡張 $\pi$ -共役発光体の合成と光物性   |
| Nakamura T, Sueoka-Aragane N, Iwanaga K, Sato A, Komiya K, Abe T, Ureshino N, Hayashi S, Sueoka E, Kimura S. | 2011 American Society of Clinical Oncology   | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA  |
| Uchida M, Shiraishi H, Okamoto M, Hoshino T, Sagara H, Aizawa H, Hayashi S, Izuhara K                        | 2011 American Thoracic Society International Conference.   | Periostin is a critical mediator for acute lung injury induced by chemotherapeutic agents.  |
| イスラム・ソフクル、上野大介、染谷 孝、井上興一   | 2011 年度日本土壌肥料学会九州支部春季例会  | 重金属固定化のための新規アパタイト化合物の開発   |
| 豊増一彦、龍田典子、上野大介、井上興一、染谷孝  | 2011 年度日本土壌肥料学会九州支部春季例会、2011 年 4 月、福岡  | 水耕液には原生動物が存在し外来菌を捕食排除する   |
| 久保田玲奈、高浜祥紀、麻生茂幸、今泉宏、染谷孝、井上興一、上野大介  | 2011 年度日本土壌肥料学会九州支部春季例会、2011 年 4 月、福岡。   | 食品廃棄物を用いた高品質家禽用発酵飼料における香気成分の解析  |
| 溝上耕子、山口美穂、大窪かおり、上野大介、染谷 孝、井上興一   | 2011 年度日本土壌肥料学会九州支部春季例会、2011 年 4 月、福岡。   | 数種の希少元素に対する葉菜類の吸収・移行および生育応答   |
| Hirokazu Takakura, Naoko Ogata, Takayuki Narita, Yushi Oishi   | 2011 Pusan-Gyeongnam/Kyushu-Seibu Joint Symposium on High Polymers (15th) and Fibers (13th)                                  | A Study of Self-Oscillation of Poly-(L-lysine-alt-terephthalic acid) Microcapsule   |

|  |   |  |
|--|---|--|
| Hiroshige Seto, Hajime Ikigai, Takayuki Narita, Yushi Oishi              | 2011Pusan-Gyeongnam/Kyushu-SeibuJoint Symposium on High Polymers (15th) and Fibers (13th) | Action of Vibrio cholerae Hemolysin on Lipid Monolayers on Phosphate Buffer Solution                         |
| Takayuki Narita, Hirokazu Takakura, Naoko Ogata, Yushi Oishi             | 2011The 12th Pacific Polymer Conference   | Volume Change Behavior of Poly(Lysine-alt-terephthalic acid)Microcapsules at Different pH                    |
| 今林翔大、大渡啓介、川喜田英孝  | 2011年 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会(第30回溶媒抽出討論会)   | リン酸型ホウキ分子による希土類金属の抽出・分離  |
| 山隈龍馬、大渡啓介、川喜田英孝  | 2011年 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会(第30回溶媒抽出討論会)   | 複素環型三脚状ホウキ分子を用いた貴金属の選択的抽出  |
| 上田祐生、山隈龍馬、大渡啓介、川喜田英孝   | 2011年 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会(第30回溶媒抽出討論会)   | アミド型三脚状ホウキ分子を用いた貴金属の選択的抽出  |
| 大渡啓介、定松浩俊、川喜田英孝  | 2011年 日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会(第30回溶媒抽出討論会)   | アルキル-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルカリ金属の抽出分離   |
| 沖谷 麻里江、平 順一、東元 祐一郎、長田 聰史、兒玉 浩明   | 2011年日本化学会西日本大会   | E <sub>c</sub> PDF阻害を目指したN末端修飾バクテリア由来ペプチド  |
| 古賀脩一郎、北島健貴、山口遼、長田聰史、藤田一郎、浜崎雄平、兒玉浩明                                       | 2011年日本化学会西日本大会   | ホルミルペプチド二量体の架橋構造の活性への影響  |
| 高畠 亮、長田 聰史、兒玉 浩明   | 2011年日本化学会西日本大会   | FPRリガンドの作用様式におけるMet 残基側鎖ミック幾何異性体の構造的優先度  |
| 山下 亜裕美、長田 聰史、兒玉 浩明   | 2011年日本化学会西日本大会   | チオール系酵素阻害剤をS-S架橋させた代謝拮抗薬の細胞増殖抑制相乗効果  |
| 小柳侑也、阿南裕也、菅虎雄、長田聰史、兒玉浩明  | 2011年日本化学会西日本大会   | 環状ヘキサ及びオクタペプチドの合成とイオンチャネル活性  |
| 北島健貴、山口遼、長田聰史、藤田一郎、浜崎雄平、兒玉浩明   | 2011年日本化学会西日本大会   | ホルミルペプチドアンタゴニストの構造活性相関   |
| 本田喬士、島田優介、時井 直、鯉川雅之、山田泰教   | 2011年日本化学会西日本大会   | 硫黄架橋 Ni(II)-Pt(II)二核錯体から誘導される多核錯体の構造と性質  |
| 木宮 隆行、川野 貴史、長田 聰史、兒玉 浩明  | 2011年日本化学会西日本大会   | ジフルオロメチレン基導入試薬の改良合成ならびにフッ素化アミノ酸合成への適用  |
| ○岩永 文隆・Xing Feng・大和 武彦   | 2011年日本化学会西日本大会 徳島大学、2011年11月12日-13日  | ピレンを基体とする拡張π共役系巨大分子の合成と発光特性  |
| 吉田 健、時井 直、鯉川雅之、山田泰教  | 2011年日本化学会西日本大会、徳島  | 塩素原子を導入した Bis(4-aminophenyl)methane から誘導される N2O2 型配位子を含む亜鉛(II)錯体の合成と分光学的性質                                   |
| 山下令一郎、篠崎信也、時井 直、鯉川雅之、山田泰教  | 2011年日本化学会西日本大会、徳島  | Bis(aminophenyl)sulfone から誘導される N2O2 型配位子を含む亜鉛(II)錯体の合成と分光学的性質   |
| 篠崎信也、時井 直、鯉川雅之、山田泰教  | 2011年日本化学会西日本大会、徳島  | 9,9-Bis(4-aminophenyl)fluorene から誘導される N2O2 型配位子を含む亜鉛(II)錯体の合成と性質  |
| Hideo Hara, Yusuke Nanri, Emi Tabata, Saori Mitsutake and Takeshi Tabira | 20th World Congress of Neurology  | Identification of Astrocyte-derived Immune Suppressor Factor that induces apoptosis of autoreactive T cells. |

|   |  |  |
|---|--|--|
| Shoichiro Ohta, Rumiko Shibata, Yoshifumi Nakao, Yoshinori Azuma, Kazuto Taniguchi, Kazuhiko Arima, Shoichi Suzuki, Hiroshi Shiraiishi, Tsuyoshi Iwasaka, and Kenji Izuhara   | 21st International Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine (Berlin, 5/15–19/2011)<br>Clinical Chemistry and Laboratory Medicine 49 (Special Supplement): S201 | Development of combined measurement of squamous cell carcinoma antigens 1 and 2 as a potential companion diagnostic for anti-IL-4/IL-13 therapies in allergic diseases   |
| T. Suga, S. Osada, H. Kodama  | 22nd American Peptide Symposium  | Significance of Intermolecular Hydrogen-Bonding to Form Ion Channel by the Cyclic Tetrapeptide cyclo(D-Ala-Dap) <sub>2</sub>   |
| ○Feng Xing, Yi Ryu and Takehiko Yamato  | 22nd Symposium on Physical Organic Chemistry, (つくば市)、2011年9月26日–30日  | Synthesis and Photophysical Properties of Pyrene-Based Light-Emitting Monomers   |
| Kelly Paulson, Andrew Tegeder, Cristoph Willmes, Jayasri Iyer, David Schrama, Shinichi Koba, Renee Thibodeau, Olga Afanasiev, Kotaro Nagase, Janell Schelter, James Hardwick, David Koelle, Margaret Madeleine, Mary L. Disis, Michele Cleary, Shailender Bhatia, Hideki Nakajima, Shigetoshi Sano, Juergen Becker, Paul Nghiem | 26th Annual Meeting of the Society for Immunotherapy of cancer   | REVERSAL OF LOCAL IMMUNE EVASION MECHANISMS AND REGRESSION OF HUMAN MERKEL CELL CARCINOMA BY INTRALESIONAL INJECTION OF INTERFERON-BETA  |
| Noda I, Ando T, Miyamoto H, Tukamoto M, Akiyama T, Yonekura Y, Mawatari M, Hotokebuchi T  | 30th European Bone and Joint infection Society   | NEXT GENERATION ANTIBACTERIAL HA COATING – INHIBITION OF STEOCONDUCTIVITY BY SILVER –  |
| M. Kanakubo, K. R. Harris, S. Tsuzuki, T. Umecky, T. Makino, A. Suzuki  | 32nd International Conference on Solution Chemistry  | NMR Relaxation Studies on 1-Alkyl-3-methylimidazolium Bis(trifluoromethane-sulfonyl)amide  |
| M. Kanakubo, T. Sonnleitner, R. Buchner, D. Kodama, T. Makino, T. Umecky, A. Suzuki   | 32nd International Conference on Solution Chemistry  | Physicochemical Properties of Diglyme-Lithium bis(trifluoromethanesulfonyl)amide Solutions   |
| T. Umecky, M. Kanakubo, T. Makino, A. Suzuki, T. Takamuku   | 32nd International Conference on Solution Chemistry  | Absorption and Desorption Properties of CO <sub>2</sub> in DBU-Alcohol Systems   |
| Akira Takahashi, Akiko Kukita, Yin-ji Li, Hisayuki Nomiya, Yasunori Ayukawa, Kiyoshi Koyano, Toshio Kukita  | 33th Annual Meeting of The American Society for Bone and Mineral   | 8. Involvement and regulatory role of membrane nanotubes in fusion of osteoclast precursors: a possible migration and penetration of DC-STAMP protein into osteoclast precursors through inter-cellular bridge |
| Takano T., Li Y-j, Kukita A., Yamaza T., Ayukawa Y., Koyano K., Kukita T.   | 33th Annual Meeting of The American Society for Bone and Mineral   | Mesenchymal stem cells markedly suppressed inflammatory bone destruction in rats with adjuvant-induce arthritis.   |
| Hirokazu Takakura, Naoko Ogata, Takayuki Narita, Yushi Oishi  | 3rd Asian Symposium on Advanced Materials  | Volume Change of Behavior of Poly(L-lysine-alt-terephthalic acid)Microcapsules Near the Transition pH  |
| Yushi Oishi, Takayuki Narita, Katsuhiko Ariga, Toyoki Kunitake  | 3rd Asian Symposium on Advanced Materials  | Tunable Domain in Phase-separated Monolayer of Hydrocarbon Guanidinium and Fluorocarbon Carboxylic Acid  |
| D. Kodama, M. Kanakubo, K. Ohashi, K. R. Harris, T. Makino, T. Umecky, A. Suzuki, M. Sugiyama, S. Kodama  | 4th Congress on Ionic Liquids  | Temperature and Pressure Dependence of the Viscosity of Phosphonium Ionic Liquids  |
| D. Kodama, M. Kanakubo, S. Hashimoto, T. Makino, T. Umecky, A. Suzuki   | 4th Congress on Ionic Liquids  | CO <sub>2</sub> Absorption Properties of Glyme-Li Salt Complex Solutions   |
| T. Makino, M. Kanakubo, T. Umecky, A. Suzuki  | 4th Congress on Ionic Liquids  | p-V-T Relations for Ammonium-Based Ionic Liquid + Carbon Dioxide Binary Systems  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| Anan M, Uchihashi K, Matsunobu A, Aoki S, Node K, Toda S  | 4th International Congress on PREDIABERES and the METABOLIC SYNDROME                      | A NEW CULTURE MODEL FOR ANALYZING THE INTERACTION BETWEEN ADIPOSE TISSUE AND CARDIOMYOCYTES  |
| Udo K, Aoki S, Uchihashi K, Matsunobu A, Nanri M, Tokuda Y, Uozumi J, Toda S                                    | 4th International Congress on PREDIABERES and the METABOLIC SYNDROME                      | ADIPOSE TISSUE EXPLANTS AND MDCK CELLS RECIPROCALLY REGULATE THEIR MORPHOGENESIS IN COCULTURE  |
| Nishijima K, Yamada Y, Tanaka H, Kitajima S, Yamaguchi S, Morimoto M, Tanaka K, Nishida Y                       | 4th International Rabbit Biotechnology Meeting.   | Assessment of energy expenditure in rabbit with doubly-labeled water method.   |
| Chernogorova P, Tsukamoto H, Ayata K, Gerlach UV, Rughani A, Ganesan J, Follo M, Thompson LF, Idzko M, Zeiser R | 53rd Annual Meeting of the American Society of Hematology                                 | Deficiency of CD73/Ecto-5'-Nucleotidase Enhances Acute Graft-Versus-Host Disease.  |
| ○Kazuya Tazoe and Takehiko Yamato   | 6th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 大邱大学(韓国)2011年10月31日-11月2日 | Synthesis and photochemical properties of areno[2.n]metacyclophanes having helical structures  |
| ○Tetsuya Tanaka and Takehiko Yamato   | 6th Joint Seminar between Saga University and Daegu University, 大邱大学(韓国)2011年10月31日-11月2日 | Synthesis and evaluation of novel anion recognition receptors based on thiacalix[4]arene possessing amidourea moieties                                       |
| Yoshida H, Fujimoto H, Hara H, Hirase T, Node K   | 6th leukocyte signal transduction workshop  | Interleukin 27 inhibits hyperglycemia and pancreatic islet inflammation induced by streptozotocin in mice.   |
| Aragane N, Nakamura T, Iwanaga K, Sato A, Komiya K, Ureshino N, Hosomi T, Hirai M, Sueoka E, Kimura S           | 70th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association                                    | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA.  |
| Tsukamoto H, Thompson LF  | 98th Annual Meeting of the American Association of Immunologists                          | Recipient CD73-generated adenosine plays a preventive role in graft-versus-host disease by regulating allogeneic T cell activation.                          |
| D. Kodama, M. Kanakubo, M. Kokubo, S. Hashimoto, T. Makino, T. Umecky, A. Suzuki, M. Kato                       | 9th International Conference on Separation Science and Technology                         | Solubility of Carbon Dioxide in Glymes and Glyme-Li Salt Complex Solutions   |
| M. Kanakubo, T. Umecky, T. Makino, A. Suzuki, M. Sakurai  | 9th International Conference on Separation Science and Technology                         | Separation of Extremely Dilute CO <sub>2</sub> Using Ionic Liquids   |
| T. Makino, M. Kanakubo, T. Umecky, A. Suzuki  | 9th International Conference on Separation Science and Technology                         | High Pressure CO <sub>2</sub> Absorption Properties of Ammonium Based Ionic Liquids Containing Oxygen Atoms  |
| T. Umecky, T. Aida, M. Kanakubo, T. Makino, T. Aizawa, A. Suzuki  | 9th International Conference on Separation Science and Technology                         | NMR Study on CO <sub>2</sub> -Saturated Alcohol Systems  |
| K.Ohto, K.Inoue, K.Hirota, D.Parajuli   | A Special Symposium on Minor Rare Metals Recycling  | Development of adsorption technology for the recovery of rare metals from spent small size household electric and electronic appliances using biomass wastes |
| Ide M, Sueoka-Aragane N, Sato A, Nakamura T, Yokoo M, Kimura S, Tanimoto K, Sueoka E                            | AACR 102nd Annual Meeting   | Gene regulation induced by constitutive expression of HIF-1 $\alpha$ in transgenic mice  |
| Xia HJ, Ozaki I, Matsuhashi S, Hamajima H, Iwane S, Takahashi H, Eguchi Y, Mizuta T                             | AASLD 62nd The Liver Meeting 2011   | Role of PKC isoforms and PKD1 in the inhibition of NF- $\kappa$ B activation by a vitamin K2 in human hepatocellular carcinoma cells                         |

|   |  |   |
|---|--|---|
| Soejima H, Nakabayashi K, Yatsuki H, Jozaki K, Hata K, Higashimoto K.   | Acquisition of aberrant hypermethylation after implantation induces discordant hypermethylation at H19-DMR between bodies and placentas in Beckwith-Wiedemann syndrome patients. | Idibell Cancer Conferences on Imprinting and Beyond; "Mono-allelic expression in Health and Disease"  |
| Ide M, Sueoka-Aragane N, Sato A, Nakamura T, Yokoo M, Hiyama K, Kimura S, Tanimoto K, Sueoka E.   | American Association for Cancer Research 102nd Annual Meeting, April 2-6, 2011.  | Gene regulation induced by constitutive expression of hypoxia-inducible factor-1a in lymphocytes of transgenic mice.                        |
| Ishikawa S, Nakabayashi J, Hirata A, Iwakiri R, Okinami S   | ARVO 2011 annual meeting   | Neuroprotective effects of siRNA, targeted caspase-3, and atelocollagen complex on rat retinal damage induced by transient ischemic injury. |
| Yasushi Kubota, Ivo Lieberam, Shinya Kimura, Thomas M Jessell, and Shin-Ichi Nishikawa  | ASH Annual Meeting 2011  | Plxdc2 Marks Hematopoietic Stem Cells and Th2 Cytokine-Producing Innate Lymphocytes in Adult Bone Marrow                                    |
| 副島英伸  | BWS 親の会勉強会   | Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像と遺伝子解析  |
| Xin-Long Ni and OTakehiko Yamato  | Challenges in Organic Materials & Supramolecular Chemistry (ISACS6) 北京大学、2011年9月2-4日   | Ratiometric Fluorescent Receptors Based on Hexahomotrioxacalix[3]arenes   |
| Soejima H   | Clinical features and genome/epigenome analyses of Japanese patients with Beckwith-Wiedemann syndrome  | The 9th Korean PWS Symposium  |
| 金久保光央、牧野貴至、梅木辰也   | CO <sub>2</sub> の分離・回収技術の最新動向  | イオン液体を用いたCO <sub>2</sub> 分離・回収技術  |
| T. Takamuku, T. Shimomura, and T. Yamaguchi   | EMLG/JMLG Annual Meeting 2011, Warsaw, Poland  | Cluster of Imidazolium-based Ionic Liquid in Benzene Solutions  |
| T. Shimomura, S. Inoue, T. Umecky, and T. Takamuku  | Globalization Program of Graduate School of Science and Engineering, Saga University   | Effects of Benzene Substituents on Cluster Formation of Imidazolium-based Ionic Liquid in Benzene Derivatives                               |
| Noguchi R, Nakayama K, Ishihara K, Murata Y, Node K, Morita S.  | International Society for Heart Lung Transplantation 31st Annual Meeting and Scientific Sessions   | Fabrication of tissue engineered pulsatile 3-Dimensional scaffold-free cardiac tissue from embryonic stem cells.                            |
| Ando Y, Noda I, Miyamoto H, Akiyama T, Tsukamoto M, Shimazaki T, Yonekura Y, Kawano S, Sonohata M, Mawatari M, Hotokebuchi T                    | International Union of Microbiological Societies 2011 Congress   | THE HYDROXYAPATITE CONTAINING SILVER INHIBITS THE BIOFILM FORMATION UNDER FLOW CONDITION  |
| Shoko Nishizono, Nao Inoue, Koji Nagao, Hiroshi Sakaida, Takanori Kai, Teruyoshi Yanagita, Hirohito Tsubouchi, Hiroaki Kataoka, Nobuhiro Fukuda | ISNFF 2011 Conference and exhibition   | Blueberry (Vaccinium ashei) leaf and the prevention of metabolic syndrome.  |
| Shioya T, Ishihara K  | J Physiol Sci.   | Regulation of cardiac Na/Ca exchanger by PMCA is mediated by local calcium  |
| Huynh Van Kiet and Akihiro Nose   | Japanese J Crop Sciece   | Temperature effects on the plant growth of sheath blight disease resistant and susceptible rice line  |

|  |   |   |
|--|---|---|
| Josiah Musembi Mutuku and Akihiro Nose   | Japanese J Crop Science   | High activities and mRNA expression of pyrophosphate-fructose-6-phosphate-phosphotransferase and 6-phosphofructokinase are induced as a response to <i>Rhizoctonia solani</i> infection in rice leaf sheath |
| Josiah Musembi Mutuku and Akihiro Nose   | Japanese J Crop Science   | Changes in the contents of metabolites and enzyme activities in rice plants responding to <i>Rhizoctonia solani</i> (Kuhn) infection: activation of glycolysis and connection to phenylpropanoid pathway    |
| Yuba Raj Gaihre, and Akihiro Nose  | Japanese J Crop Science   | High yielding capacities and genetic variation in crossing of sheath blight disease resistant rice line   |
| Yuba Raj Gaihre, Yoshiyuki Yamagata, Atsusi Yoshimura, and Akihiro Nose  | Japanese J Crop Science   | QTL analysis of sheath blight disease resistance in the rice line 32R derived from Tepep  |
| ORyu Yi, Xing Feng, Takehiko Yamato  | Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学 2010年3月5日 | Highly emissive hand-shaped $\pi$ -conjugated alkynylpyrenes: Synthesis, structures, and photophysical properties   |
| OBigyan Sharma and Takehiko Yamato   | Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学 2012年2月8日 | Synthesis, structure and spectral properties of polymethylsubstituted dithia[3]metacyclo[3](1,3)pyrenophanes  |
| OCheng-cheng Jin, Shi Wang, Xi-long Ni, Takehiko Yamato  | Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学 2012年2月8日 | Synthesis and Evaluation of Novel Dipeptide Receptors Based on Hexahomotrioxacalix[3]arenes   |
| OUmmei Rayhan, Hyeok-mi Kwon and Takehiko Yamato   | Joint Seminar between Saga University and Liaoning University, 佐賀大学 2012年2月8日 | Raney Ni-Al Catalyzed Hydrogenation Reaction of Phenylacetylene in water  |
| Hara H, Nakaya M, Miichi F, Iizasa E, Tokunaga O, Yoshida H  | JSICR-MMCB 2011   | Activation of innate immunity through the Syk-CARD9-Bcl10 signaling is crucial for control of <i>Leishmania major</i> .   |
| Ozaki N, Sato Y, Tanaka K, Kono T, Wex E, Wollin SL, Schnapp A, Harada Y, Kitamura D, Suzuki S, Encinas J, Hara H, Yoshida H | JSICR-MMCB 2011   | Postnatal Syk deletion in mice clarified the function of Syk in anti-collagen antibody-induced arthritis model.   |
| UEMURA,S, FUJITA,T, HAI-YUAN,Y, CHANG-YU,J, LIU,Y, MIZUTA,K, INOUE,M, KAWASAKI,H, YASAKA,T, ISHIMATSU,M ,KUMAMOTO,E          | NEUROSCIENCE 2011   | Effect of a novel benzodiazepine-receptor agonist JM1232(-) on synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons  |
| Inoue M, Fujita T, Piao L-H, Yue H-Y, Mizuta K, Jiang C-Y, Uemura S, Yang L, Yasaka T, Kawasaki H, Kumamoto E                | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting               | Involvement of TRPA1 channels in spontaneous excitatory transmission enhancement produced by eugenol in rat spinal dorsal horn neurons.   |
| Jiang C-Y, Fujita T, Yue H-Y, Yang L, Mizuta K, Inoue M, Uemura S, Kawasaki H, Yasaka T, Piao L-H, Kumamoto E                | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting               | Membrane depolarization produced by oxytocin in adult rat spinal dorsal horn neurons.   |
| Kawasaki H, Mizuta K, Fujita T, Inoue M, Jiang C-Y, Yue H-Y, Yang L, Uemura S, Yasaka T, Matsushita A, Masuko S, Kumamoto E  | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting               | TRPM8 agonist menthol and its related substances having <i>p</i> -menthane base inhibit compound action potentials in frog sciatic nerves.  |
| Mizuta K, Fujita T, Jiang C-Y, Yue H-Y, Inoue M, Yang L, Uemura S, Kawasaki H, Yasaka T, Kumamoto E                          | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting               | Opioids inhibit action potentials in rat dorsal root ganglion neurons without $\mu$ -opioid receptor activation.  |
| Uemura S, Fujita T, Yue H-Y, Jiang C-Y, Yang L, Mizuta K, Inoue M, Kawasaki H, Yasaka T, Ishimatsu M, Kumamoto E             | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting               | Effect of a novel benzodiazepine-receptor agonist JM1232(-) on synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.   |
| Yang L, Fujita T, Piao L-H, Jiang C-Y, Yue H-Y, Inoue M, Mizuta K, Yasaka T, Uemura S, Kawasaki H, Kumamoto E                | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting               | Effects of TRPV1 agonists, olvanil and piperine, on spontaneous excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.   |

|  |   |   |
|--|---|---|
| Yue H-Y, Fujita T, Yang L, Jiang C-Y, Inoue M, Mizuta K, Uemura S, Yasaka T, Piao L-H, Hasuo H, Kumamoto E           | Neuroscience 2011: Society for Neuroscience 41st Annual Meeting   | TRPA1 but not TRPV1 channels mediate spontaneous excitatory synaptic transmission enhancement produced by zingerone in rat substantia gelatinosa neurons.                                       |
| H.Murashima, H.Kawakita, K.Ohto  | Seminar by young chemists at Kosin University   | Extraction of rare earths with phosphoric acid type of trident molecule   |
| H.Sadamatsu, H.Kawakita, K.Ohto  | Seminar by young chemists at Kosin University   | Alkali metal extraction with calix[4]arene acetic acid-propyl derivative  |
| B.B.Adhikali, M.Gurung, H.Kawakita, K.Ohto   | Seminar on Globalization Program of Graduate School of Science and Engineering (GSSE), Saga University, - Invitation Program for Foreign Excellent Researchers -  | Synthesis and application of a highly efficient polyvinylcalix[4]arene tetraacetic acid resin for adsorptive lead removal   |
| H.Sadamatsu, H.Kawakita, K.Ohto  | Seminar on Globalization Program of Graduate School of Science and Engineering (GSSE), Saga University, - Invitation Program for Foreign Excellent Researchers -  | Extraction behavior of alkali metal ions with calix[4]arene acetic acid - propyl derivative   |
| Akiyama T, Mawatari M, Yonekura Y, Ando Y, Noda I, Miyamoto H, Sonohata M, Hotokebuchi T                             | SICOT 2011 XXV Triennial World Congress   | In vivo antibacterial ability of silver oxide-containing hydroxyapatite coating on titanium implants in the rat tibia model   |
| ○Jung-hee Do, Shinpei Miyamoto, Masanao Era, Takehiko Yamato   | Sixth International conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M& BE6), 2011年3月15日-18日   | Synthesis and photophysical properties of novel extended $\pi$ -conjugated dithienothiophene-based light-emitting materials   |
| Ishihara K   | Special Symposium "Ion channels, Arrhythmogenesis and Channelopathy", 4th Asia Pacific Heart Rhythm Society (APHRS 2011) in Conjunction with 7th Asia Pacific Atrial Fibrillation Symposium (7th APAFS) | Low-affinity polyamine block of $I_{K1}$ facilitating the cardiac repolarization  |
| Yushi OISHI, Yasunobu TAGAMI, Hirotsugu SETO, Takayuki NARITA, Hajime IKIGAI   | The 12th Pacific Polymer Conference   | Penetration Behavior of a Membrane Protein of VCH into Lipid Monolayer  |
| Uchihashi K, Aoki S, Matsunobu A, Koike E, Yonemitsu N, Funatsumaru S, Sugihara h, Toda S                            | The 14 th International Congress of Endocrinology, Endocrine Journal  | A new organotypic culture of adipose tissue fragments maintains viable mature adipocytes for a long term, together with development of immature adipocytes and mesenchymal stem cell-like cells |
| Nakamura T, Sueoka-Aragane N, Iwanaga K, Sato A, Komiya K, Abe T, Ide M, Ureshino N, Hayashi S, Sueoka E, Kimura. S. | The 14th World Conference on Lung Cancer  | Fully automated detection system of EGFR mutation, T790M with plasma DNA of lung cancer patients.   |
| Hisatomi T, Sueoka-Aragane N, Sato A, Tomimasu R, Ide M, Kunimasa A, Okamoto K, Kimura S, Sueoka E                   | The 16 <sup>th</sup> European Hematology Association Congress   | DNA-dependent protein kinase as a promising molecular target for the treatment of adult T-cell leukemia-lymphoma.   |
| M.Kawashima, K.Ohto, H.Kawakita  | The 24th International Symposium on Chemical Engineering(ISCHE)   | Syntheses and group of aluminum extraction of calix[4]arene derivatives with benzoic acid   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| R.Yamaguma, K.Ohto, H.Kawakita  | The 24th International Symposium on Chemical Engineering(ISChE)   | Extractive separation of precious metals by using tripodal molecules with heterocycles  |
| M. Ito, K.Ohto  | The 2nd Saga University–Liaoning University Joint Seminar   | Extraction and isolation of metals on carboxylic acid type of broom molecule which don't have oxygen  |
| T. Ikeda, K.Ohto, H.Kawakita  | The 2nd Saga University–Liaoning University Joint Seminar   | Extraction Behavior of Metal Ions with Calix[4]arene Difluoroacetic Acids Derivatives   |
| Sueoka–Aragane N , Nakamura T, Iwanaga K, Sato A , Komiya K , Abe T, Ureshino N, Hayashi S , Hosomi T , Hirai M , Sueoka E , Kimura S . | The 2nd World Congress on Biomarker,  | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA  |
| Yue H–Y, Fujita T, Jiang C–Y, Piao L–H, Kawasaki H, Kumamoto E  | The 4th Asian Pain Symposium (APS 2011)   | Difference between pre- and postsynaptic sites in the modulation by galanin of excitatory synaptic transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.      |
| Ohta S, Shibata R, Nakao Y, Azuma Y, Taniguchi K, Arima K, Suzuki S, Shiraishi H, Iwasaka T, Izuhara K.                                 | The 61th annual meeting of the American association for the study of Liver diseases. The Liver Meeting. | Development of combined measurement of squamous cell carcinoma antigens 1 and 2 as a potential companion diagnostic for anti-IL-4/IL-13 therapies in allergic diseases. |
| H.Murashima, H.Kawakita, K.Ohto   | The 6th Daegu University–Saga University Joint Symposium  | Extractive separation of rare earths with phosphoric acid type of trident molecule  |
| H.Sadamatsu, H.Kawakita, K.Ohto   | The 6th Daegu University–Saga University Joint Symposium  | Alkali metal extraction mechanism of calix[4]arene acetic acid–propyl derivative  |
| Kenta Goto, Yukio Nagano  | The 6th Daegu University–Saga University Joint Symposium  | Zero background cloning system  |
| Takashi Mimura, Hiroaki Suzuki, Ryoji Matsumoto, Yukio Nagano   | The 6th Daegu University–Saga University Joint Symposium  | Comparison of the model of flowering regulation systems between Citrus and Arabidopsis  |
| Nakamura T , Aragane N , Komiya K , Sueoka E , Kimura S .   | The 9th Annual Meeting of Japanese Society of Medical Oncology,   | A non-invasive system for monitoring resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors with plasma DNA.   |
| Toshio Takano, Yin–ji Li, Akiko Kukita, Takayoshi Yamaza, Yasunori Ayukawa, Kiyoshi Koyano, Toshio Kukita                               | The American Society for Bone and Mineral Research 2011 Annual Meeting                                  | Mesenchymal stem cells markedly suppressed inflammatory bone destruction in rats with adjuvant–induce arthritis.  |
| Ryo Yoshida, Yasunori Yamada, Masayuki Koikawa, Tadashi Tokii   | The seminar on the foreign researchers inviting program for international exchange                      | Structures and Characterization of Carboxylato Bridged Dioxovanadium(IV) Complexes  |
| Takayuki HASUO, Reiichiro YAMASHITA, Yasunori YAMADA, Masayuki KOIKAWA, Tadashi TOKII   | The seminar on the foreign researchers inviting program for international exchange                      | Structure and Magnetic Properties of Polynuclear Metal Complexes with Tetradentate Chain–Ligand   |
| Kazunari Koba, Teruyoshi Yanagita, Koji Nagao, Kouhei Oohashi   | XI Asian Congress of Nutrition 2011   | Dietary chicken peptide may ameliorate metabolic syndrome.  |
| Shigehisa Aoki, Junichi Makino, Mitsuru Noguchi, Fumio Yamasaki, Shuji Toda   | XLVIII ERA–EDTA Congress  | FLUID STREAMING HAS AN IMPACT ON MESOTHELIAL CELL KINETICS: POSSIBLE PATHOGENESIS OF EPS  |
| Kumashiro, S., Matsukura, K., Kawaura, K., Matsumura, M., Ogihara, Y. and Tokuda, M.  | XVII International Plant Protection Congress (2011 APS–IPPC Joint Meeting)                              | Effect of barley chromosome addition on the susceptibility of wheat to feeding by gall–inducing leafhopper, Cicadulina bipunctata (Hemiptera: Cicadellidae).            |

|  |  |   |
|--|--|---|
| Tokuda, M., Tanaka, S., Harano, K., Kawaura, K. and Ogihara, Y.  | XVII International Plant Protection Congress (2011 APS-IPPC Joint Meeting) | Effect of barley chromosome addition to wheat on feeding preference and growth performance of the migratory locust <i>Locusta migratoria</i> (Orthoptera: Acrididae). |
| 大渡啓介   | クラウンリサーチ(株)臨時総会  | レアメタル分離剤の開発   |
| 山本 聡一郎, 平田 憲, 石川 慎一郎, 沖波 聡   | 第114回佐賀大学眼科臨床懇話会   | 細菌由来トランスグルタミナーゼを用いた家兎眼における網膜裂孔閉鎖  |
| 御塚加奈子, 壽順久, 白石裕士, 片山一朗, 仲哲治, 出原賢治, 成澤寛   | 第15回九州基礎皮膚科研究会   | 細胞外マトリクスタンパク質「ペリオスチン」は、皮膚線維芽細胞の活性化を介して創傷治癒を促進する。  |
| Hara H, Yokosuka T, Ishihara C, Yasukawa S, Hirakawa H, Iizasa E, Yoshida H, Saito T.  | 第34回日本分子生物学会年会   | SH3-Guk domain interaction regulating Carma1 micro-cluster formation is essential for antigen receptor-induced NF- $\kappa$ B activation.                             |
| 尾山純一, 井上晃男, 池田秀夫, 宮園素明, 佐内透, 野出孝一  | 第34回日本高血圧学会総会  | 慢性腎臓病におけるスタチンの腎保護作用について   |
| Xia J, Matsushashi S, Hamajima H, Iwane S, Takahashi H, Mizuta T, Fujimoto K, Kuroda S, Ozaki I                                  | 第34回日本分子生物学会年回   | Role of PKC isoforms in the inhibition of NF- $\kappa$ B activation by a vitamin K2 in human hepatocellular carcinoma cells   |
| 松橋幸子, 夏京合, 薦田洋, 高橋宏和, 岩根紳治, 水田敏彦, 安西慶三, 藤本一真, 尾崎岩太   | 第34回日本分子生物学会年回   | がん抑制遺伝子, PDCC4 をノックダウンすると肝癌細胞のアポトーシスを誘導する   |
| 小荒田秀一, 末松梨絵, 井上久子, 大田明英, 田代知子, 多田芳史  | 第39回日本臨床免疫学会総会   | 自己抗体産生 B 細胞上に発現する BCMA は、SLE 治療の標的となりうるか  |
| 多田芳史, 小荒田秀一, 青木茂久, 井上久子, 末松梨絵, 田代知子, 大田明英, 長澤浩平,   | 第39回日本臨床免疫学会総会   | インターフェロン制御因子5 (IRF5) のループスマウスの病態発現における作用とそのメカニズム  |
| 山本 聡一郎, 平田 憲, 石川 慎一郎, 沖波 聡   | 第50回日本網膜硝子体学会  | 細菌由来トランスグルタミナーゼを用いた家兎眼における網膜裂孔閉鎖  |
| 小荒田秀一, 多田芳史, 井上久子, 末松梨絵, 副島幸子, 大田明英, 長澤浩平  | 第55回日本リウマチ学会   | SLE 由来自己抗体産生 RP105(-)B 細胞の BCMA の発現—RP105(-)B 細胞のフェノタイプ解析   |
| 多田芳史, 近藤誠司, 小荒田秀一, 井上久子, 末松梨絵, 副島幸子, 大田明英, 長澤浩平  | 第55回日本リウマチ学会   | IRF5 欠損 MRL/lpr マウスでは TLR を介したサイトカイン産生が抑制される  |
| 多田芳史, 藤 健太郎, 末松栄一, 上田章, 永野 修司, 澤部琢哉, 西坂浩明, 塚本 浩, 末松梨絵, 井上久子, 小荒田秀一, 大田明英, 堀内孝彦, 長澤浩平   | 第55回日本リウマチ学会   | 間質性肺炎を合併した多発性筋炎・皮膚筋炎の予後、治療抵抗性に関する予測因子の解析  |
| 島津倫太郎, 倉富勇一郎, 井之口昭,  | 第63回日本気管食道科学会総会・学術講演会(シンポジウム)  | 胃酸逆流による気道の形態学的変化—動物モデルを用いた検討  |
| Ichigi Y., Takigawa I. Kukita T., Miyamoto H., Kukita A.   | 第84回日本細菌学会総会   | <i>P. gingivalis</i> infection promotes osteoclastogenesis from RANKL-stimulated macrophages  |
| Katagiri N, Shobuie T, Miyamoto H  | 第84回日本細菌学会総会   | Human NAIP restricts <i>Legionella pneumophila</i> replication accompanied by host cell death   |
| 島津倫太郎  | 日本耳鼻咽喉科学会第26回九州連合地方部会学術講演会(教育講演)   | 胃酸逆流による咽喉頭症状とその形態学的変化   |
| 久重路真弓, 衛藤珠美, 立石慶輔, 大津安夫, 兒玉宏樹  | 日本腐植物質学会 第27回講演会   | 腐植物質—鉄錯体を利用する藻場再生技術開発における鉄の溶出状況の検討  |
| Miyazaki H, Higashimoto K, Yada Y, Komori T, Matsuda M, Koseki Y, Nakayama M, Soejima H, Handa H, Koseki H, Hirose S, Nishioka K | 日本分子生物学会 第34回年会 シンポジウム   | Histone H3 Lys36 methylation by Ash1l triggers a regulatory cascade of the chromatin reprogramming that counteracts Polycomb silencing                                |
| 久留 和成, 寺本 憲功   | 日本薬理学会 西南部会  | 脳幹 GLP-1 分泌細胞におけるアドレナリン受容体を介した興奮性シナプス入力解析   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 野瀬昭博  | バイオインダストリー協会：<br>“未来へのバイオ技術”勉強会              | 佐賀大学発アイズプラント「バラフ」の塩類土壌修復作用と商品開発   |
| * 三好潤也、坂口 勲、大場 隆、片瀨秀隆、副島英伸、東元 健.                        | 遺伝医学合同学術集会 2011.                             | Beckwith-Wiedemann 症候群に間葉性異形成胎盤を合併し、両者のインプリンティング異常に乖離を呈した1例.                    |
| 副島英伸、城崎幸介、八木ひとみ、前田寿幸、大塚泰史、東元 健.                         | 遺伝医学合同学術集会 2011.                             | 本邦 Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像とゲノム・エピゲノム解析.                                      |
| 穴井豊昭、井上大輔、古賀晴香  | 育種学研究  | ダイズ品種「トヨシロメ」に見出された高シヨ糖遺伝子の特性  |
| 児玉大輔、金久保光央、橋本諭、牧野貴至、梅木辰也、鈴木明                            | 化学工学会第 43 回秋季大会                              | グライム-リチウム錯塩溶液の二酸化炭素吸収特性   |
| 児玉大輔、金久保光央、大橋健介、Harris Kenneth R.、牧野貴至、梅木辰也、鈴木明、杉矢正、小玉春 | 化学工学会第 43 回秋季大会                              | ホスホニウム系イオン液体粘度の温度及び圧力依存性  |
| 大渡啓介、川島真、川喜田英孝  | 化学工学会第 43 回秋季大会                              | 安息香酸-酢酸交差型カリックス[4]アレーンによるアルミ族の抽出分離  |
| 梅木辰也、相田努、金久保光央、牧野貴至、相澤崇史、鈴木明                            | 化学工学会第 43 回秋季大会                              | 高圧 NMR 法を用いた二酸化炭素加圧下におけるアルコールの溶液構造  |
| 牧野貴至、金久保光央、梅木辰也、鈴木明                                     | 化学工学会第 77 回年会                                | ピロリジニウム系イオン液体の粘性率・CO <sub>2</sub> 吸収量およびガス選択性                                   |
| 塩谷 孝夫   | 筋生理の集い                                       | マウス心筋 NCX 電流の細胞内カルシウム緩衝能依存性   |
| 村岡和人、鯉川雅之   | 九州錯体化学懇談会第 240 回例会                           | 三座シッフ塩基配位子による Mn-Ni ヘテロ金属錯体の構造と磁気的性質  |
| 平松健児・有田寛・成田貴行・高原淳・江良正直・大石祐司                             | 九州地区高分子若手研究会・冬の講演会                           | X 線反射率測定と原子間力顕微鏡観察による 鉛系脂肪族 アミンペロブスカイト LB 膜の分子凝集構造                              |
| 井上侑子、鳥飼紀雄、渡孝則、矢田光徳                                      | 公益社団法人日本セラミックス協会 2012 年年会                    | モリブデン酸コバルトナノチューブ・ナノワイヤーの合成  |
| 井上侑子、鳥飼紀雄、渡孝則、矢田光徳                                      | 公益社団法人日本セラミックス協会第 24 回秋季シンポジウム               | リン酸チタニウムナノ構造体薄膜の合成と特性   |
| 矢田光徳、大塚誠史 <sup>M</sup> 、井上侑子 <sup>D</sup> 、鳥飼紀雄、渡孝則     | 公益社団法人日本セラミックス協会第 24 回秋季シンポジウム               | マイクロ空間を利用した酸化銅薄膜の形態制御   |
| 野瀬昭博  | 佐賀県栄養士会平成 23 年度生涯学習                          | 佐賀大学発ブランド野菜「バラフ」の開発と背景  |
| 徳田 誠  | 佐賀自然史研究会第 19 回総会・会員発表                        | 植物のかたちを操る昆虫たち   |
| 石渡洋一  | 佐賀大学シンクロトロン光応用研究センターナノテク事業成果報告会第 11 回ナノテク講演会 | V <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ナノ結晶と Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> ナノ結晶の金属絶縁体転移 |
| 山口大貴・田中弘毅・徳田 誠・浅見忠男・鈴木義人                                | 植物化学調節学会第 46 回大会                             | シバヤナギハウラタマフシにおけるゴール形成機構に関する研究   |
| 佐藤勇司  | 腎癌治療セミナー in 佐賀.                              | 当院におけるテムシロリムスの使用経験.   |
| 金久保光央、梅木辰也、牧野貴至、鈴木明、桜井誠人                                | 生態工学会 2011 年次大会                              | イオン液体による極低濃度 CO <sub>2</sub> の吸脱着   |
| 増田正憲、甲斐敬太、明石道昭、木戸伸一、高瀬ゆかり、徳永藏                           | 第 100 回日本病理学会総会、日本病理学会会誌 100 巻 1 号 Page316   | 結節性多発動脈炎の腎血管の形態的、免疫組織所見からみた特徴   |
| 甲斐敬太、増田正憲、徳永藏   | 第 100 回日本病理学会総会、日本病理学会会誌 100 巻 1 号 Page360   | Adenomyomatosis 合併胆嚢癌の臨床病理学的特徴  |
| 高橋良、久木田明子、李銀姫、鮎川保則、古谷野潔、久木田敏夫                           | 第 10 回 西日本骨・関節関連疾患懇話会                        | 破骨前駆細胞における膜ナノチューブを介した情報伝達   |
| 野口 亮、山 功一、柳圭子、野出孝一、森田茂樹                                 | 第 10 回日本再生医療学会                               | 新規立体心筋細胞構造体移植片の開発   |

|   |                               |  |
|---|-------------------------------|--|
| 高倉将一、雪竹央乃、真木 一                                  | 第 117 回日本物理学会九州支部例会           | NaxCoO <sub>2</sub> の電気抵抗率と熱起電力  |
| 糸山真央、白石達也、末廣智、木田徹也、石井啓文、手塚泰久、稲垣祐次、河江達也、石渡洋一     | 第117回日本物理学会九州支部例会             | V2O <sub>3</sub> ナノ結晶の金属絶縁体転移  |
| 成田貴行、大石祐司、大西勇、鶴田昌之                              | 第117回日本物理学会九州支部例会             | アルギン酸水溶液のゲル化に伴うパターン形成  |
| 雪竹央乃、真木 一、西寄照和、小林典男                             | 第 117 回日本物理学会九州支部例会           | 絶縁体組成 Bi <sub>2</sub> Ti <sub>2</sub> の誘電特性と不純物置換効果                              |
| 牧野貴至、梅木辰也、金久保光央、鈴木明                             | 第 11 回 GSC シンポジウム             | イオン液体のハイブリッド化によるガス分離精製技術の高効率化  |
| 北村二雄、栗木智史、田澤由衣                                  | 第 13 回連携大学院産学官交流セミナー          | ヨウ素を用いる新規簡便反応の開発   |
| 北村二雄、栗木智史、Mohammad Hasan Morshed、堀 勇治           | 第 14 回ヨウ素学会シンポジウム             | フッ化水素酸/PhIO を用いる 1,3-ジカルボニル化合物の簡便フッ素化反応  |
| 上田祐生、川喜田英孝、大渡啓介                                 | 第 14 回化学工学会学生発表会西日本大会         | アミド型三脚状ホウキ分子を用いた貴金属の選択的抽出  |
| 北村二雄、小林壮一、宮崎真佐也                                 | 第 14 回連携大学院産学官交流セミナー          | 遷移金属触媒を用いるピラノクマリン骨格合成法の開発  |
| 梅木辰也  | 第 17 回九州溶液化学懇談会               | 複雑凝集系の NMR 研究  |
| 山田秀人・小島健太郎・鎌滝晋礼・徳田誠・藤原智子・淵田吉男                   | 第 18 回大学教育研究フォーラム             | 文系学生を対象とした自然科学科目における探求学習型プログラムの検討  |
| *三好潤也、岡島 翠、松尾勇児、坂口勲、大場 隆、片渕秀隆、東元 健、副島英伸         | 第 19 回日本胎盤学会学術集会              | Beckwith-Wiedemann 症候群に間葉性異形成胎盤を合併し、両者のインプリンティング異常に乖離を呈した1例                      |
| Md. Shahajahan Kutubi、北村二雄                      | 第 22 回若手研究者のためのセミナー           | 鉄触媒を用いるフェノールとプロピオン酸の反応によるクマリンの合成   |
| 明石道昭、甲斐敬太、隅健次、矢ヶ部知美、古賀靖大、中房祐司、徳永蔵、能城浩和          | 第 22 回日本消化器癌発生学会総会抄録集         | 直腸癌の SPIO 造影 3T-MRI および MDCT 所見と病理所見の比較検討  |
| 甲斐敬太、井手貴雄、増田正憲、北原賢二、三好篤、宮崎耕治、能城浩和、徳永蔵           | 第 22 回日本消化器癌発生学会総会抄録集. Page86 | Adenomyomatosis 合併胆嚢では胆嚢癌の早期診断は困難である   |
| 中村優里、山本秀輝、高橋友里恵、阿部譲、石井恵子、西城忍、岩倉洋一郎、原博満、山崎晶、川上和義 | 第 22 回日本生体防御学会学術総会            | クリプトコックス感染防御における dectin-2 及び Card9 の役割   |
| 笛末崎、阿部譲、山本秀樹、原博満、石井恵子、川上和義                      | 第 22 回日本生体防御学会学術総会            | クリプトコックスによる NKT 細胞活性化とパターン認識下流分子の役割  |
| 関 清彦、岩崎純也、田中温子、上田敏久、徳安 健、光富 勝                   | 第 25 回キチン・キトサンシンポジウム(奈良県新公会堂) | 大腸菌を用いた抗真菌ペプチド Ac-AMP の菌体外生産   |
| 伊藤直樹、木田徹也、石井啓文、手塚泰久、渡辺英一郎、津谷大樹、稲垣祐次、河江達也、石渡洋一   | 第25回放射光学会年会                   | Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> ナノ粒子の金属絶縁体転移                                      |
| 白石達也、木田徹也、石井啓文、手塚泰久、稲垣祐次、河江達也、石渡洋一              | 第 28 回 PF シンポジウム              | (V <sub>0.99</sub> Cr <sub>0.01</sub> ) <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ナノ粒子の金属絶縁体転移 |
| 玉城沙弥香、大渡啓介、矢島博文、長谷川佑子                           | 第28回希土類討論会                    | ルイス塩基とβ-ジケトンによる協同抽出を利用したランタニド(III)の選択的分離   |
| 高橋良、久木田明子、李銀姫、鮎川保則、古谷野潔、久木田敏夫                   | 第 29 回 日本骨代謝学会                | 破骨前駆細胞間の融合に於ける「膜ナノチューブ」の関与と制御:破骨細胞分化制御の新局面                                       |
| 高野登志雄、李銀姫、久木田明子、山座孝義、鮎川保則、古谷野潔、久木田敏夫            | 第 29 回 日本骨代謝学会                | 間葉系幹細胞による骨破壊制御:アジュバント関節炎ラットを用いた解析  |
| 渡邊敏之、城戸瑞穂、立花克郎、久木田明子、久木田敏夫                      | 第 29 回 日本骨代謝学会                | 低出力パルス超音波は破骨細胞系細胞の増殖を促進する  |
| 李銀姫、久木田明子、屈鵬飛、高野登志雄、實松敬介、二宮祐三、久木田敏夫             | 第 29 回 日本骨代謝学会                | Nordihydroguaiaretic Acid は破骨細胞分化とラットアジュバント関節炎における骨破壊を抑制する                       |

|   |                       |  |
|---|-----------------------|--|
| 石渡洋一, 白石達也, 糸山真央, 今村真幸, 高橋和敏, 鎌田雅夫, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 南任真史, 石橋幸治  | 第 29 回 PF シンポジウム      | V2O3 ナノ結晶の金属絶縁体転移  |
| 大久保文生, 伊藤直樹, 石渡洋一, 今村真幸, 高橋和敏, 鎌田雅夫, 木田徹也, 石井啓文, 手塚泰久, 南任真史, 石橋幸治   | 第 29 回 PF シンポジウム      | Fe3O4 ナノ結晶の金属絶縁体転移   |
| 山隈龍馬, 大渡啓介, 川喜田英孝   | 第29回九州分析化学若手の会 夏季セミナー | 複素環型三脚状分子を用いた貴金属の抽出・分離   |
| 川島 真, 大渡 啓介, 川喜田 英孝   | 第29回九州分析化学若手の会 夏季セミナー | カリックス[4]アレーンカルボン酸誘導体によるアルミ族金属の抽出   |
| 梅木辰也, 金久保光央, 牧野貴至, 鈴木明, 高椋利幸  | 第 2 回イオン液体討論会         | 強塩基+アルコール溶液からの低温廃熱を用いるCO2回収  |
| 牧野貴至, 金久保光央, 梅木辰也, 鈴木明  | 第 2 回イオン液体討論会         | アンモニウム系イオン液体+CO2系のp-V-T関係  |
| 土井寛之, 宋 雪旦, Minofar Babak, 神崎亮, 高椋利幸, 梅林泰宏  | 第 2 回イオン液体討論会, 京都     | N-メチルイミダゾール系プロトン性イオン液体の酸塩基性とイオン伝導性   |
| 甲斐敬太  | 第321回九州・沖縄スライドコンファレンス | 膝腫瘍  |
| 甲斐敬太  | 第324回九州・沖縄スライドコンファレンス | 軟部腫瘍   |
| 蔣 昌宇, 藤田 亜美, 上村 聡子, 水田 恒太郎, 川崎 弘貴, 八坂 敏一, 井上 将成, 熊本 栄一  | 第 33 回日本疼痛学会          | 成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの膜興奮性に及ぼすオキシトシンの作用.   |
| 水田 恒太郎, 藤田 亜美, 蔣 昌宇, 井上 将成, 上村 聡子, 川崎 弘貴, 八坂 敏一, 熊本 栄一  | 第 33 回日本疼痛学会          | 痛み伝達に関与するラット後根神経節ニューロンの活動電位に及ぼすオピオイドの抑制効果.   |
| 川崎 弘貴, 水田 恒太郎, 藤田 亜美, 蔣 昌宇, 上村 聡子, 八坂 敏一, 井上 将成, 熊本 栄一  | 第 33 回日本疼痛学会          | メントールとその関連物質による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制.  |
| 白木綾, 尾山純一, 薦田洋, 佐久間理吏, 浅香真知子, 小松愛子, 野出孝一  | 第 34 回日本高血圧学会総会       | 新規糖尿病治療薬 GLP-1 アナログ・リラグルチドの、血管内皮細胞における抗酸化作用と抗炎症作用  |
| * 岡田純一郎, 東元 健, 八木ひとみ, 芳野 信, 副島英伸, 渡邊順子.   | 第 34 回日本小児遺伝学会学術集会    | p57KIP2(KIP2)の遺伝子変異を認めた Beckwith-Wiedemann 症候群(BWS)の一例.  |
| 井上 将成, 藤田 亜美, 朴 蓮花, 岳 海源, 水田 恒太郎, 蔣 昌宇, 上村 聡子, 楊 柳, 八坂 敏一, 川崎 弘貴, 熊本 栄一   | 第 34 回日本神経科学大会        | ラット脊髄後角ニューロンにおけるグルタミン酸作動性自発性興奮性シナプス伝達のオイゲノールによる促進は TRPA1 チャンネルの活性化による.   |
| 蔣 昌宇, 藤田 亜美, 岳 海源, 楊 柳, 水田 恒太郎, 井上 将成, 上村 聡子, 川崎 弘貴, 八坂 敏一, 朴 蓮花, 熊本 栄一   | 第 34 回日本神経科学大会        | オキシトシンは成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの膜を脱分極させる.   |
| 水田 恒太郎, 藤田 亜美, 蔣 昌宇, 岳 海源, 井上 将成, 楊 柳, 上村 聡子, 川崎 弘貴, 朴 蓮花, 八坂敏一, 熊本 栄一  | 第 34 回日本神経科学大会        | オピオイドは成熟ラット後根神経節ニューロンの活動電位の振幅を減少させる.   |
| 川崎 弘貴, 水田 恒太郎, 藤田 亜美, 井上 将成, 蔣 昌宇, 八坂 敏一, 上村 聡子, 岳 海源, 楊 柳, 熊本 栄一   | 第 34 回日本神経科学大会        | TRPM8 作動薬メントールとp-メントン基を持つその関連物質による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制作用.   |
| 八坂 敏一, 李 明子, 村田 祐造, 藤田 亜美, 増子 貞彦, Todd AJ, 熊本 栄一  | 第 34 回日本神経科学大会        | 新生仔期カプサイシン処置ラットにおいて観察されたC線維の入力を受ける脊髄後角第II層介在神経群.   |
| Higashimoto K, Miyazaki H, Yada Y, Komori T, Matsuda M, Koseki Y, Nakayama M, Soejima H, Handa H, Koseki H, Hirose S, Nishioka K. | 第 34 回日本分子生物学会年会      | Role of Histone H3 Lys36 methylation by Ash11 triggers a regulatory cascade of the chromatin reprogramming that counteracts Polycomb silencing.  |
| Soejima H, Nakabayashi K, Yatsuki H, Jozaki K, Hata K, Higashimoto K.   | 第 34 回日本分子生物学会年会      | Aberrant methylation of H19-DMR acquired after implantation was dissimilar in soma versus placenta of patients with Beckwith-Wiedemann syndrome. |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 下村拓也、井之上紗緒梨、梅木辰也、高<br>椋利幸   | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム                   | ベンゼン誘導体中におけるイオン液体のクラスター<br>形成に対するベンゼン置換基の効果  |
| 金久保光央、遠藤康弘、児玉大輔、<br>Thomas Sonnleitner、Richard Buchner、牧<br>野貴至、梅木辰也、鈴木明  | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム                   | ジグライム+リチウム塩溶液の輸送現象と CO2 吸<br>収特性   |
| 波戸本洋平、戸根川順子、梅木辰也、高<br>椋利幸   | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム                   | 種々のアルコール-水混合溶液中における L-ロイシ<br>ンの溶媒和構造   |
| 梅木辰也、金久保光央、牧野貴至、鈴木<br>明、高椋利幸  | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム                   | DBU-アルコール溶液の CO2 吸収と放散   |
| 牧野貴至、金久保光央、梅木辰也、鈴木<br>明   | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム                   | イオン液体の CO2 吸収特性に及ぼすカチオン種の<br>影響  |
| 下村拓也、井之上紗緒梨、梅木辰也、高<br>椋利幸   | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム、名古屋               | ベンゼン誘導体中におけるイオン液体のクラスター<br>形成に対するベンゼン置換基の効果  |
| 原楨宏樹、下村拓也、高椋利幸  | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム、名古屋               | 7Li, 23Na NMR 法で観測した塩化アルカリ塩誘起に<br>よるアセトニトリル-水混合溶液の相分離  |
| 高椋利幸、和田 浩、川床智恵美、下村拓<br>也、神崎 亮、竹内宗孝  | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム、名古屋               | HFIP-水混合溶液のアミド分子に対する溶媒和と相<br>分離  |
| 杉野公昭、伊藤華苗、麻生真以、吉田亨<br>次、高椋利幸、来田康司、田中俊輔、三宅<br>義和、山口敏男  | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム、名古屋               | メソポーラスシリカ中に閉じ込めたイオン液体の X 線<br>構造解析   |
| 梅木辰也、金久保光央、牧野貴至、鈴木<br>明、高椋利幸  | 第 34 回溶液化学シンポジ<br>ウム、名古屋               | DBU-アルコール溶液の CO2 吸収と放散挙動   |
| 笠井紀貴、花本猛士   | 第 35 回フッ素化学討論会                         | $\beta$ -CF <sub>3</sub> -ビニルスルホニウム塩のシクロプロパン<br>化反応  |
| 青木公一郎、川崎弘貴、花本猛士   | 第 35 回フッ素化学討論会                         | トリフルオロメチル基を有するフェノールの合成   |
| 武廣唯、花本猛士  | 第 35 回フッ素化学討論会                         | CF <sub>3</sub> -N-Ts アジリジンの開環反応   |
| 廣瀧謙亮、花本猛士   | 第 35 回フッ素化学討論会                         | 2-ブロモ-3,3-ジフルオロアリルスルフィドの合成と<br>展開  |
| 後藤健太、永野幸生   | 第 35 回蛋白質と酵素の構<br>造と機能に関する九州シン<br>ポジウム | Invitrogen 社から販売された High-Order Vector<br>Conversion Cassette に対抗する、より優れたシステ<br>ムの開発  |
| 川上竜巳  | 第 35 回蛋白質と酵素の構<br>造と機能に関する九州シン<br>ポジウム | 超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素: 機能、構<br>造と応用   |
| 北村二雄、Mohammad Hasan Morshed、栗<br>木智史、田澤由衣、堀 勇治  | 第 38 回有機典型元素化学<br>討論会                  | ヨードシルベンゼンを用いる簡便フッ素化及び塩素<br>化反応の開発  |
| 野口 亮、中山功一、野出孝一、森田茂樹   | 第 39 回日本血管外科学会<br>学術総会                 | 新しい組織工学技術を用いた自己細胞由来人工血<br>管の作成の可能性   |
| Rachmawati NM, Fukudome K, Tsuneyoshi<br>N, Uleng B, Ohta S, Kimoto M   | 第 40 回日本免疫学会                           | Inhibition of primary but not secondary humoral<br>immune responses by pre-injection of an agonistic<br>anti-TLR4/MD-2 antibody. |
| NAKAMURA Y, YAMAMOTO H,<br>TAKAHASHI Y, ISHII K, ADACHI Y, OHNO<br>N, SAIJO S, IWAKURA Y, HARA H,<br>YAMASAKI S, KAWAKAMI K | 第 40 回日本免疫学会学術<br>集会                   | Limited role of Dectin-2 in the host defense to<br>infection with Cryptococcus neoformans.                                       |
| Taniguchi K, Arima K, Masuoka M, Shiraishi<br>H, Ohta S, Ontsuka K, Suzuki S, Conway<br>SJ, Izuhara K                       | 第 40 回日本免疫学会学術<br>集会                   | ペリオスチンはインターロイキン 6 産生を介して表皮<br>角化細胞の増殖・分化に関与する  |
| YAMAMOTO H, NAKAMURA Y,<br>TAKAHASHI Y, YAMAMOTO N, ISHII K,<br>HARA H, KAWAKAMI K  | 第 40 回日本免疫学会学術<br>集会                   | Indispensable role of CARD9 in the host defense<br>against infection with Cryptococcus neoformans                                |
| 高橋友里、山本秀樹、中村優里、石井恵<br>子、原博満、川上和義  | 第 40 回日本免疫学会学術<br>集会                   | Mycobacterium bovis BCG 感染における Card9 遺<br>伝子欠損の影響  |
| Hara H, Nakaya M, Mi-ichi F, Iizasa E,<br>Adachi Y, Ohno N, Yamasaki S, Yoshida H   | 第 40 回日本免疫学会学術<br>集会                   | Syk-Card9-Bcl10 シグナリングを介した自然免疫の<br>活性化は Leishmania major 感染のコントロールに重<br>要である   |

|  |  |  |
|--|--|--|
| Kurashina R, Denda-Nagai,K, Hara H, Yoshida H, Irhimura, T   | 第 40 回日本免疫学会学術集会                             | 腸管マクロファージにおける C 型レクチン MGL1/CD301a による共生細菌の認識を通しての IL-10 の発現誘導機構  |
| Ozaki N, Sato Y, Kono T, Wex E, Wollin S-L, Schnapp A, Harada Y, Kitamura D, Suzuki S, Encinas J, et al. | 第 40 回日本免疫学会学術集会                             | Postnatal Syk deletion in mice clarifies the function of Syk in an anti-collagen antibody-induced arthritis model. |
| Uematsu T, Kobayashi N, Hara H, Yoshida H  | 第 40 回日本免疫学会学術集会                             | インフルエンザウイルス感染における CARD9 を介した自然免疫応答機構の解析  |
| Yasukawa S, Furue M, Yoshida H, Hara H   | 第 40 回日本免疫学会学術集会                             | アレルギー性接触皮膚炎における CARD9 の役割  |
| Md. Shahajahan Kutubi, 北村二雄  | 第 41 回複素環化学討論会                               | 鉄触媒ヒドロアリアル化反応による 3,3-ビス(インドリル)プロパン酸類の位置選択的合成   |
| Xin-Long Ni・OShi Wang・大和 武彦  | 第 41 回複素環化学討論会<br>熊本市、2010 年 10 月 20 日-22 日  | ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーン類を基体とする蛍光性センサーの開発および評価  |
| 寺東宏明, 徳山由佳, 井上侑子, 平山亮一, 古澤佳也, 井出博  | 第 44 回日本保健物理学会研究発表会                          | 重粒子放射線によって生じる DNA 損傷収率の線質依存性   |
| 寺東宏明, 徳山由佳, 井上侑子, 鈴木克之, 齊藤毅  | 第 46 回京都大学原子炉実験所学術講演会                        | Rubrobacter radiotolerans の放射線抵抗性におけるスーパーオキシドディスムターゼの関与  |
| ○尾崎岩太, 浜島弘史, 夏京合, 高橋宏和, 岩根紳治, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦  | 第 47 回日本肝臓学会総会                               | Novel protein kinase C (PKC) isoform による腫瘍抑制遺伝子 PDCD4 の発現調節  |
| 蔣 昌宇, 藤田 亜美, 柳 涛, 水田 恒太郎, 岳 海源, 熊本 栄一  | 第 48 回ペプチド討論会                                | オキシトシンは成熟雄性ラットの脊髄浅層ニューロンの膜興奮性を増加させる。   |
| 阿南 裕也, 菅 虎雄, 長田 聰史, 児玉 浩明  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | 環状テトラペプチド cyclo(D-Ala-Ala) <sub>2</sub> のイオンチャネル活性とイオン選択性  |
| 沖谷 麻里江, 平 順一, 東元 祐一郎, 長田 聰史, 児玉 浩明   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | ペプチドホルミラーゼ阻害を標的としたバクテリア由来ペプチドの合成   |
| 高島 亮, 長田 聰史, 児玉 浩明   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | fMPL メチオニン残基側鎖ミミックの幾何異性による FPR に対する作用様式の変化   |
| 崎村峻, 成田貴行, 大石祐司  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | 走査型プローブ顕微鏡によるポリエチレン単結晶の形態評価  |
| 山下 亜裕美, 長田 聰史, 児玉 浩明   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | S-S 架橋したチオール系代謝拮抗薬二量体の HL-60 細胞増殖抑制効果  |
| 山口 遼, 杉山 大輔, 長田 聰史, 藤田 一郎, 浜崎 雄平, 児玉 浩明  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | 二量化アゴニストおよびアンタゴニストとホルミルペプチド受容体の相互作用  |
| 松田夏希, 松前治樹, 成田貴行, 鶴田昌之, 大石祐司   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | アルギン酸水溶液のゲル化に伴う凝集と空間パターンの形成  |
| 森田智博 <sup>M</sup> , 山野井健朗 <sup>B</sup> , 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | チタン化合物ナノ構造体薄膜の抗菌機構   |
| 菅 虎雄, 長田 聰史, 児玉 浩明   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | 環状テトラペプチド cyclo(D-Ala-Dap-D-Ala-Dap) によるイオンチャネル形成における分子間水素結合の重要性   |
| 青木公一郎, 川崎弘貴, 花本猛士  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | トリフルオロメチル基を有するフェノール誘導体の合成  |
| 池田 達郎, 緒方 越子, 成田 貴行, 大石 祐司   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | キトサン-フタル酸マイクロカプセルの調製と pH 応答性の評価  |
| 田代 功, 成田 貴行, 大石 祐司   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | 光応答性自律振動ゲルの調製  |
| 内村 恵梨子, 北島 健貴, 山口 遼, 長田 聰史, 藤田 一郎, 浜崎 雄平, 児玉 浩明  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | FPR2 選択的アンタゴニスト WKYMVM の二量化と好中球活性化の架橋鎖依存性  |
| 北島 健貴, 山口 遼, 長田 聰史, 藤田 一郎, 浜崎 雄平, 児玉 浩明  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | Bpa を含む FPR アンタゴニストの合成と生物活性  |
| 木宮 隆行, 川野 貴史, 長田 聰史, 児玉 浩明   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会                           | ジフルオロメチレン基導入試薬の簡易合成とフッ素化アミノ酸合成への適用   |
| 高倉洋一, 尾形尚子, 成田貴行, 大石祐司   | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 2011 年 7 月 9 日 福岡 北九州国際会議 | Poly-(L-lysine-alt-terphthalic acid) マイクロカプセルに現れる自律振動現象の解明   |

|  | 場   |   |
|--|---|---|
| ○田添和也・内川裕生・大和武彦                                  | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | らせん構造を有する[2.n]メタシクロファン類の合成及び構造特性                      |
| ○Bigan Sharma・大和武彦                               | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | ポリメチル置換ジチア[3]メタシクロ[3](1,3)ピレノファンの合成・構造及びスペクトル特性       |
| ○Junghee Do・宮本慎平・大和武彦                            | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | ジチエノチオフェンを基体とする新規拡張 p-共役発光体の合成と光物性                    |
| ○Kwon Hyeokmi・宮本 慎平・大和 武彦                        | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | ラネーNi 合金を用いるベンゾフェノン類の水中での還元反応                         |
| ○Ryu Yi・Xing Feng・大和武彦                           | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | 4,5,9,10-テトラアリアルピレン誘導体の選択的合成とスペクトル特性                  |
| ○Ummey Rayhan・Kwon Hyeokmi・宮本慎平・大和 武彦            | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | ラネーNi 合金を用いるジフェニルアセチレン類の水中での還元反応                      |
| ○Wang Shi・Xin-long Ni・大和 武彦                      | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | 蛍光性ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーンを基体とする リン酸二水素イオンレセプターの合成と評価   |
| ○Xing Feng・Ryu Yi・大和武彦                           | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | ピレンを基体とする新規青色発光有機物質の合成と評価                             |
| ○Xin-long Ni・富安 弘嗣・大和 武彦                         | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | 蛍光性ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーンを基体とする リン酸二水素イオンレセプターの合成と評価   |
| Junghee Do・大森裕美子・宮本慎平・○大和武彦                      | 第 48 回化学関連支部合同九州大会 北九州、2010 年 7 月 7 日             | $\pi$ -共役拡張パラシクロファン類の合成と光物性                           |
| 下村拓也, 井之上紗緒梨, 高椋利幸                               | 第 48 回化学関連支部合同九州大会, 北九州                           | ベンゼン誘導体中におけるイオン液体のクラスター形成                             |
| 原楨宏樹, 下村拓也, 高椋利幸                                 | 第 48 回化学関連支部合同九州大会, 北九州                           | 塩化アルカリ塩添加による水-アセトニトリル混合溶液の相分離                         |
| 波戸本洋平, 戸根川順子, 高椋利幸                               | 第 48 回化学関連支部合同九州大会, 北九州                           | アルコール-水混合溶液中におけるアミノ酸分子の溶媒和構造                          |
| 廣瀧謙亮, 花本猛士                                       | 第 48 回化学関連支部合同大会                                  | 2-ブロモ-3,3,3-トリフルオロプロペンの SN2' 反応                       |
| 大渡啓介, 西山晃平, 定松浩俊, 川喜田英孝                          | 第4回化学工学3支部合同福井大会                                  | カリックス[4]アレーンカルボン酸誘導体によるリチウムの分離                        |
| 中村朝美, 荒金尚子, 岩永健太郎, 小宮一利, 佐藤明美, 林真一郎, 末岡榮三郎, 木村晋也 | 第 52 回日本肺癌学会                                      | 肺癌患者血漿 DNA を用いた EGFR 変異 T790M の全自動検出系の確立              |
| 増田正憲, 甲斐敬太, 明石道昭, 木戸伸一, 高瀬ゆかり, 尾形正也, 永石信二, 徳永藏   | 第 52 回日本臨床細胞学会総会, 日本臨床細胞学会雑誌 50 巻 Suppl.1 Page130 | 細胞診におけるバーチャルスライドの応用: 術中遠隔病理診断 3 年の経験から、術中遠隔細胞診の可能性を探る |
| 金久保光央, 梅木辰也, 牧野貴至, 鈴木明, 桜井誠人                     | 第 53 回宇宙科学技術連合講演会                                 | イオン液体を用いた低エネルギー型 CO2 吸収分離プロセスの開発…宇宙での利用を目指して…         |
| 宮崎利文, 久木田明子, 高橋一郎, 久木田敏夫                         | 第 53 回歯科基礎医学会                                     | 磁場を用いた骨吸収制御法の開発                                       |
| 高橋良, 久木田明子, 李銀姫, 鮎川保則, 古谷野潔, 久木田敏夫               | 第 53 回歯科基礎医学会                                     | 膜ナノチューブによる前破骨細胞融合制御                                   |
| 高野登志雄, 李銀姫, 久木田明子, 山座孝義, 高橋良, 鮎川保則, 古谷野潔, 久木     | 第 53 回歯科基礎医学会                                     | 間葉系間細胞による炎症性骨破壊制御                                     |

|  |                                 |  |
|--|---------------------------------|--|
| 田敏夫  |                                 |  |
| 市木佑佳、瀧川一平、中山浩次、久木田敏夫、久木田明子   | 第 53 回歯科基礎医学会                   | Porphyromonas gingivalis による破骨細胞分化促進作用             |
| 島崎-徳山由佳, 井上侑子, 古澤佳也, 井出博, 寺東宏明   | 第 54 回日本放射線影響学会大会               | 粒子線によって発生する細胞内 DNA 損傷生成率の解析                        |
| 湯川淳一・池長裕史・佐藤信輔・徳田 誠・喜久村智子・上地奈美・松尾和典・三島美佐子・董 景生・白 種哲・任 保青・董 晓宇                              | 第 56 回日本応用動物昆虫学会大会              | クズトガリタマバエの種内グループの分化過程と琉球弧における分布空白地帯                |
| 徳田 誠・松尾和典・湯川淳一・桐谷圭治  | 第 56 回日本応用動物昆虫学会大会              | 三宅島における火山活動がシロダモタマバエ個体群に及ぼした影響                     |
| 成田貴行、大石祐司、大西勇、鴫田昌之   | 第 59 回レオロジー討論会                  | カルシウムイオンの拡散によって生じるアルギン酸ゲルのパターン形成                   |
| 江良正直、坂口幸一、安田剛  | 第 59 回応用物理学関連連合講演会              | Regioregular チオフェンオリゴマーを有するポリフルオレン誘導体の分子構造と電界効果移動度 |
| 江良正直、徳久博昭^D  | 第 59 回応用物理学関連連合講演会              | オキサジアゾール誘導体の電子移動度の Small Polaron model による解析       |
| 野出孝一、兒玉和久、尾山純一   | 第 59 回日本心臓病学会学術集会 (パネルディスカッション) | 循環器診療におけるインクレチンの役割                                 |
| 尾山純一、野出孝一  | 第 59 回日本心臓病学会学術集会 (パネルディスカッション) | 慢性腎臓病における貧血と心疾患                                    |
| 山田秀人・小島健太郎・鎌滝晋礼・徳田誠・藤原智子・淵田吉男  | 第 60 回九州地区大学一般教育研究協議会           | 文系学生の科学リテラシー育成を目的とした自然科学実験教材の検討と教育実践               |
| 吉田 龍・山田 泰教・鯉川 雅之・時井 直  | 第 61 回錯体化学討論会                   | カルボキシラト架橋を含むオキソバナジウム(IV)二核錯体の構造と性質                 |
| 森永耕輔 武藤誠浩 鯉川雅之 山田泰教 時井直  | 第 61 回錯体化学討論会                   | 環状三核錯体によるカプセル状分子集合体の構築                             |
| 村岡 和人・武藤 誠浩・山田 泰教・鯉川雅之・時井 直  | 第 61 回錯体化学討論会                   | ONO 三座配位子による三核 Mn 及び Co 錯体の構造と磁氣的性質                |
| 蓮尾 卓之・山下 令一郎・山田 泰教・鯉川 雅之・時井 直  | 第 61 回錯体化学討論会                   | 長鎖構造を持つ四座配位子を用いた多核錯体の構造と磁氣的性質                      |
| 吉田 龍, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井 直   | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | カルボキシラト架橋を含むオキソバナジウム(IV)二核錯体の構造と性質                 |
| 篠崎信也, 鯉川雅之, 時井 直, 山田泰教   | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | 擬鏡像性硫黄架橋複核錯体間の集積化と CD 特性                           |
| 森永耕輔, 武藤誠浩, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井 直   | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | 環状三核錯体によるカプセル状分子集合体の構築                             |
| 村岡和人, 武藤誠浩, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井 直   | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | ONO 三座配位子による三核 Mn 及び Co 錯体の構造と磁氣的性質                |
| 長崎俊弘, 鯉川雅之, 時井 直, 山田泰教   | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | ペニシラミンとビス(ピリジルメチル)アミンを混合配位した光学活性コバルト(III)錯体の構造と性質  |
| 島田優介, 時井 直, 鯉川雅之, 山田泰教   | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | 光学活性アミンから誘導される二座配位子を用いた金属錯体の合成と性質                  |
| 蓮尾卓之, 山下令一郎, 山田泰教, 鯉川雅之, 時井 直  | 第 61 回錯体化学討論会, 岡山               | 長鎖構造を持つ四座配位子を用いた多核錯体の構造と磁氣的性質                      |
| 松原 篤, 西澤尚徳, 高畑淳子, 太田昭一郎, 出原賢治  | 第 61 回日本アレルギー学会秋季学術大会           | 好酸球性中耳炎における Periostin.                             |
| 續 啓史, 有信洋二郎, 太田昭一郎, 出原賢治, 大田俊一郎, Jabbarzadeh Tabrizi Siamak, 井上 靖, 新納宏昭, 塚本 浩, 堀内孝彦, 赤司浩一. | 第 61 回日本アレルギー学会秋季学術大会           | 好酸球前駆細胞特異的な IL-25 受容体発現の意義の解明.                     |
| 井上 将成, 藤田 亜美, 水田 恒太郎, 上村 聡子, 蔭 昌宇, 八坂 敏一, 柳 涛, 熊本 栄一                                       | 第 62 回西日本生理学会                   | 成熟ラット脊髄膠様質の TRPA1 活性化を介したオイゲノールによる自発性グルタミン酸放出の促進.  |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 塩谷 孝夫   | 第 62 回西日本生理学会   | マウス心筋 NCX 電流の細胞内カルシウム緩衝能依<br>存性  |
| 上村 聡子、藤田 亜美、八坂 敏一、蔭<br>昌宇、水田 恒太郎、川崎 弘貴、井上 将<br>成、熊本 栄一  | 第 62 回西日本生理学会   | 新しいベンゾジアゼピン受容体作動薬 JM1232(-)は<br>成熟ラット脊髄後角ニューロンの抑制性シナプス伝<br>達を促進する.                     |
| 水田 恒太郎、藤田 亜美、蔭 昌宇、井上<br>将成、上村 聡子、徐 年香、川崎 弘貴、<br>松下 晋大、八坂 敏一、柳 涛、熊本 栄<br>一                                 | 第 62 回西日本生理学会   | ラット後根神経節ニューロンにおける活動電位のオ<br>ピオイドによる抑制.  |
| 川崎 弘貴、水田 恒太郎、藤田 亜美、蔭<br>昌宇、上村 聡子、八坂 敏一、井上 将<br>成、松下 晋大、熊本 栄一  | 第 62 回西日本生理学会   | 蛙坐骨神経の複合活動電位に対するメントールの<br>抑制作用.  |
| 八坂 敏一、Tiong SYX、Polgár E、藤田 亜<br>美、熊本 栄一、Todd AJ  | 第 62 回西日本生理学会   | 脊髄後角膠様質興奮性介在ニューロンと非侵害受<br>容神経終末間コンタクトの解析.  |
| 楊 柳、藤田 亜美、蔭 昌宇、水田 恒太<br>郎、井上 将成、上村 聡子、八坂 敏一、<br>柳 涛、徐 年香、熊本 栄一  | 第 62 回西日本生理学会   | 成熟ラット脊髄後角膠様質ニューロンの自発性興奮<br>性シナプス伝達に対するピペリンとオルバニルの作<br>用.                               |
| 高倉 洋一、尾形 尚子、成田 貴行、大石<br>祐司  | 第 63 回コロイドおよび界面<br>化学討論会                                      | ポリリン-テレフタル酸マイクロカプセルに現れる<br>体積自律振動現象  |
| 黒田 修未、瀬戸 洋繁、成田 貴行、大石<br>祐司  | 第 63 回コロイドおよび界面<br>化学討論会                                      | リポソーム内外の pH 及びイオン強度差が与える<br>DOPC 脂質二分子膜リポソームの変形  |
| 田代 功、成田 貴行、大石 祐司  | 第 63 回コロイドおよび界面<br>化学討論会                                      | 光-熱変換能を有するポリアクリルアミドゲルの自律<br>的体積振動現象  |
| 平松 健児、有田 寛、成田 貴行、高原<br>淳、江良 正直、大石 祐司  | 第 63 回コロイドおよび界面<br>化学討論会                                      | X 線反射率測定と原子間力顕微鏡観察による鉛系<br>脂肪族アミンペロブスカイト LB 膜の分子凝集構造                                   |
| Udo K, Nanri M, Satoh Y, Tokuda Y,<br>Noguchi M, Uozumi J   | 第 63 回日本泌尿器科学会<br>西日本総会. 特別企画ヤ<br>ングウロロジストリサーチコ<br>ンテスト. 西日泌尿 | The interaction between adipose tissue and renal<br>tubular epithelial cells in vitro. |
| 加藤剛、高橋浩一郎、林真一郎  | 第 67 回日本呼吸器学会九<br>州支部秋季学術講演会                                  | 慢性気流制限を伴う気管支喘息患者の背景因子の<br>解析   |
| 穴井豊昭、井上大輔、古賀晴香  | 第 6 回九州育種談話会  | 大豆品種「トヨシロメ」に見出された高シヨ糖遺伝子<br>の特性  |
| 庄山亜矢子、穴井豊昭  | 第 6 回九州育種談話会  | TILLING 法によるダイズ青色光受容体 CRY1 突然変<br>異体の単離  |
| 上原誉史、穴井豊昭   | 第 6 回九州育種談話会  | TILLING 法によるダイズ GmPhyA1 突然変異体の単<br>離とその開花に及ぼす影響  |
| 末岡榮三朗、久富崇、荒金尚子、木村晋也   | 第 70 回日本癌学会学術総<br>会   | DNA repair as a molecular target for cancer<br>treatment                               |
| Yoshimura M, Itamura H, Urata C, Hisatomi<br>T, Kubota Y, Fukushima N, Sueoka E,<br>Ichinohe T, Kimura S. | 第 73 回日本血液学会  | The influence of abl tyrosine kinase inhibitors on<br>pulmonary alveolar proteinosis   |
| Noguchi R, Nakayama K, Yanagi K, Node K,<br>Morita S  | 第 75 回日本循環器学会総<br>会   | Nobel technology for fabricate 3-dimensional<br>pulsatile cardiac graft                |
| ○Xin-long Ni・Wang Shi・大和 武彦   | 第 7 回ホスト・ゲスト化学シ<br>ンポジウム、広島大学、<br>2011 年 5 月 28-29 日          | 蛍光性ヘキサホモトリオキサリックス[3]アレーン<br>の合成と金属イオン錯体形成能の評価  |
| 見市文香、原博満、吉田裕樹   | 第 80 回日本寄生虫学会大<br>会・第 22 回日本臨床寄生<br>虫学会大会                     | Trypanosoma cruzi 感染における新規自然免疫制御<br>分子 CARD9 の役割の解明                                    |
| 原博満、中谷真子、見市文香、吉田裕樹  | 第 80 回日本寄生虫学会大<br>会・第 22 回日本臨床寄生<br>虫学会大会                     | リーシュマニア原虫に対する自然免疫機構の解明   |
| 山本秀樹、高橋友里恵、中村優里、石井<br>恵子、原博満、川上和義   | 第 81 回実験結核研究会   | Mycobacterium bovis BCG 感染における Card9 遺伝<br>子欠損の影響                                      |
| 神代 瞬・松倉啓一郎・松村正哉・徳田 誠  | 第 82 回九州病害虫研究会<br>研究発表会                                       | フタテンチビヨコバイにおける産卵嗜好性と発育パフ<br>ォーマンス  |

|  |   |  |
|--|---|--|
| 徳田雄治, 有働和馬, 生駒彩, 柿木寛明, 富山裕介, 中尾孝子, 中島啓二, 佐藤勇司, 野口満, 魚住二郎 | 第 99 回日本泌尿器科学会<br>総会. 日泌尿会誌                               | 当院における前立腺がん Active Surveillance(AS)の<br>施行実態の検討.   |
| 中村朝美, 荒金尚子, 岩永健太郎, 小宮一利, 佐藤明美, 林真一郎, 末岡榮三郎, 木村晋也         | 第 9 回日本臨床腫瘍学会   | 肺癌患者血漿 DNA を用いた EGFR 変異 T790M の<br>全自動検出系の確立   |
| 井上 大誠, 田邊 浩嵩, 中村 博吉, 野口 英行                               | 電気化学会第78回大会   | 異種金属ドーブ Li <sub>2</sub> MnO <sub>3</sub> -LiMO <sub>2</sub> (M=Co, Ni, Mn)系正<br>極材料の電気化学特性 |
| 木戸 玄德, 趙 文文, 中村 博吉, 野口 英行                                | 電気化学会第78回大会   | 中和グラフェンオキシサイドのEDLC挙動の解明  |
| 副島英伸   | 島根大学医学部第 45 回病<br>態生化学セミナー                                | インプリンティング疾患 Beckwith-Wiedemann 症候<br>群の分子機構とゲノム・エピゲノム解析                                    |
| 増田正憲, 甲斐敬太, 明石道昭, 木戸伸一, 高瀬ゆかり, 尾形正也, 永石信二, 徳永藏           | 日本テレパソロジー・バー<br>チャルマイクロスコープ研<br>究会プログラム・抄録集<br>24P        | バーチャルスライドによる術中遠隔病理診断、3 年<br>間の経験と今後の展望   |
| 吉田圭祐・川浦香奈子・徳田 誠・神代瞬・松倉啓一郎・松村正哉・軸丸裕介・萩原保成                 | 日本育種学会第 120 回講<br>演会                                      | オオムギ染色体導入コムギを用いたゴール形成昆<br>虫の寄主反応に関わる遺伝子の探索2  |
| ○田中徹哉・富安弘嗣・ニー シンノン・大和武彦                                  | 日本化学会第 91 回春季年<br>会<br>神奈川県(横浜市)、<br>2011 年 3 月 28 日-30 日 | アミドウレア部位を持つチアカリックス[4]アレーン誘<br>導体の合成とイオン認識  |
| ○宮本 慎平、都 貞喜、堀口 洋介、大和 武彦                                  | 日本化学会第 91 回春季年<br>会<br>神奈川県(横浜市)、<br>2011 年 3 月 28 日-30 日 | π-共役拡張パラシクロファン類の合成と光物性   |
| ○田添和也・内川裕生・大和武彦  | 日本化学会第 91 回春季年<br>会<br>神奈川県(横浜市)、<br>2011 年 3 月 28 日-30 日 | 1,2-ジメチレン[2.n]メタシクロファン類の合成・構造<br>および反応性  |
| ○都 貞喜、宮本 慎平、大和 武彦  | 日本化学会第 91 回春季年<br>会<br>神奈川県(横浜市)、<br>2011 年 3 月 28 日-30 日 | ジチエノチオフェンを基体とする新規拡張 p-共役発<br>光体の合成と光物性   |
| ○権 赫美、宮本 慎平、大和 武彦  | 日本化学会第 91 回春季年<br>会<br>神奈川県(横浜市)、<br>2011 年 3 月 28 日-30 日 | ラネー-Ni 合金を用いる芳香族化合物の水溶液中での<br>還元反応   |
| フェン シン・宮本 慎平・長野 浩貴・○大和武彦                                 | 日本化学会第 91 回春季年<br>会<br>神奈川県(横浜市)、<br>2011 年 3 月 28 日-30 日 | 4,5,9,10-テトラアリアルピレン誘導体の選択的合成<br>とスペクトル特性   |
| 阿南 裕也・菅 虎雄・長田 聡史・兒玉 浩明                                   | 日本化学会第 92 春季年会  | イオンチャネル形成における環状テトラペプチドの<br>側鎖電荷の影響   |
| 沖谷 麻里江・林 良・北村 裕美・城野 竜彦・平 順一・東元 祐一郎, 長田 聡史・兒玉 浩明          | 日本化学会第 92 春季年会  | バクテリア由来ペプチド修飾型 EcPDF 阻害剤の合<br>成と活性評価   |
| 権藤圭祐、北村二雄  | 日本化学会第 92 春季年会  | 安定ヨードニウムイリドとフッ化水素類の反応  |
| 高倉洋一・尾形尚子・成田貴行・大石祐司                                      | 日本化学会第 92 春季年会  | Poly(L-lysine-alt-terephthalic acid) マイクロカプセル<br>に現れる自律振動現象と芯物質放出挙動                        |
| 崎村峻・成田貴行・大石祐司  | 日本化学会第 92 春季年会  | AFM 観察に基づくポリエチレン単結晶形態に及ぼ<br>す結晶化条件の影響  |
| 山下 亜裕美, 長田 聡史・兒玉 浩明・坂本 瞳                                 | 日本化学会第 92 春季年会  | チオール系 HDAC 阻害剤の二重標的保護化   |
| 小林壮一、北村二雄  | 日本化学会第 92 春季年会  | 分子内ヒドロアリアル化によるピラノクマリン誘導体<br>の合成  |

|   |                                       |   |
|---|---------------------------------------|---|
| 松田夏希・松前治樹・成田貴行・鶴田昌之・大石祐司  | 日本化学会第 92 春季年会                        | アルギン酸ゲルに形成される空間パターンのダイナミクス観察  |
| 菅 虎雄・長田 聡史・兒玉 浩明  | 日本化学会第 92 春季年会                        | Lys ベースの超分子ハイドロゲルによる細胞接着  |
| 池田達郎・田代功・成田貴行・大石祐司  | 日本化学会第 92 春季年会                        | 温度応答性ゲルの光-熱変換効率転移を利用した自律振動システム的设计   |
| 塚本枝理・平松健児・成田貴行・江良正直・大石祐司  | 日本化学会第 92 春季年会                        | 脂肪族アミンを用いた鉛系ペロブスカイト形成における水相成分の役割  |
| 平野隆晶・瀬戸洋繁・生貝初・成田貴行・大石祐司   | 日本化学会第 92 春季年会                        | PBS 上での DMPC/コレステロール脂質単分子膜に対するコレラ菌溶血毒作用の表面圧依存性  |
| 田中智和, 中村淳, 北島吉彦, 甲斐敬太, 三宅修輔, 井手貴雄, 古賀靖大, 能城浩和   | 日本外科学会雑誌.112 巻臨増 1-2. Page845.        | 進行胃癌の予後における TFF1 発現の意義  |
| 北島吉彦, 三宅修輔, 中村淳, 甲斐敬太, 柳原五吉, 田中智和, 井手貴雄, 古賀靖大, 能城浩和   | 日本癌学会総会記事 (0546-0476)70 回 Page289-290 | ヌードマウス自然転移モデルにおいて HIF-1 $\alpha$ 発現欠失はスキルス胃癌の腹膜播種転移を抑制する  |
| 井手貴雄, リー・サム, 甲斐敬太, 能城浩和   | 日本癌学会総会記事 (0546-0476)70 回 Page422     | 進行胃癌の予後における TFF1 発現の意義とその制御機構   |
| 竹澤俊明, 青木茂久, 岡本愛, 山口宏之, 成澤寛, 戸田修二  | 日本結合組織学会学術大会・マトリックス研究会大会合同学術集会        | 高密度コラーゲン線維の新素材 コラーゲンビトリゲルの乾燥膜と培養チャンパー   |
| 松尾和典・徳田 誠・湯川淳一・桐谷圭治   | 日本昆虫学会九州支部第 59 回大会                    | 伊豆諸島のタマバエ相(ハエ目:タマバエ科)   |
| 菅野一輝・西田 伸・高野俊一郎・中村達・望月 淳・高須啓志・徳田 誠  | 日本昆虫学会九州支部第 59 回大会                    | 侵入害虫キムネクロナガハムシの琉球列島個体群は複数起源か? -マイクロサテライト DNA 解析による起源集団の推定(予報)-  |
| 徳田 誠・湯川淳一・三島美佐子・須山知香・Mantu Bhuyan   | 日本昆虫学会九州支部第 59 回大会                    | インドでタブノキ属を寄主とする Daphnephila 属タマバエとそのゴール形状について   |
| 松尾和典・上地奈美・徳田 誠・湯川淳一   | 日本昆虫学会第 71 回大会                        | ダイズサヤタマバエ(ハエ目:タマバエ科)に寄生するヒメコバチ(ハチ目:ヒメコバチ科)の分類学的再検討, および, 生活史に関する考察                                      |
| 湯川淳一・佐藤信輔・徳田 誠・徐 環李   | 日本昆虫学会第 71 回大会                        | 最近の研究成果に基づく Resseliella 属タマバエ類(ハエ目:タマバエ科)の分類と生態   |
| 藤井智久・松尾和典・阿部芳久・湯川淳一・徳田 誠  | 日本昆虫学会第 71 回大会                        | 植物形態操作を介したハラビロクロバチの一種による高次捕食寄生回避戦略  |
| 徳田 誠・田中誠二・原野健一・川浦香奈子・荻原保成   | 日本昆虫学会第 71 回大会                        | コムギへのオオムギ染色体導入がトノサマバタ幼虫の選好性と発育に及ぼす影響  |
| 松尾和典・徳田 誠・上地奈美・湯川淳一   | 日本昆虫学会第 71 回大会(小集会)                   | ハリオタマバエ族(ハエ目:タマバエ科)の寄生蜂の寄主範囲と寄生戦略   |
| 徳田 誠  | 日本昆虫学会第 71 回大会(小集会)                   | ゴール形成昆虫による植物細胞の延命・生長・増殖制御のメカニズム   |
| 畠山友翔・野瀬昭博   | 日本作物学会紀事                              | デンドロビウム属のミトコンドリア呼吸特性に関する研究  |
| 谷口一登, 青木茂久, 出原賢治, 山本修一, 人見会美子, 稲田由紀子, 浜崎雄平  | 日本小児科学会                               | マウス初代気道上皮細胞培養法の開発 気管支喘息における気道リモデリングの機序解明をめざして   |
| 中村淳, 北島吉彦, 甲斐敬太, 平木将紹, 橋口和義, 能城浩和, 宮崎耕治   | 日本消化器外科学会総会 65 回 Page159              | 胃癌における HIF-1 $\alpha$ 及び DNA メチル化を介した CA9 発現調節と化学療法抵抗性についての検討   |
| 佐々木真^M, 堀江健太^M, 元村沙織^M, 平田みよ^M, 小林元太, 稲橋正明, 大場孝宏, 末永光, 佐藤真佐恵, 鶴田裕美, 柘植圭介, 吉村臣史, 小金丸和義, 北垣浩志 | 日本醸造学会                                | ミトコンドリア輸送をターゲットに育種した酵母の工場規模でのピルビン酸、 $\alpha$ -アセト乳酸の低減  |
| 蒔田芳男, 副島英伸  | 日本人類遺伝学会第 56 回大会 第 11 回東アジア人類遺伝学会     | Hemihypertrophy における 11 番染色体短腕 BWS 領域の異常について.   |
| 副島英伸, 城崎幸介, 八木ひとみ, 前田寿幸, 大塚泰史, 東元 健.  | 日本人類遺伝学会第 56 回大会 第 11 回東アジア人類遺伝学会     | 本邦 Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像とゲノム・エピゲノム解析. 180 超例の解析により明らかとなった本邦 Beckwith-Wiedemann 症候群の臨床像とゲノム・エピゲノム変異 |

|  |  |  |
|--|--|--|
| ラヒル N ジャヤコディー ^D、堀江健太^M、林信行、北垣浩志                                 | 日本生物工学会                                  | バイオエタノール製造時の新たな発酵阻害物質グリコールアルデヒド; 他の阻害物との比較と耐性株の育種    |
| 塩谷 孝夫  | 日本生理学雑誌                                  | マウス心筋 NCX 電流の細胞内カルシウム緩衝能依存性                          |
| 小原瑛子、城崎幸介、重松和子、上西博英、和田康彦   | 日本畜産学会                                   | ブタ全長 cDNA ライブラリからの LILR 遺伝子群の単離                      |
| 松田莉朋、仁田坂俊輔、砂川知絵子、松田智恵、和田康彦                                       | 日本畜産学会                                   | 44k マイクロアレイを用いた烏骨鶏 4 日胚および 5 日胚における網羅的遺伝子発現解析        |
| 久保田玲奈、高浜祥紀、麻生茂幸、今泉宏、山上仰、佐藤克久、東房健一、染谷孝、井上興一、上野大介                  | 日本土壌肥料学会九州支部会、福岡、4 月、2011 年              | 食品廃棄物を用いた家禽用高品質発酵飼料における香気成分の解析                       |
| 溝上耕子、山口美穂、大窪かおり、上野大介、染谷孝、井上興一                                    | 日本土壌肥料学会九州支部会、福岡、4 月、2011 年              | 数種の希少元素に対する葉菜類の吸収・移行および生育応答                          |
| 青木茂久、牧野順一、野口満、戸田修二   | 日本透析医学会                                  | 流体刺激は腹膜中皮細胞の MAPK 系の抑制と、EMT を介して腹膜線維化を促進する           |
| 徳永藏、増田正憲、甲斐敬太、高瀬ゆかり、明石道昭、木戸伸一                                    | 日本日本テレパソロジー・バーチャルマイクロコピー研究会プログラム・抄録集 22P | バーチャルスライド(VS)病理診断と教育への応用: デジタルパソロジー実習と今後の展望          |
| 永野 幸生、飯笹 英一  | 日本農芸化学会 2011 年度大会                        | 日常的に使うプラスミドベクターを酵母 in vivo クローニング法に適合させる簡便なシステムの開発   |
| 後藤健太、永野幸生  | 日本農芸化学会 2012 年度大会                        | 高効率な DNA クローニング法                                     |
| 川上 竜巳、櫻庭 春彦、大島 敏久  | 日本農芸化学会 2012 年度大会                        | 超好熱アーキア Pyrococcus horikoshii による D-アミノ酸の代謝          |
| 川上竜巳、櫻庭春彦、大島敏久   | 日本農芸化学会西日本支部大会                           | 超好熱アーキアのプロリン脱水素酵素複合体における触媒サブユニットの解析                  |
| 石渡洋一、白石達也、末廣智、木田徹也、石井啓文、手塚泰久、渡辺英一郎、津谷大樹、稲垣祐次、河江達也                | 日本物理学会 2011 年秋季大会                        | Cr ドープ V2O3 ナノ粒子の金属絶縁体転移                             |
| 真木 一、竹村優治、西寄照和、小林典男  | 日本物理学会 2011 年秋季大会                        | ミスフィットコバルト酸化物[Bi2M2O4]qCoO2 における電荷秩序形成—STM/STS 測定から— |
| 雪竹央乃、竹村優治、真木 一、西寄照和、小林典男   | 日本物理学会 2011 年秋季大会                        | ライトリードープ域 Bi2Sr2DyCu2O8+δ の面内複素誘電率の測定                |
| 竹村優治、高倉将一、真木 一   | 日本物理学会 2011 年秋季大会                        | ミスフィットコバルト酸化物[Bi2M2O4]qCoO2 における電荷秩序形成—複素誘電率の測定から—   |
| 石渡洋一、白石達也、糸山真央、今村真幸、高橋和敏、鎌田雅夫、木田徹也、石井啓文、手塚泰久、稲垣祐次、河江達也、南任真史、石橋幸治 | 日本物理学会第 67 回年次大会                         | Ti ドープ V2O3 ナノ結晶の金属絶縁体転移                             |
| 垣内好信、平川奈緒美、森本正敏  | 日本麻酔科学会 第 58 回学術集会                       | 脊髄電気刺激療法の鎮痛機序解明に向けて。                                 |
| 上村裕平、前田祥範、木下麻悠子、仁田亜由美、山田友子、平川奈緒美                                 | 日本麻酔科学会 第 58 回学術集会                       | 経皮的ラジオ波焼灼術(RFA)における麻酔法の検討 —レミフェンタニルとフェンタニルの比較—       |
| 中山宏道、鮫島隆一郎、井久保丹、田淵正延、湯ノ谷誠二、甲斐敬太、明石道昭、木戸伸一、徳永藏                    | 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)72 巻増刊 Page749     | 当院における遠隔病理診断による術中迅速診断症例の検討                           |
| 甲斐敬太、増田正憲、明石道昭、中村光男、次富久之、徳永藏                                     | 日本臨床細胞学会雑誌 50 巻 Suppl.2 Page523          | 胆管肉腫様癌の細胞像と組織像                                       |
| 甲斐敬太、田淵正延、永石信二、尾形正也、徳永藏  | 日本臨床細胞学会雑誌 50 巻 Suppl.2 Page523          | 乳腺原発扁平上皮癌の穿刺吸引細胞診についての検討                             |
| 児玉大輔、金久保光央、橋本諭、牧野貴至、梅木辰也、鈴木明                                     | 分離技術会年会 2011                             | グライム-リチウム錯塩溶液の二酸化炭素溶解度                               |
| 坂口幸一、館林慎二、藤戸昭徳、滝澤登、江良正直  | 平成 23 年度応用物理学会九州支部学術講演会                  | 酸化グラフェンの粒子サイズ評価                                      |

|  |   |  |
|--|---|--|
| 熊本 栄一、藤田 亜美、岳 海源、井上 将成、楊 柳、蔣 昌宇、徐 年香、柳 涛、水田 恒太郎、川崎 弘貴、松下 晋大                | 平成 23 年度生理研研究会<br>「シナプス伝達 の概念志向<br>型研究」                   | 植物由来の生理活性物質によるラット脊髄後角ニューロンへの自発性グルタミン酸放出促進-TRP チャネルの関与. |
| 熊本 栄一、楊 柳、岳 海源、井上 将成、藤田 亜美、朴 蓮花、蔣 昌宇、八坂 敏一、川崎 弘貴、水田 恒太郎                    | 平成 23 年度生理研研究会<br>「第 7 回 TRP チャネル研究会」                     | ラット脊髄後角表層の神経終末におけるグルタミン酸自発放出の促進に働く TRP チャネル.           |
| 熊本 栄一、蔣 昌宇、藤田 亜美、柳 涛、徐 年香、水田 恒太郎、井上 将成、川崎 弘貴、八坂 敏一、上村 聡子、松下 晋大             | 平成 23 年度生理研研究会<br>「痛み の病態生理と神経・<br>分子機構」                  | 成熟ラットの脊髄後角における痛み伝達制御におけるオキシトシンの役割.                     |
| 八坂 敏一、Tiong SYX、Polgár E、藤田 亜美、熊本 栄一、Todd AJ                               | 平成 23 年度生理研研究会<br>「痛み の病態生理と神経・<br>分子機構」                  | 脊髄後角における非侵害受容性神経終末 - II 層興奮性介在細胞コンタクトの解析.              |
| 江良正直、徳久博昭  | 平成 23 年度電気情報通信<br>学会研究会                                   | オキサジアゾール骨格を有する高移動度 n-型有機半導体の分子設計                       |
| 古賀美里、甲斐俊一、永尾晃治、柳田晃良  | 平成 23 年度日本栄養・食糧<br>学会九州・沖縄支部および<br>日本食品科学工学会西<br>日本支部合同大会 | リン脂質の塩基部分含有食が肥満ラットの病態発症に及ぼす影                           |
| 松本明子、甲斐俊一、永尾晃治、柳田晃良  | 平成 23 年度日本栄養・食糧<br>学会九州・沖縄支部および<br>日本食品科学工学会西<br>日本支部合同大会 | 分離大豆たんぱく質摂取が脂肪萎縮症モデル動物の脂肪肝発症に及ぼす影響                     |
| 陣内智行、甲斐俊一、永尾晃治、柳田晃良  | 平成 23 年度日本栄養・食糧<br>学会九州・沖縄支部および<br>日本食品科学工学会西<br>日本支部合同大会 | レスベラトロールが肥満モデルラットのエネルギー代謝に及ぼす影響                        |
| 白石彩、森田有紀子、甲斐俊一、永尾晃治、柳田晃良、門岡幸生、城内文吾、佐藤匡央                                    | 平成 23 年度日本栄養・食糧<br>学会九州・沖縄支部および<br>日本食品科学工学会西<br>日本支部合同大会 | Lactobacillus gasseri SBT 2055 による抗肥満作用機序の解明           |
| 迫尾昌美、甲斐俊一、永尾晃治、小島浩一、永井利治、柳田晃良  | 平成 23 年度日本栄養・食糧<br>学会九州・沖縄支部および<br>日本食品科学工学会西<br>日本支部合同大会 | オゾン化脂質摂取が肥満ラットの病態発症に及ぼす影響                              |
| 後藤健太、永野幸生  | 平成 23 年度日本生化学会<br>九州支部例会                                  | 日常的に使うプラスミドを酵母リコンビニアリング法に適合させるシステムの改良                  |
| 三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生  | 平成 23 年度日本生化学会<br>九州支部例会                                  | カンキツにおける開花制御モデルの検討                                     |
| 後藤健太、永野幸生  | 平成 23 年度日本農芸化学<br>会西日本支部・中四国支部<br>合同大会                    | 日常的によく使われるプラスミドを酵母 in vivo クローニング法に適合させるシステム           |
| 三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生  | 平成 23 年度日本農芸化学<br>会西日本支部・中四国支部<br>合同大会                    | カンキツとシロイヌナズナの開花制御モデルの比較                                |
| 関 清彦、松尾創太、空田保宏、上田敏久、光富 勝   | 平成 23 年度日本農芸化学<br>会西日本支部・中四国支部<br>合同大会(宮崎大学)              | 抗真菌ペプチド Cq-AFP の大腸菌による発現                               |
| 井上侑子、松下裕也 <sup>B</sup> 、井上清志 <sup>B</sup> 、鳥飼紀雄、渡孝則、矢田光徳                   | 無機マテリアル学会第 123<br>回学術講演会                                  | リン酸チタニウムナノ構造体薄膜の構造制御                                   |
| 首藤陽 <sup>M</sup> 、深川翔太 <sup>M</sup> 、吉川宏祐 <sup>M</sup> 、井上侑子、鳥飼紀雄、渡孝則、矢田光徳 | 無機マテリアル学会第 123<br>回学術講演会                                  | 水熱転写法による各種基材上へのチタン化合物ナノ構造体薄膜の形成と特性                     |
| 明渡邦夫、坂口幸一  | 有機センシングデバイス研<br>究会 第 8 回 研究会                              | フレキシブル有機 EL の長寿命化                                      |
| 久富崇、板村英和、吉村麻里子、横尾眞子、出勝、久保田寧、福島伯泰、一戸辰夫、木村晋也、末岡榮三朗                           | 臨床血液  | 造血器腫瘍に合併した DIC に対する rTM の有効性                           |

| 受賞(学外) |                                |  |           |
|--------|--------------------------------|--|-----------|
| 受賞者名   | 名称                             | 受賞の対象となった成果の概要   | 表彰団体      |
| 青木茂久   | 日本腹膜透析医学会 Young Investigator 賞 | Fluid Flow Stress Affects Peritoneal Cell Kinetics: A novel peritoneal fibrosis model in vitro | 日本腹膜透析医学会 |
| 古舘 晃   | Case Report Award 優秀賞          |  | 日本循環器学会   |
| 諸隈宏之   | OPCAB コンテスト 三位                 |  | 日本冠動脈外科学会 |
| 徳田 誠   | 2011 年度日本昆虫学会若手奨励賞             | 植食性昆虫の系統分類学および進化生態学的研究   | 日本昆虫学会    |

| 知的財産権の出願等(著作権は除く)                        |                   |  |
|--|-------------------|--|
| 出願者名                                     | 名称等               | 出願の内容  |
| 花本猛士                                     | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 新規なスルホニウム塩、その製造方法及びその用途                                  |
| 丸山昌利、野田恵司、樽澤祐季、西島義明、金久保光央、牧野貴至、梅木辰也、南条弘  | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | ガス分離回収装置及びガス分離回収方法                                       |
| 金久保光央、牧野貴至、梅木辰也、桜井誠人、大西充                 | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | イオン液体を用いた環境浄化方法およびその装置                                   |
| 鯉川雅之                                     | その他の創造的活動         | 磁化率解析プログラム BESTFIT の開発                                   |
| 酸性ガス吸収液及び該酸性ガス吸収液を用いる酸性ガスの選択的分離回収法       | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 牧野貴至、金久保光央、梅木辰也、岩崎克浩                                     |
| 成田貴行、大石祐司、田代功                            | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 自発振動ゲル、それを用いたアクチュエータ、および当該アクチュエータの駆動方法                   |
| 太田昭一郎、出原賢治、有馬和彦、鈴木章一、白石裕士                | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 気管支喘息の予防又は治療薬及びそのスクリーニング方法                               |
| 太田昭一郎、出原賢治、有馬和彦、鈴木章一、白石裕士、星野友昭、東義則、小野純也  | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | ペリオスチンの特定領域に結合する抗体、並びにこの抗体を用いるペリオスチンの測定方法、測定試薬及び計画性の改善方法 |
| 太田昭一郎、出原賢治、有馬和彦、鈴木章一、白石裕士、太田伸男、石田晃弘、鈴木祐輔 | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 慢性副鼻腔炎の検出方法  |
| 梅木辰也、金久保光央、牧野貴至、井田博之、水上剛志                | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 低温廃熱を利用して二酸化炭素を回収するガス分離回収方法                              |
| 明渡 邦夫、坂口 幸一、野田 浩司、佐藤 敏一、加藤 哲弥、片山 雅之      | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 有機電子素子及び有機電子素子の製造方法                                      |
| 柳田晃良、永尾晃治、荒尾恵介、井上奈穂、王玉明、岩田敏夫             | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 脂質代謝改善用組成物   |
| 柳田晃良、永尾晃治、小島浩一、永井利治                      | 知的財産権の出願等(著作権は除く) | 肝機能障害予防改善剤   |

| 外部資金   |                  |   |        |
|--------|------------------|---|--------|
| 代表者名   | 資金の名称            | 研究課題                                    | 金額(千円) |
| 有馬和彦   | 科学研究費補助金・若手研究(B) | 新規サイトカイン TSLP の細胞内情報伝達機構理解の基づくアレルギー治療戦略 | 2,080  |
| 飯笹英一   | 科学研究費補助金・特別研究奨励費 | 自然免疫におけるCARD9のシグナル伝達経路の解明               | 800    |
| 石川 慎一郎 | 科学研究費補助金・若手研究(B) | siRNA による緑内障モデルラットにおける視神経節保護効果の検討       | 1,430  |
| 市場正良   | 科学研究費補助金・基盤研究(C) | 小児における室内空気環境による健康影響とその対策                | 1,820  |

|        |  |   |       |
|--------|--|---|-------|
| 市場正良   | 厚生労働科学研究費補助金・労働安全衛生総合研究事業(分担)            | リスク評価のためのバイオリジカル・モニタリング手法の開発に関する研究  | 1,500 |
| 伊藤 学   | 受託研究・東レ・メディカル(株)                         | 心臓血管外科手術直後エンドトキシン値と術後合併症に関する観察研究  | 300   |
| 内橋和芳   | 科学研究費補助金・若手研究(B)                         | 骨髄脂肪組織-骨芽細胞相互作用と脂肪組織由来間葉系幹細胞の増殖・分化機構の解明   | 1,300 |
| 柿原 奈保子 | 日本教育公務員弘済会奨励金・看護学研究助成奨学寄附金               | 看護系大学における効果的な人体機能構造の学習システム構築を目指して   | 100   |
| 木村晋也   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | 白血病の生存に対する骨関連細胞の関与  | 1,170 |
| 木本 雅夫  | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | 刺激型抗TLR抗体を用いた免疫賦活作用と感染防御機序の解明   | 1,100 |
| 久木田明子  | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | 実験的歯周炎におけるIL-27 受容体を介した骨破壊と炎症の制御機構の解析   | 910   |
| 久木田明子  | 科学研究費補助金・基盤研究(B)(分担)                     | 骨髄間葉系幹細胞を用いた骨破壊制御:組織幹細胞特異的表面マーカーの開発とその応用  | 390   |
| 久木田明子  | 科学研究費補助金・基盤研究(C)(分担)                     | ガレクチン3による炎症性骨破壊制御;新規レセプター同定に関する分子組織学的研究   | 65    |
| 久木田明子  | 科学研究費補助金・萌芽研究(分担)                        | WT1 ナチュラランチセンス RNA の発現と破骨細胞分化制御:骨破壊制御の新戦略                                       | 1,040 |
| 久木田明子  | A-STEP FS 検索タイプ                          | 新規癌骨転移制御薬の開発:伝統的秘薬の有効成分である Nordihydroguaiaretic Acid (NDGA)による破骨細胞制御とヒト肺癌の骨転移阻止 | 385   |
| 久保田寧   | 科学研究費補助金・若手研究(B)                         | 新規細胞表面分子 Plxdc2 を指標とする造血幹細胞の局在とそのニッチの解明   | 2,730 |
| 久留 和成  | 科学研究費補助金・若手研究(B)                         | 脳幹における神経抑制ペプチド、GLP-1 分泌細胞の分子生物学的解析  | 2,600 |
| 久留 和成  | 日本学術振興会・二国間交流事業・共同研究                     | 交感神経終末と平滑筋細胞との接合部における神経伝達機序の可視化研究   | 2,450 |
| 児玉 浩明  | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | ヘテロ二量化受容体を持つ二種類の結合部位から伝達される生理活性情報の識別  | 2,600 |
| 菖蒲池健夫  | 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究                         | マクロファージ細胞内のレジオネラを認識する宿主複合体の同定   | 1,170 |
| 白石裕士   | 科学研究費補助金・若手研究(B)                         | アトピー性皮膚炎における増悪化ループに関する解析  | 1,560 |
| 鈴木章一   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | イオンチャンネルを介した気管支喘息発症機序の解明と創薬の開発  | 1,300 |
| 高椋利幸   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | $\pi$ 電子相互作用が寄与するイオン液体の会合体形成と圧力による相転移   | 1,000 |
| 高椋利幸   | 科学研究費補助金・学術審領域研究(研究領域提案型)                | マントル遷移層をモデル化した超高温・高圧下での水素結合性液体と溶媒和イオンの構造  | 1,170 |
| 多田芳史   | 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患克服研究事業大腿骨頭壊死症調査研究班(分担) | 特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学術的研究  | 1,200 |
| 多田芳史   | 厚生労働科学研究費補助金・難病・がん等の疾患分野の医療実用化研究事業       | 特発性大腿骨頭壊死症の病因遺伝子解析と予防法開発への応用  | 5,000 |
| 多田芳史   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                         | ループス腎炎の病態発現におけるインターフェロン制御因子5の作用の解析  | 1,170 |
| 檀上 敦   | 学内インセンティブ                                | 口腔癌の骨浸潤におけるシスタチンCの役割の解明   | 800   |
| 塚本宏樹   | 平成 23 年度佐賀大学中期計画実行経費・医学部研究者育成支援事業【基礎】    | 抗酸化酵素 Peroxiredoxin 4 の発現動態の解析  | 500   |
| 永野幸生   | 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究                         | フロリゲン直接注入法を活用したカンキツの幼若期短縮方法の開発  | 1,200 |

|            |                                       |  |       |
|------------|---------------------------------------|--|-------|
| 西田裕一郎      | 科学研究費補助金・若手研究(B)                      | リポ蛋白リパーゼトランスジェニックウサギを用いたエネルギー代謝研究                        | 1,820 |
| 野口 亮       | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 幹細胞由来大型心筋移植片の心筋再生効果の解析                                   | 2,210 |
| 原博満        | 科学研究費補助金・特定領域研究                       | ITAM 受容体-CARD9 経路による自己免疫病の発症・増悪機構の解明                     | 4,400 |
| 原博満        | 科学研究費補助金・基盤研究(B)                      | CARMA1 シグナルの制御機構と免疫恒常性維持における役割                           | 3,770 |
| 原博満        | 平成 23 年度佐賀大学中期計画実行経費・                 | 悪性 B 細胞リンパ腫の生存／増殖に必須な NF- $\kappa$ B 活性化誘導シグナル経路の制御機構の解明 | 500   |
| 福留 健司      | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 血管の内と外での病原体認識メカニズム                                       | 1,430 |
| 藤田 亜美      | 科学研究費補助金・若手研究(B)                      | ラット脊髄後角の痛覚情報伝達制御におけるTRP機能のプロテアーゼ受容体による修飾                 | 2,080 |
| 古川浩二郎      | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | Scaffold を用いない自己細胞由来心臓弁の作成                               | 1,170 |
| 古川浩二郎      | 受託研究・Junken Medical(株)                | J Graft シールド neo についての動物を用いた基礎的評価                        | 1,300 |
| 真木一        | 高橋産業経済研究財団研究助成                        | 層状コバルト酸化物のブロック層調整による電荷局在制御と機能性創出の研究                      | 1,000 |
| 松延亜紀       | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 肝細胞癌由来癌幹細胞の生存・増殖・分化・遊走における脂肪組織の役割とその制御機構                 | 1,300 |
| 見市(三田村)文香  | 科学研究費補助金・研究活動スタート支援                   | 赤痢アメーバにおける新規病原性因子“含硫脂質”の病原機構の解明                          | 1,508 |
| 宮本比呂志      | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | レジオネラ感染に対するヒトの自然抵抗性を支配する遺伝子 NAIP-1 に関する研究                | 1,560 |
| 宮本比呂志      | 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究(分担)                  | 喀痰中の結核菌を迅速に検出するイムノクロマト法の開発                               | 2,470 |
| 宮本比呂志      | 厚生労働科学研究費補助金・創薬基盤推進研究事業(分担)           | 生体親和性材料によるナノ表面処理を用いた画期的な人工膝関節の開発に関する研究                   | 2,000 |
| 宮本比呂志      | 平成 23 年度佐賀大学中期計画実行経費・医学部研究者育成支援事業【基礎】 | 抗菌作用を有する人工股関節の開  | 500   |
| 薬師寺祐介      | 受託研究・大塚製薬(株)                          | モデルマウスを用いた、シロスタゾールの脳アミロイドアンギオパチー関連脳出血発症への影響の検討           | 2,873 |
| 八坂 敏一      | 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究                      | 痛覚伝達に関わる脊髄後角局所回路における高解像度トレーシング                           | 2,990 |
| 柳 圭子(石原圭子) | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 内向き整流Kチャネルの生理機能を担うブロック低感受性コンダクタンスの分子機序                   | 1,560 |
| 永尾晃治       | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 食環境による脂肪組織由来疾患遺伝子の発現制御と病態発症の予防・改善                        | 2,340 |
| 塩谷 孝夫      | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 心筋リバーズ EC カップリングにおける細胞膜 Ca ポンプと Na/Ca 交換の機能連関            | 1,170 |
| 河野 史       | 平成23年度佐賀大学中期計画実行経費・医学部研究者育成支援事業【看護】   | 室傍核を支配する正中視索前核ニューロンに対する脳弓下器官ニューロンによる神経支配の機能形態的解析：一酸化窒素神経 | 984   |
| 原 英夫       | 厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患克服研究事業              | 重症度別治療指針作成に資す HAM の新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発        | 1,500 |
| 原博満        | 科学研究費補助金・基盤研究(B)(分担)                  | 網膜下癥痕病巣形成メカニズム解明とその治療への応用                                | 100   |

|        |                                       |  |        |
|--------|---------------------------------------|--|--------|
| 鯉川雅之   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 三核環状錯体によるカプセル状分子集合体の構築と包摂分子による磁性制御                                 | 2,400  |
| 江良正直   | 理工学部機能物質科学化における教育研究の為                 | 理工学部機能物質科学化における教育研究の為  | 500    |
| 荒金尚子   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | DNA 依存性キナーゼを標的とした癌治療の構築と効果予測因子の探索                                  | 1,200  |
| 寺東宏明   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | チミン酸化損傷5-ホルミルウラシルに対する生体内修復機構F0システムの全容解明                            | 900    |
| 寺本 憲功  | 最先端・次世代研究開発支援プログラム                    | 血管新生を誘導する siRNA とナノ薬物送達法による革新的な低侵襲性治療法の創成                          | 53,950 |
| 寺本 憲功  | 二国間交流事業・共同研究(連合王国)                    | 交感神経終末と平滑筋細胞との接合部における神経伝達機序の可視化研究                                  | 2,450  |
| 石渡洋一   | 平成23年度工学系研究科長経費研究活性化事業「若手研究者支援経費」     | 金属絶縁体転移のナノ粒子効果   | 600    |
| 川上 竜巳  | 学内インセンティブ                             | プロリン脱水素酵素の複合体電子伝達機構と機能性素子としての性能解析                                  | 800    |
| 谷口 一登  | 平成 23 年度佐賀大学中期計画実行経費・医学部研究者育成支援事業【臨床】 | 気管支喘息における気道リモデリングの機序解明:特に気道上皮細胞の機能変化を発生させる因子について                   | 400    |
| 長谷川 裕之 | 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 探索タイプ          | アモルファスおよびナノコンポジット構造を有する低フリクション炭素系膜の開発                              | 1,300  |
| 長田聰史   | 佐賀大学研究シーズ                             | 細胞増殖抑制を目指した分子模倣および分子駆動の複合化技術                                       | 0      |
| 塚本 宏樹  | H23 年度医学部中期計画実行経費                     | 抗酸化酵素 Peroxiredoxin 4 の発現動態の解析                                     | 500    |
| 鄭 旭光   | 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究                      | 巨大負熱膨張率・強誘電性をもつマルチ新機能ナノ磁性体の創製                                      | 800    |
| 鄭 旭光   | 科学研究費補助金・特定領域研究                       | 特異量子磁性を示した新奇 d 電子系物質 M2(OH)3X の単結晶成長と磁気構造決定                        | 1,500  |
| 範江林    | 科学研究費補助金・基盤研究(B)                      | 内皮リパーゼを標的とした動脈硬化治療法の新たな戦略—遺伝子改変ウサギを用いた研究                           | 1,000  |
| 尾山 純一  | 平成 23 年度佐賀大学中期計画実行経費・医学部研究者育成支援事業【臨床】 | 虚血性心臓病におけるAIM(Apoptosis inhibitor of Macrophage)をターゲットとした心臓病治療法の開発 | 760    |
| 副島英伸   | 厚生労働科学研究費補助金                          | ゲノム・エピゲノム解析に基づく刷り込み疾患 Beckwith-Wiedemann 症候群の診断基準作成と治療法開発基盤の確立     | 10,000 |
| 副島英伸   | 厚生労働科学研究費補助金                          | 間葉性異形成胎盤の臨床的・分子遺伝学的診断法の開発を目指した基盤研究                                 | 5,000  |
| 北嶋修司   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | ヒト疾患モデルウサギの精子バンク構築に向けての関連技術の整備                                     | 1,000  |
| 柳田晃良   | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 脂質構造異性体の栄養生理機能に関する基礎的研究  | 910    |
| 柳田晃良   | A-STEP FS 検索タイプ                       | ムキタケの脂肪肝予防効果及び機能性食品としての開発  | 3,000  |
| 兒玉宏樹   | 受託研究                                  | 海水中の鉄イオンの濃度分析  | 1,000  |
| 兒玉宏樹   | 共同研究                                  | 地下水中の腐植物質の構造特性評価   | 2,000  |
| 濱 洋一郎  | 科学研究費補助金・基盤研究(C)                      | 魚類体表粘液糖タンパク質を基質に用いた新規グリカナーゼの探索                                     | 2,000  |

(4)センター教職員による業績及び外部資金

| 原著論文   |                                   |  |     |   |        |
|--|-----------------------------------|--|-----|---|--------|
| 著者名(多数の場合、略記可)   | 雑誌名                               | 題目   | 巻   | 号 | 頁      |
| Terato, H., Suzuki, K., Nishioka, N., Okamoto, A., Shimazaki-Tokuyama, Y., Inoue, Y. and Saito, T.   | Journal of Radiation Research     | Characterization and Radio-Resistant Function of Manganese Superoxide Dismutase of Rubrobacter radiotolerans.  | 52  |   | 735-42 |
| Satomura T, Hiraki A, Kawai T, Kawakami R, Ohshima T Sakuraba H  | Acta Crystallographic a Section F | Expression, purification, crystallization and preliminary X-ray diffraction analysis of a galactose 1-phosphate uridylyltransferase from the hyperthermophilic archaeon Pyrobaculum aerophilum | F68 |   | 330-2  |
| Shibahara T, Satomura T, Kawakami R, Ohshima T, Sakuraba H   | Acta Crystallographic a Section F | Crystallization and preliminary X-ray analysis of a dye-linked D-lactate dehydrogenase from an aerobic hyperthermophilic archaeon, Aeropyrum pernix  | F67 |   | 1425-7 |
| Kitajima S, Maeda T, Nishijima K, Morimoto M, Watanabe T, Fan J  | Scand J Lab Animals.              | Factors Influencing the Number of Eggs Recovered from Rabbits Superovulated with FSH or PMSG: Analysis of Five Years of Data from 509 Rabbits.   | 38  | 3 | 169-74 |
| Matsuda S, Yamashita A, Sato Y, Kitajima S, Koike T, Sugita C, Moriguchi-Goto S, Hatakeyama K, Takahashi M, Koshimoto C, Matsuura Y, Iwakiri T, Chen YE, Fan J, Asada Y. | J Thromb Haemost.                 | Human C-reactive protein enhances thrombus formation after neointimal balloon injury in transgenic rabbits.  | 9   | 1 | 201-8  |

| 総説  |  |  |    |   |       |
|---|--|--|----|---|-------|
| 著者名(多数の場合、略記可)                                | 雑誌名                                    | 題目   | 巻  | 号 | 頁から   |
| Kawakami R, Satomura T, Sakuraba H, Ohshima T | Applied Microbiology and Biotechnology | L-Proline dehydrogenases in hyperthermophilic archaea: distribution, function, structure and application | 93 |   | 83-93 |

| 招待講演・特別講演(学会シンポジウム等での講演を含む) |                     |                                     |
|-----------------------------|---------------------|-------------------------------------|
| 発表者                         | 会議等名                | 題目                                  |
| 寺東宏明                        | 第48回アイソトープ・放射線研究発表会 | 重粒子線の生物研究への応用 II 重粒子線で生じる遺伝子損傷の正体は？ |

| 一般講演(学会講演を含む)   |  |  |
|---|--|--|
| 発表者   | 会議等名   | 題目   |
| 後藤健太、永野幸生   | 日本農芸化学会2012年度大会  | 高効率なDNAクローニング法   |
| Takashi Mimura, Hiroaki Suzuki, Ryoji Matsumoto, Yukio Nagano | The 6th Daegu University-Saga University Joint Symposium | Comparison of the model of flowering regulation systems between Citrus and Arabidopsis |
| Kenta Goto, Yukio Nagano                                      | The 6th Daegu University-Saga University Joint Symposium | Zero background cloning system   |
| 後藤健太、永野幸生   | 第35回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム                             | Invitrogen社から販売されたHigh-Order Vector Conversion Cassetteに対抗する、より優れたシステムの開発              |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生   | 平成 23 年度日本農芸化学会西日本支部・中四国支部合同大会                 | カンキツとシロイヌナズナの開花制御モデルの比較  |
| 後藤健太、永野幸生   | 平成 23 年度日本農芸化学会西日本支部・中四国支部合同大会                 | 日常的によく使われるプラスミドを酵母 in vivo クローニング法に適合させるシステム   |
| 三村高史、鈴木裕明、松本亮司、永野幸生   | 平成 23 年度日本生化学会九州支部例会                           | カンキツにおける開花制御モデルの検討   |
| 後藤健太、永野幸生   | 平成 23 年度日本生化学会九州支部例会                           | 日常的に使うプラスミドを酵母リコンビニリング法に適合させるシステムの改良   |
| 永野 幸生、飯笹 英一   | 日本農芸化学会 2011 年度大会                              | 日常的に使うプラスミドベクターを酵母 in vivo クローニング法に適合させる簡便なシステムの開発                                   |
| 寺東宏明、徳山由佳、井上侑子、鈴木克之、齊藤毅   | 第 46 回京都大学原子炉実験所学術講演会                          | Rubrobacter radiotolerans の放射線抵抗性におけるスーパーオキシドディスムターゼの関与                              |
| 島崎-徳山由佳、井上侑子、古澤佳也、井出博、寺東宏明  | 第 54 回日本放射線影響学会大会                              | 粒子線によって発生する細胞内 DNA 損傷生成収率の解析   |
| 寺東宏明、徳山由佳、井上侑子、平山亮一、古澤佳也、井出博  | 第 44 回日本保健物理学会研究発表会                            | 重粒子放射線によって生じる DNA 損傷収率の線質依存性   |
| 川上 竜巳、櫻庭 春彦、大島 敏久   | 日本農芸化学会 2012 年度大会                              | 超好熱アーキア Pyrococcus horikoshii による D-アミノ酸の代謝  |
| 川上竜巳  | 第 35 回蛋白質と酵素の構造と機能に関する九州シンポジウム                 | 超好熱アーキアの L-プロリン脱水素酵素:機能、構造と応用  |
| 川上竜巳、櫻庭春彦、大島敏久  | 日本農芸化学会西日本支部大会                                 | 超好熱アーキアのプロリン脱水素酵素複合体における触媒サブユニットの解析  |
| 山口慎二、西島和俊、森本正敏、渡辺照男、北嶋修司  | 第 29 回九州実験動物研究会総会                              | ウサギ精子凍結融解後の運動率に及ぼす Cholesterol-loaded cyclodextrin 添加の影響                             |
| Koike T, Kitajima S, Nishijima K, Liu E, Watanabe T, Fan J                                | 4th International Rabbit Biotechnology Meeting | Apolipoprotein A-II plays an important role in lipid metabolism and atherosclerosis. |
| Nishijima K, Yamada Y, Tanaka H, Kitajima S, Yamaguchi S, Morimoto M, Tanaka K, Nishida Y | 4th International Rabbit Biotechnology Meeting | Assessment of energy expenditure in rabbit with doubly-labeled water method.         |
| 西島和俊、山口慎二、森本正敏、渡辺照男、北嶋修司  | 第 58 回日本実験動物学会総会                               | 23. Cholesterol loaded cyclodextrin の添加はウサギの凍結融解後精子の運動率を高める                          |

| 外部資金 |                      |  |        |
|------|----------------------|--|--------|
| 代表者名 | 資金の名称                | 研究課題                                     | 金額(千円) |
| 永野幸生 | 科学研究費補助金・萌芽研究        | フロリゲン直接注入法を活用したカンキツの幼若期短縮方法の開発           | 1,200  |
| 寺東宏明 | 科学研究費補助金・基盤研究(C)     | チミン酸化損傷5-ホルミルウラシルに対する生体内修復機構FOシステムの全容解明  | 900    |
| 兒玉宏樹 | 受託研究                 | 海水中の鉄イオンの濃度分析                            | 1,000  |
| 川上竜巳 | 学内インセンティブ            | プロリン脱水素酵素の複合体電子伝達機構と機能性素子としての性能解析        | 800    |
| 永野幸生 | A-STEP FS ステージ       | もっとも簡単な部位特異的変異法の開発                       | 540    |
| 北嶋修司 | 科学研究費補助金・基盤研究(B)(分担) | 内皮リパーゼを標的とした動脈硬化治療法の新たな戦略一遺伝子改変ウサギを用いた研究 | 1,000  |

|       |                   |                                 |       |
|-------|-------------------|---------------------------------|-------|
| 北嶋修司  | 科学研究費補助金・基盤研究(C)  | ヒト疾患モデルウサギの精子バンク構築に向けての関連技術の整備  | 1,000 |
| 西島和俊  | 科学研究費補助金・若手研究(B)  | 遺伝子改変ウサギを用いたアポリポタンパク CIII の機能解析 | 500   |
| 武藤さやか | 科学研究費補助金・特別研究員奨励費 | グラム陰性菌由来リポ多糖に対する植物自然免疫の解明       | 800   |

## 7. 学外評価委員による評価結果・意見

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター  
自己点検評価報告書（平成23年度）に対する評価・検証

平成23年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 県立広島大学

氏名 西本 潤

検証日 平成24年11月19日

1. 評価手法 （適切であった・改善すべき点があった）

意見・具体的改善点など

適切であった。

2. 評価基準 （適切であった・改善すべき点があった）

意見・具体的改善点など

適切であった。

3. 評価の妥当性 （妥当である・妥当でない点がある）

意見・具体的改善点など

妥当である。

### その他

支援活動に良く頑張っておられると思いますし、短期的には評価手法と評価基準はこれでよいのだと思います。ただ長期的にはどうでしょうか。支援活動に時間を割きすぎると教員と技術専門職員の研究活動に支障をきたし、将来的には総合分析実験センターとしての支援活動に影響を及ぼす可能性があります。その点を少しずつ考えていく時期になっているのではないのでしょうか。

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター  
自己点検評価報告書（平成23年度）に対する評価・検証

平成23年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書評価について

検証者所属 国立大学法人広島大学

氏名 守口和基 

検証日 平成24年11月19日

1. 評価手法（適切であった・改善すべき点があった）  
意見・具体的改善点など

2. 評価基準（適切であった・改善すべき点があった）  
意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性（妥当である・妥当でない点がある）  
意見・具体的改善点など

リサイクルファシリティの取り組みは高く評価できる。ただし利用頻度の低い機器であっても他に同様の解析が可能な機器が無ければできるだけセンターで維持すべきであるし、反対に利用頻度が低い理由が新型の機器がある為に使われなくなったものであるならば、学内での希望が無ければ学外への寄贈の道があっても良いのではないかと。地域の教育・研究活動への貢献となると考えられる。

**その他**

学外受託試験について。2つのキャンパス間で料金が異なるのは問題ではないか。これは学内でも同様であるのか。特に鍋島地区 DNA 塩基配列解析試験については民間企業の受託解析に比べ価格差が大きく（サンプルも宅配業者が引き取りにきます）、そのサービスの役割を終えたのではないかと。

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター  
自己点検評価報告書（平成23年度）に対する評価・検証

平成23年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書評価について

検証者 所属 熊本保健科学大学

氏名 森本正敏

検証日 平成24年11月27日

1. 評価手法（適切であった・改善すべき点があった）

意見・具体的改善点など

金島地区に機器分析部門の機器で、利用者数ゼロの機器が目立っている。  
その利用者数の3年間の動向（各機器）がわかれば良いと思う。  
12/11/2

2. 評価基準（適切であった・改善すべき点があった）

意見・具体的改善点など

3. 評価の妥当性（妥当である・妥当でない点がある）

意見・具体的改善点など

その他

(4) 組織運営の(5)(7) 入試に関すること記入が不明な点あり。